建築と社會

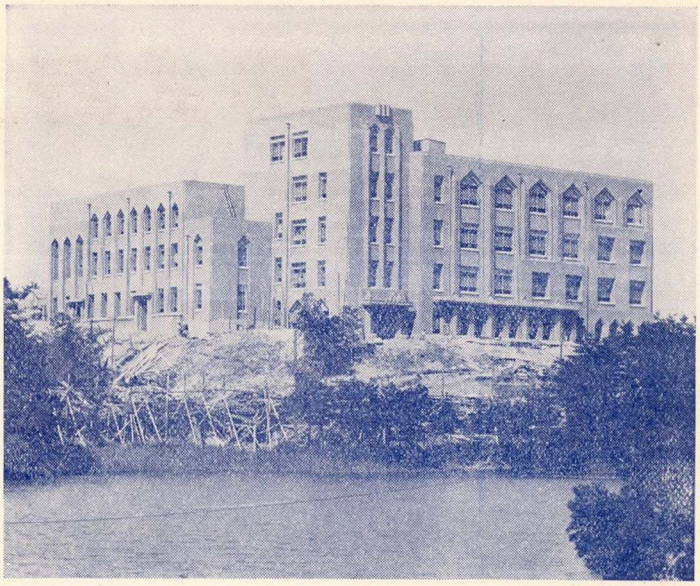
昭和三年十月一日・第十一輯第十號



日本建築協會

寫眞は下記製品御使用の光榮に浴したる浪速高等學校

三機工業!!販賣



東京建鐵!!製造

御使用

瀨川式 **スペツシヤル バランス サツシ**

東京建鐵株式會社

東京鋼板工業株式會社

總代理店

三機工業株式會社

本　店　東京市麹町區内幸町一ノ三(大阪ビル内)

電話銀座(57)5330—5335(6)2831—2883(3)

支　店　大阪市東區備後町二ノ二一(野村ビル内)

電話本町1166•1525

取扱店　各地三井物産株式會社支店機械部

商標 OHNO SHUTTER PATENTED 登錄

特許第七九三五號（延長許可）外十數件併用

大野式防火巻上ヶ戸

特許大野式シヤッター

主要製品

大野式シヤッター
大野式自働防火鎧戸
大野式工場用軸承
大野式轉子入軸筐
大野式轉子入戸車
大野式回轉軸抵抗測定機
各種防火扉
應用特殊機械類

合資會社 大野製作所

東京市芝區三田四國町二番地（電話高輪二三三五・七七二一番）

取付出張員詰所・大阪市此花區上福島中二（電話土佐堀二七二五）

繪口

═建展寫眞畫報═
世界建築丈較べ●西洋建築の發達●東洋建築の發達
各種模型及大建築寫眞●會員各種作品
木造住宅耐震構造模型●火災報知機實演
家が出來るまで、住宅の衛生に關する參考資料
實物住宅模型═應接室兼書齋●食堂
實物住宅模型═寢室●子供室
實物住宅模型═臺所●浴室及化粧室
庭園

新版大阪圖繪═渡邊橋……凹凸子……一
卷頭……大阪城天主閣再建に就て……佐藤佐……二……七
現代日本の大建築物一覽……八

建展記事

建展の所感……會員 加藤善吉……九……一三
建展を顧みて……會員 松本生……一三……一四
建展と其感想……會員 岡部顯則……一四……一六
建展偶感……會員 坂口芳三郎……一六……一八
建展見たまゝの記……會員 八木幸次郎……一八……二四

拾壹輯　第拾號

目次

建展第一室を見る……會員　加藤善吉……二四・二八
建展第二室所感……會員　木村寛一……二八・三〇
建展と裏表……會員　中島智善……三〇・三八
建展見たまゝ……會員　本間乙彦……三八・四二
建展グラフ……藤原成憲畫……一一・三九
大阪鐵道株式會社住宅懸賞募集圖案審査概評……四三・四四
審査委員長　日高胖
審査委員　小笠原鋧
審査委員　松本儀八
住宅懸賞當選圖案……四五・五二
寫眞
第一等　當選圖案（其の一）
同　（其の二）
第二等　當選圖案
第三等　第一席當選圖案
第三等　第二席當選圖案
第三等　第三席當選圖案
災害と其豫防漫談……災害委員　池田宮彦……五三・六五
建築ニュース……六六

誌上講座

建築工事實施方法（5）……大林組工務監督　渡部圭吾……六七・七一

社團法人日本建築協會々報……

小野田ポルトランドセメント

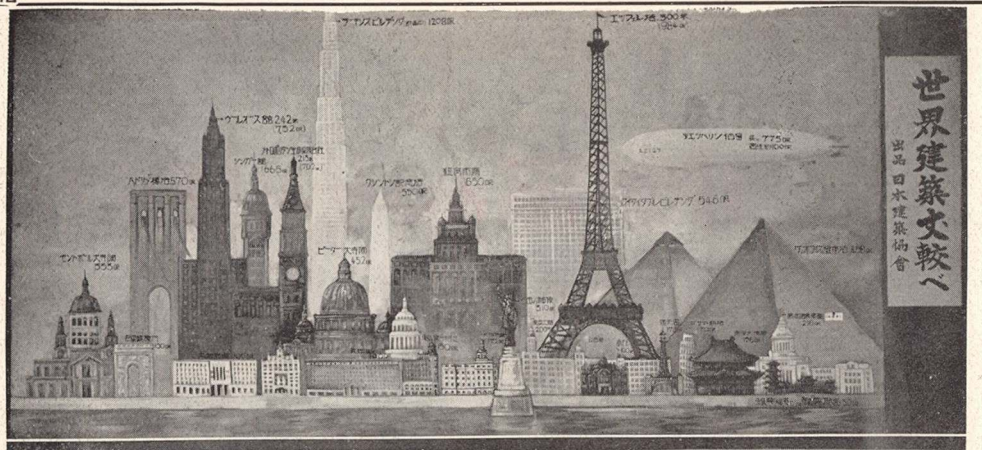
製品均斉・品質高級

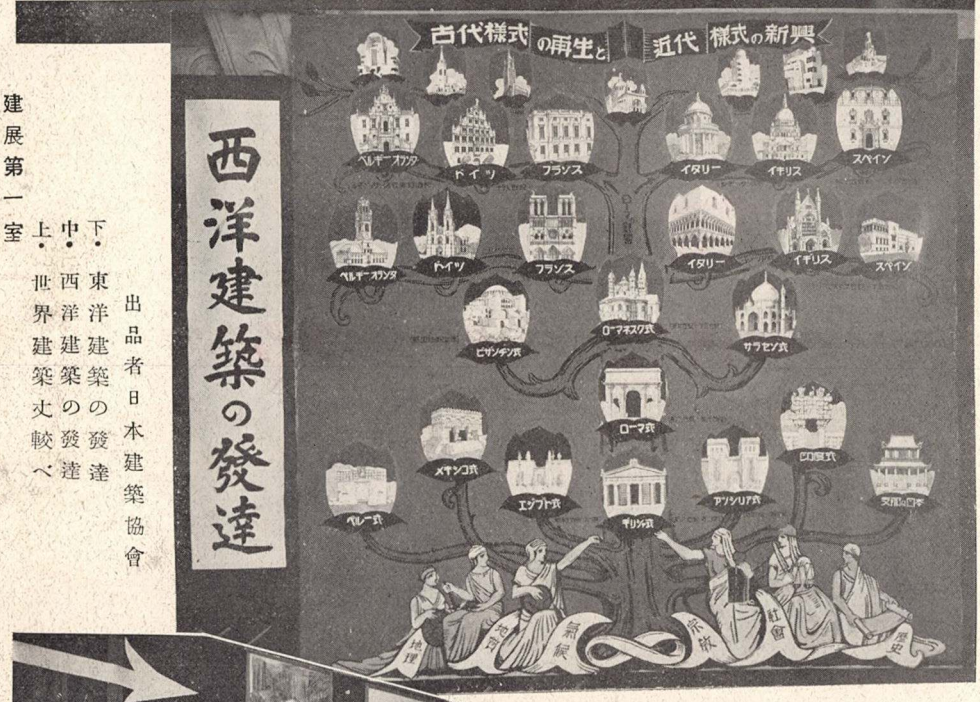
小野田白色ポルトランドセメント

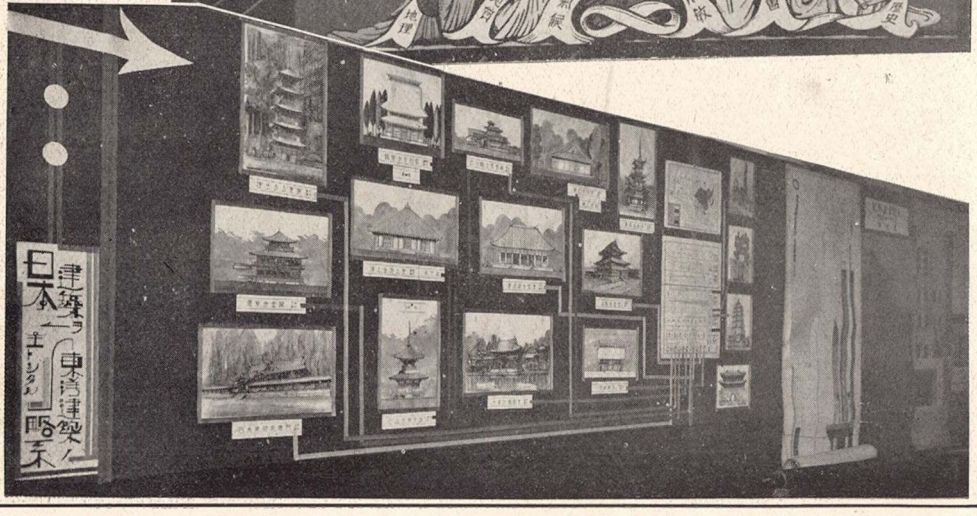
東洋唯一・純白優良

製造元 小野田セメント製造株式會社

一手販売 三井物産株式會社



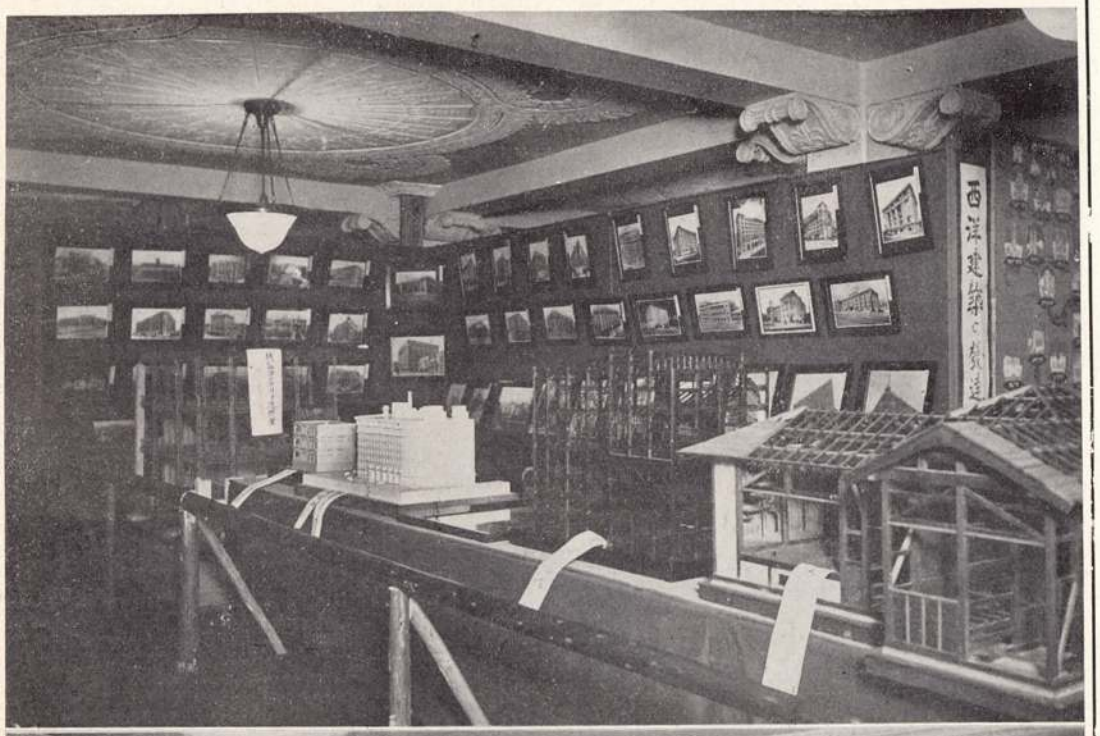




建展第一室

出品者日本建築協會

下・東洋建築の發達
中・西洋建築の發達
上・世界建築大較べ



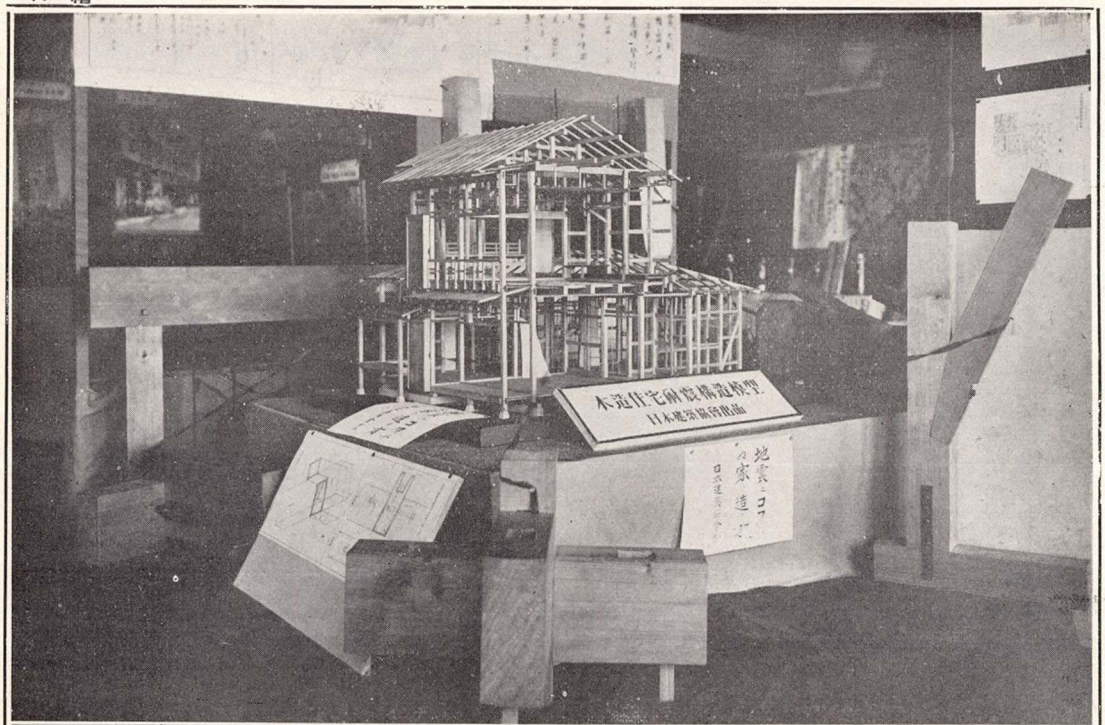


建展第一室（上）

各種模型及大建築寫眞

建築特別室（下）

各種會員作品





建展 第三室

木造住宅耐震構造模型(上)　出品者 日本建築協會　　火災報知機實演(下)　出品者 大阪府消防課



建展第一室（上）

家が出來るまで

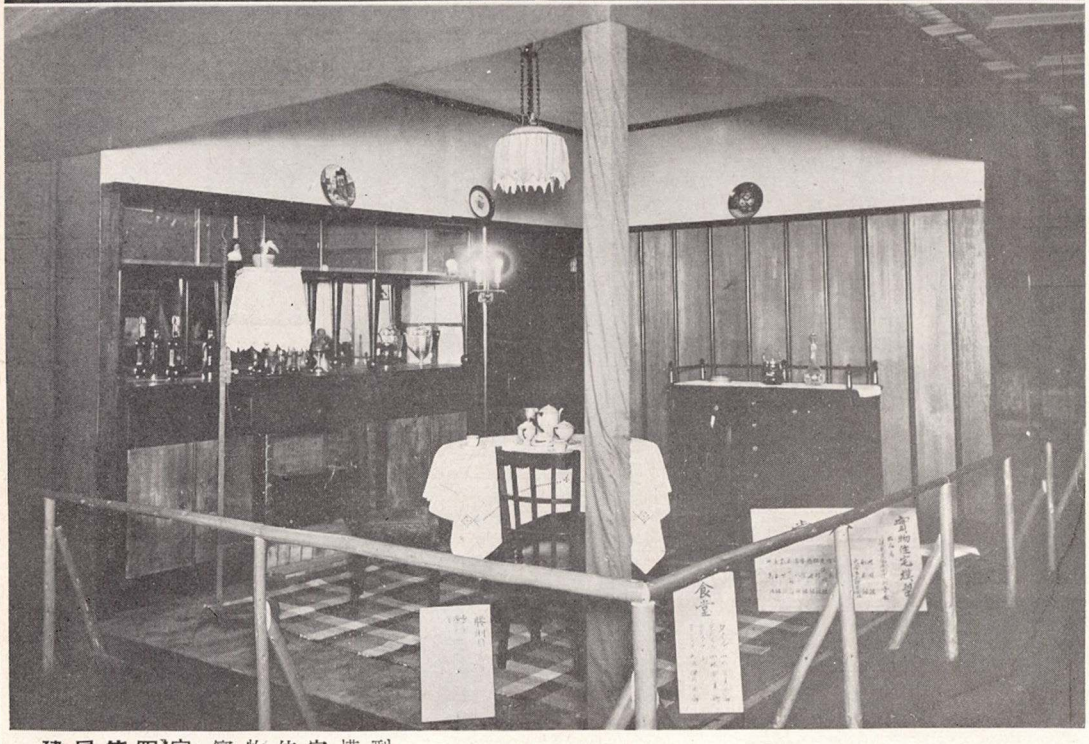
出品者 日本建築協會

建展第二室（下）

住宅の衛生に關する參考資料

出品者 醫博 藤原九十郎氏





建展第四室 實物住宅模型

（上）應接兼書齋　（下）食　堂

出品者　建築業協會關西支部五日會

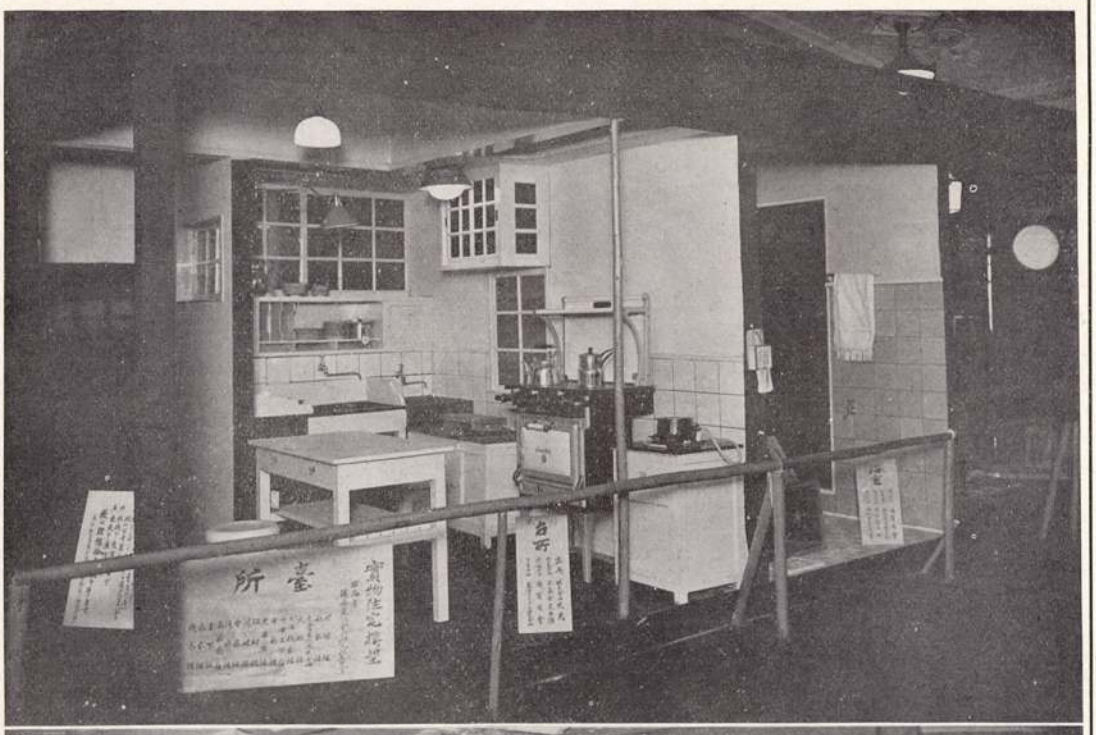


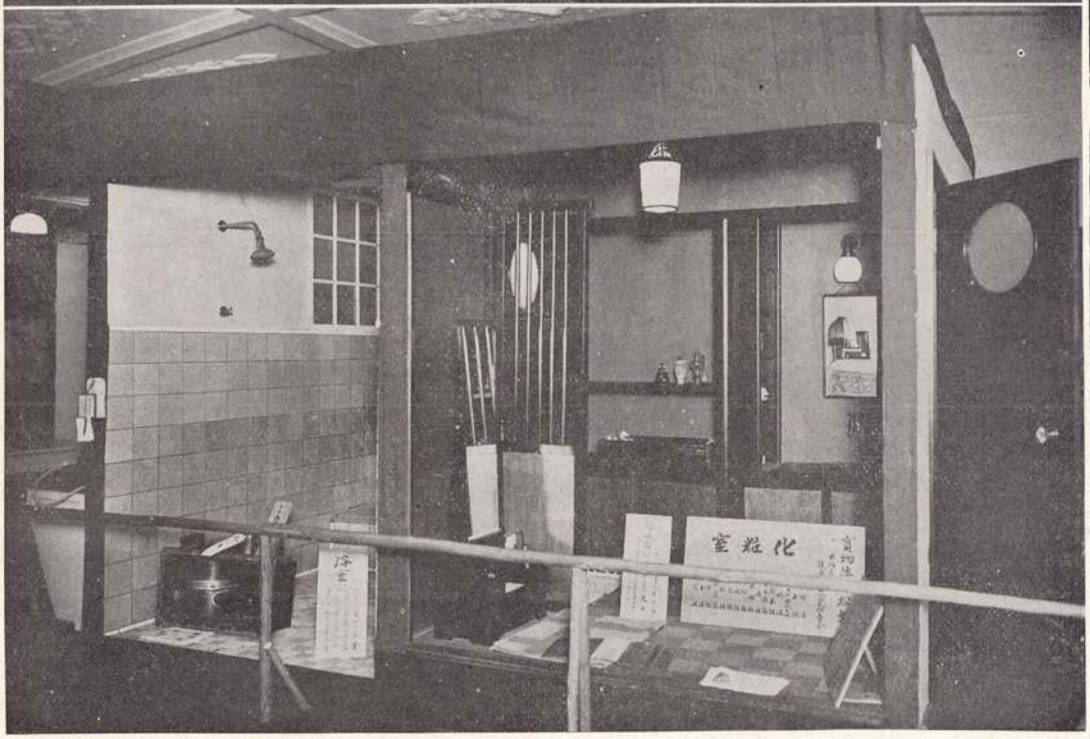


建展第四室　實物住宅模型

（上）寢　室　（下）子　供　室

出品者　建築業協會關西支部五日會





建展第四室　實物住宅模型

（上）臺　所　（下）浴室及化粧室

出品者　建築業協會關西支部五日會





建展第四室

『庭　園』

出品者

橋本庭園工務所

Rolscreens
The Ideal Screen For Casements

夏ノ蚊蟲ノ
ロールスクリーン



（型錄贈呈）

日本總代理店

島貿易株式會社建材部

本店　大阪市東區高麗橋四丁目
電話本局自五〇四〇—至五〇四七番

支店　東京市日本橋區平松町
電話日本橋　二二四番　三一六九番
三一六八番

畫は蠅、夜は蚊と

夏は閑靜な郊外の住宅に在つても中々に快よき休息は出來かねます。これ我が優美輕便なロールスクリーンの御使用を切に御薦めする所以であります。

從來病院や郊外住宅や又は料理場などで、窓の設備中最も苦心して來たものは實にスクリーンの問題であります。凡そ傳染病の豫防とか、夏期蠅や蚊や、其他色々の虫類が飛込んで來るのを防いだり、又工場地帶で煤煙防止の必要な場所などには、是非共此のスクリーンの用意をして置かねばなりません。

然るに此迄のものは、何れも取扱上の不便や、不體裁の點や或は又、不經濟などの點で、其必要を生ずる都度、頭痛の種となつて居たものであります。

此の久しい間の、難問解決の使命を果たすものこそ、實に我がロールススクリーンの出現及び提供であります

◆耐震耐火—品質優良—優美高尚—價格至廉◆

金屬天井



金屬天井御採用の三菱銀行東京本店

營業種目

◆建築材料部
- ▲金屬天井
- ▲リブプレツクス（リブラス）
- ▲コーナービード
- ▲内外メタルラス
- ▲タイガーボード（耐火石膏板紙）
- ▲船來ウオールボード各種
- ▲ルーフキング（便利瓦）
- ▲アスファルトフエルト
- ▲其他建築材料一般

◆木材部
- ▲米材各種
- ▲チーク材
- ▲ラワン材
- ▲床板各種

◆穀類部
- ▲内外小麥粉
- ▲内外麩
- ▲内外米

◆工業部
- ▲製粉工場
- ▲製米工場
- ▲金屬飯工場

型錄進呈

◆田村商會創始
◆參拾五年經驗
◆施工全部請負
◆特殊圖案製作

田村商會

本店
神戸市榮町六丁目
電話元町（五〇一、五〇二、五〇三、五〇四、五〇五）

支店
大阪市西區靱上通り一丁目
電話土佐堀（六八八〇、六八八一）
東京市日本橋區元四日市町
電話大手（三七〇五、六三六〇、四六七一、二五二六）
横濱市港町一丁目
電話長者町 二五四〇
北米晩香坡市ダンレビー街
電話 八八一

工場
神戸市兵庫新川
電話兵庫（九一、二四〇三、二四四、六四〇）

本邦建築土木界唯一の綜合カタログ

建築土木 資料集覽揭載記事募集

建築學會、日本建築協會、日本建築士會
建築業協會、建築資料協會 **後援**

募集略則

本書體裁 菊倍版、上質布裝、記事本文、九ポイント組約七百頁の豫定

發行期日 昭和三年十二月上旬。

記事揭載料 一頁に付金四拾圓、挿圖に對しては揭載料の外製版料として寫眞版及凸版とも一平方寸に付金拾五錢を申受く。三色版は一頁に付金七拾圓、外に製版料一平方寸に付金壹圓を申受く。

料金拂込方法 申込と同時に豫約金一頁に付金貳拾圓を拂込み、殘金は昭和三年十一月三十日迄に拂込まるゝこと

揭載申込期日 昭和三年十月三十一日迄に申込まるゝこと。

本書印刷部數 四千部の豫定。

本書頒布方法 建築及土木界の重なる關係者及び其他の要路に無料寄贈する外記事揭載主に贈呈す。

京阪神資料業家各位へ 本會事務員を參上致させますから刊行趣旨御贊成の上御申込の程願上げます

本會役員

評議員
中條精一郎　安藤德之助
內田祥三　戶田利兵衛
大熊喜邦　鳥羽總治
大林義雄　內藤多仲
片岡安　中村恒
古宇田實　中谷芳邦
鴻池忠三郎　早崎龜壽
櫻井小太郎　橋本政吉
佐藤功一　松井清足
佐野利器　森非健介
清水釘吉　山口萬次郎
錢高善造　吉田亨二
武田五一　橫山信毅
竹中藤右衞門　橫河民輔
田口清吉

理事
理事長　橫河民輔
理事　片岡安
理事　佐野利器
理事　早崎龜壽
理事　松非清足
理事　山口萬次郎
理事　吉田亨二
主事　橫山信

東京市麹町區有樂町
府立東京商工奬勵館內
建築土木資料集覽刊行會
電話丸ノ內一三〇七番
振替東京七八三七九番

小野田セメント専用
セメントタイル
セメントモザ井ックタイル
コンクリートタイル
ストンブロック
模造ゼンタームム
塀用ホーローブロック
其他各種人造石製造

大阪市港區大正通一丁目六三

創業明治三十六年　合名會社　田中タイリング商會

電話櫻川二〇四七番

分工場　大阪市東成區鴫野町五一一

電話鯰江二六八番

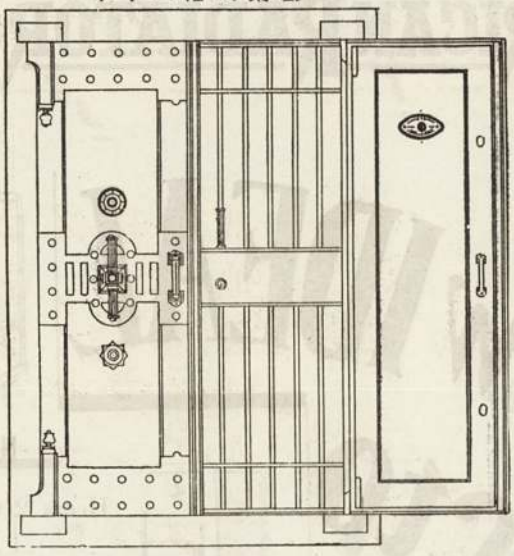
東京工場　東京市深川區東平井町一ノ一

電話本所四六六二番

創業明治二十年

大塚製金庫扉の特色は

防火的理想の完成したる
昭和參年新案特許第壹壹貳五七〇號
瀧村式防火裝置（自働アスベストパッキング）



金庫室防火扉

金庫室は完全なる扉と
内部什器（書棚及書函）の
鋼鐵化に因り始めて絶對的
災害防止の効果を實現す

御一報次第型錄差出申候
應貴意設計圖面調製提出
可仕候

營業科目

金庫室入口防火扉
マンホール幷ニ窓扉
倉庫出入口防火扉
鋼鐵製書函並ニ書棚
美術建築用金物一式

御用命を蒙り納入せる尊名

三十四銀行　吉備貯蓄銀行　奈良信託（株式會社）　武田長兵衛商店
三井銀行　蘇原銀行　三井信託（大阪支店）　八馬邸
名古屋銀行　灘商業銀行　三井物産（名古屋支店）　竹内邸（芦屋）
名古屋貯蓄銀行　西海商業銀行　岡谷本邸　池田商店（名古屋）
加島銀行　ナ阪貯蓄銀行　岡谷合資（東京金物部）　安藤商店（名古屋）
明治銀行　内國貯金銀行　三菱電氣（神戸製作所）　平瀬邸（京都）
野村銀行　山口銀行　萩町信用組合　西郷邸（京都）
野村證券（株式會社）　久美濱銀行　松坂屋呉服店（名古屋）　三宅邸（四日市）
濱松銀行　大垣貯蓄銀行　東邦瓦斯（株式會社）　大垣共立銀行
中埜銀行　武庫銀行　大日本人造肥料（株式會社）　日本銀行（名古屋支店）
濱飛農工銀行　大野銀行（愛知縣）　塘野義商店　岩津邸（名古屋）

大阪市港區九條南通一丁目一三〇番地

大塚鐵工所金庫部

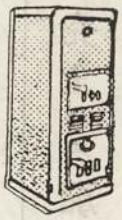
所主　瀧村松之助

電話西五〇一七番

工場　九條南通一丁目　三軒家上之町　北境川町

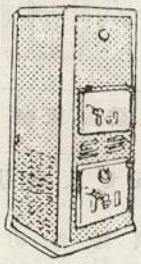
AMERICAN RADIATOR COMPANY

New IDEAL Vecto



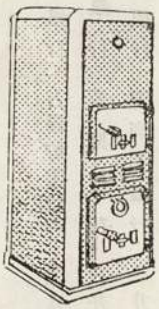
No3C

Heats 2 to 3 Rooms



No5C

Heats 3 to 5 Rooms



No8C

Heats 5 to 8 Rooms

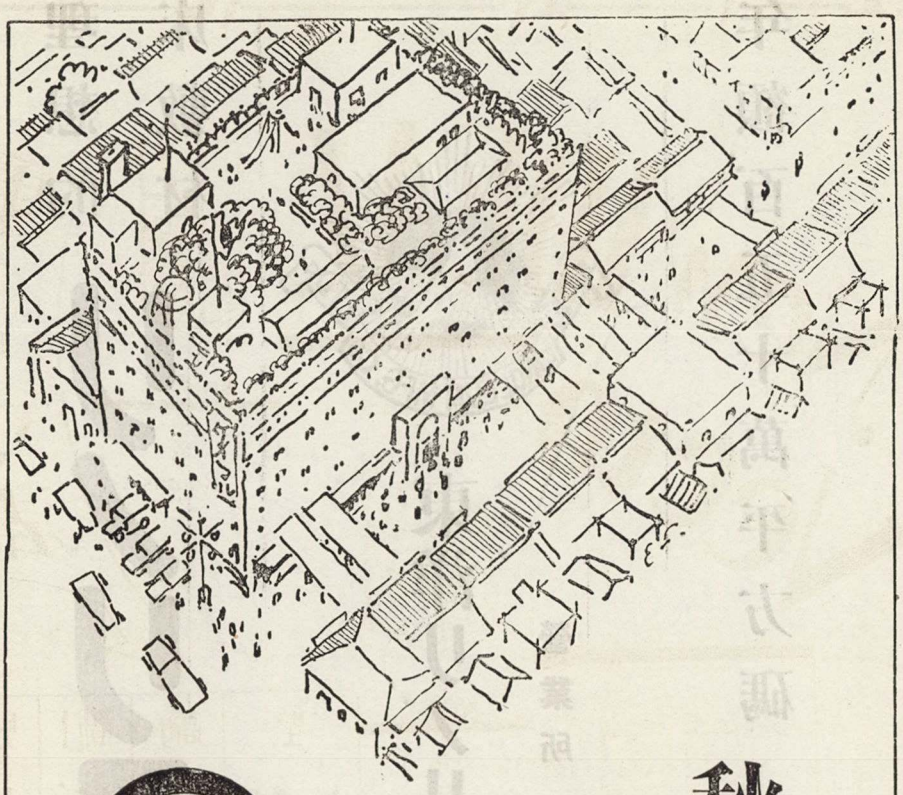
重ナル寸法

型	高サ	間口	奥行
No3C	33″	15″	14″
No5C	43″	18″	17″
No8C	48″	21″	21″

日本總代理店

大倉商事株式會社

東京銀座　　大阪北濱



秋來りて

お散歩に
お買物に

心齋橋の賑かさ

秋の御用意は

大丸

大丸

大阪心齋橋

休業日曜月
營業間夜

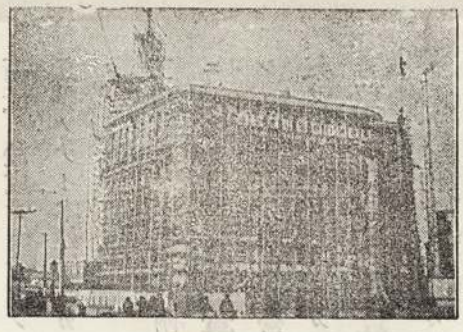
理想的
床敷材
リノリユーム



東洋リノリユーム株式會社

營業所　大阪市東區瓦町二山口ビル四階
電話本局二〇六〇番
三九一〇番

年額百五十萬平方碼



東京數寄屋橋々畔の偉觀

東京京橋區數寄屋橋々畔ニ新築サレタ東京朝日ノ新館ハ其ノ建材外觀總テ新ラシキモノデアルガ

下部外側の水色は

東亞コンクリート塗料

ストンコート

ヲ以テ美裝シ

上部外側の人造石面は

東亞の防水液

ダムタイト

ヲ以テ防水ニ備へ

更に外部各所の蛇腹は

東亞の

トア・スパーワニス

ヲ以テ美麗堅固ノ塗裝ヲ施シ識者ヲシテアット云ハセツツアリ

古河經營

東亞ペイント株式會社

ヤマイチ印

ペン印

寶劍印

クーマー裏

あやめ池温泉場附近土地分讓

旅館料理業經營者募集!!

奈良沿線**あやめ池遊園地南側**景勝ノ地ニ諸病ニ顯著ノ効驗アル**炭酸鑛泉**ガ湧出シマスノデ此靈泉ヲ活用シテ一大温泉場ヲ建設スベク本年四月以來地均工事中ノ所既ニ竣成シマシタノデ愈々理想的ノ他ニ類例ノナイ本建築ニカカルコトニナリマシタ。

工事落成マデニ此ノ附近一帶ノ地ニ温泉地ニ適ハシイ**旅館料亭ノ新築ヲ歡迎**致シマス。何分本社直營ノ事業トテ非常ナ人氣ヲ博シテ居リマスカラ此ノ好機ヲ逸セズ希望ノ**土地ヲ御買約願**ヒマス

◎今ノ内ナラバ精々御便利ニ分讓致シマスカラ御希望ノ方ハ至急左記ヘ御申込願ヒマス

大阪市上本町

大軌電車事業課

電話南(二二五〇一)(二二五〇二)



建築の設計及び施工

西村伊作氏の趣味と研究とによる舊事務所の事業が多くの好評を博し、漸次に發展致しましたので、今回其組織を更め株式會社として益々新日本建設の爲に奉仕致すこゝになりました。數年間の經驗に依り、その成功と失敗とに鑑み其結果今日は以前よりも完全に、そして經濟的に工事を完成することが出來るやうに成りました。

株主は全部今迄數年間吟味した職工及材料供給者をもつて成立ち、最も堅實に西村氏の建築を理解する者のみの集りで、且つ社長は西村伊作氏に今後も從前通り責任をもつてすべての設計圖案を自らすることに成つて居ります。

◇住宅

◇英國風田園住家　◇米國式住家
◇南歐式住家　◇日本家

(建築送呈 / 案内)

◇公衆的小建築

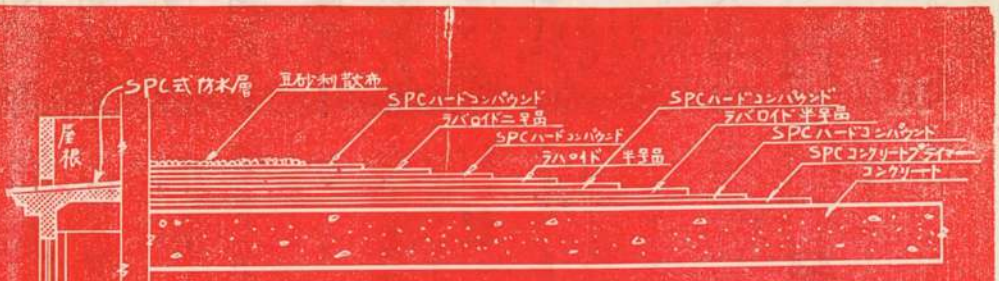
◇學校、病院、教會堂、公會堂
◇劇場、**ホテル**、**アパートメント**
◇記念碑、噴水、公園、墓、等すべての圖案、設計、及びその施工の一般御依頼に應じます

阪神沿線住吉
(東海道線住吉驛東南二丁)

西村建築株式會社

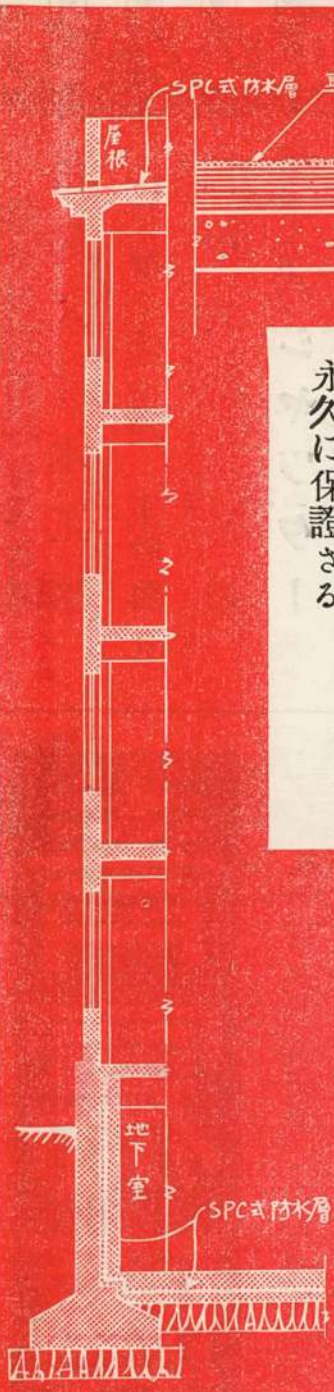
社長　西村伊作

電話御影一五一〇



SPC式 ラバロイド防水層

防水は
建築の生命である
防水の生命は
ラバロイドに依て
永久に保證さる



大阪市西區江戸堀北通一丁目二〇番地
株式會社 **ラバロイド商會**
電話土佐堀（長八五二番 三三三〇番）
門司市東本町二丁目
合資會社 **明正社**
電話門司（長三七八番 六九〇番 一五六〇番）

◆特許山添式防水工事
◆タービヤ鋪裝工事
◆特許田中式硝子屋根
◆デーケー式シヤッター
◆デーケー式サッシユ
◆鈴木式及デーケーラス
◆セメント防水料セレシット
◆星印ルーフヒング

大阪市西區南堀江下通二丁目
内外土木建築材料合資會社
電話長櫻川一六一〇番

青寫眞

▲晴雨を不論夜間にても燒付得る
▲燒付に乾燥凡てを電氣應用
▲集配は最も敏速を期す

青寫眞
トレース
書類複寫
感光紙販賣

大阪市此花區今開町二丁目四九
河村青寫眞調製所
電話長土三七四二（ナヨブ）

拝啓晩秋ノ候愈々御清榮之段奉賀候
陳者今般我等兄弟ニテ左記ノ處ニ營業所幷ニ工場ヲ新設仕リ營業品目ノ者ヲ製作販賣可仕候ニ付而ハ何卒御指導御引立ノ程偏ニ御願申上候
就而ハ參上親シク御願可申上筈ノ處開業早々ニテ何カト忙殺サレ居候折柄不取敢紙上ヲ以テ御挨拶旁々御願迄ニ御座候　敬具

昭和三年拾月壹日

諸精密機械類　設計
鑄鐵、砲金、製作品　製作
煖房、換氣、用品類　販賣
各種スチームトラップ
各種自働減壓弁

東京市外大崎町下大崎四三五

ヱー、エス兄弟商會

電話高輪六三九六番

阿波田良之助
杉本嘉一

拝啓陳者今般御披露申上候ヱー、エス兄弟商會ハ從來御指導御引立ヲ蒙リ居申候當店々主ト義弟ト協同ニテ東京ニ於テ營業開始仕候者ニ付テハ當方東京支店ト同樣ノ者ニ有之優秀ナル製品ヲ製作スル目的ヲ以テ進ミ迅速ト低廉トニ向ツテ努力仕ル方針ニ有之候尙當店ニ關スル東京ニ於ケル事務及ビ營業ニ關スル事項ヲ取扱ヒ申事ニ致申候何卒當店同樣御指導御引立御用命之程奉切願候

敬具

煖房、衛生
換氣、排氣　專門要品製作販賣
蒸氣、水道

大阪市此花區玉川町二丁目二五

阿波田良之助商會

電話土佐堀三九七四番

冷藏防熱用

製産高（工場設備）東洋第一位!!

住宅敷物用、リノリユーム下敷用

炭化コルク



東洋工業株式會社
コルク部

本社及工場　廣島市吉島町
電特長一七九二

大阪出張所　大阪市北區堂島濱通一丁目百十番地
電話北一三八九

東京出張所　東京市神田區豊島町七番地
電浪花八五三番

淺野波形板


母屋が木質でも鐵骨でも
野地板がなくも勾配が緩
くも取付られる
天下無敵の屋根材
社會式株淺野スレート
札幌 名古屋 大阪 門司 東京
強靱の石綿セメント製ゆ
ぶ下見・内壁・天井・間
仕切壁等に用ひて
比類なき最敵品

淺野壁板


萬歲
最高級の
ペイントは
ボイル油は
光明丹は
萬歲號
萬歲號は創立三十年紀念發賣の最優良品でありまして此登錄商標により従來月とか一号とかの上級記号の濫用された本邦の業界を廓清し萬歲號即一等品として僞瞞の余地なからしめんとするものであります。
日本ペイント
東京 大阪
本品に關る人は漏れなく利益を分配さる

家具ト室内裝飾

設計施工

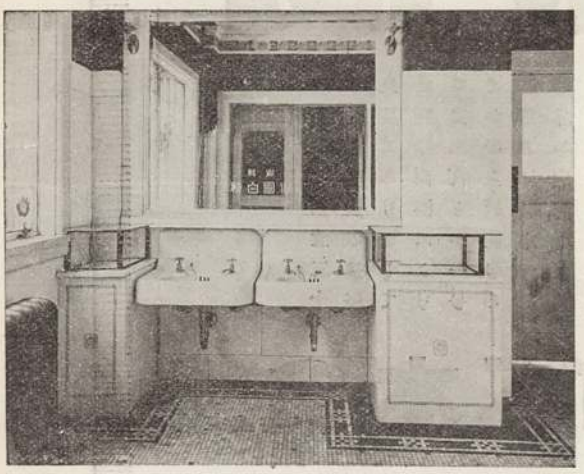
創業明治三十五年

松安洋家具商會

會主　安川熊吉
　　安川梅太郎

大阪市西區南堀江上通り三丁目
市電立花通り停留所東入ル南側
電話櫻川二四七〇番

●各建築設計施工者ニ御依頼
●備品家具ノ下請負仕ル可ク候



便所…化粧室…湯殿

ビトロライトは永久に、汚染、腐蝕變質、クラック等の憂は絶對にないと云ふ理想的の貼瓦材であります。これを便所に使用してはじめて衛生的と云ひ得るものではないでせうか

ビトロライトの大きさ
3尺×6尺
色合…白、黑、アイボリー、ジヱイト

大阪市浪速區櫻川町一丁目一〇五四番地

大阪ビトロライト工事合資會社

電話櫻川二二一四番
出張所　東京市京橋區本材木町一丁目二三　電話日本橋(24)〇九六九番

Cleveland
Pneumatic Tools



優秀なる作業と
能率增進を誇る
グリブランド・ツール

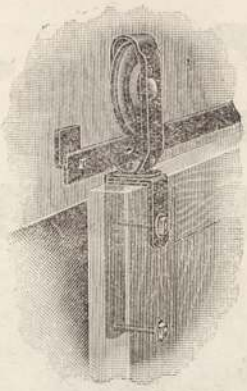
最少量の壓縮空氣を使用して優秀なる能率を有するエアードリルを圖解しました。市場にて販賣さるゝ此種エアーツールと比較研究の結果經濟的にして能率卓越せる事を立證せられました。各種エアーツールあり詳細御照會を乞ふ。

東洋總代理店

株式會社 **アンドリユウス商會**

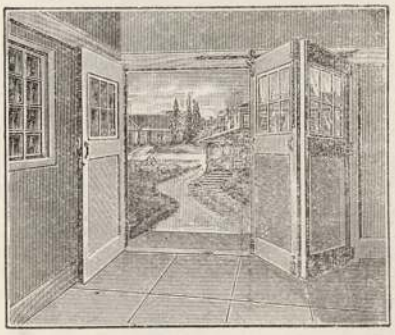
本　社　東京市芝區芝公園五號地二ノ五
支　社　大阪市西區江戸堀南通三ノ一八
名古屋・小　倉・札　幌・京　城・大　連・紐　育

スタンレー式ハンガー車



1. レールを外れることこと絶對に無し
2. 鋼鐵製にて耐久力大なり
3. 使用中注油自在
4. 上下の調節自由
5. 首廻り式なるを以て下の如き戸の釣り方に好適

（カタログ進呈）



ゼ。スタンレーウオークス

大阪市北區中ノ島四丁目三二番地
電話土佐堀二一四五番

床張の權威

アルス

アルス一層塗
アルス、コルク塗
リノリユーム下敷用
外壁用スタッコ
塗込式スクールボート

大阪市西區江戸堀北通一丁目
製造發賣元 日米商事合資會社
アルス工業部
電話土佐堀長(一九五番)七三〇五番

NIPPON ELEVATOR CO.



營業科目

一般輸送機械
ホイスト
ロープホーレージ
エスカレーター
ケーブルカー
コンベヤー各種
エレベーター各種

設計製作

大阪市東區中道川西町

日本エレベーター製造株式會社

電話東 2367.3805.5642 番

取締役社長 工學博士 片岡安

專務取締役 工學博士 堀覺太郎

東京支店

東京驛前丸ノ内ビルディング四階

電話丸ノ内 (23) 3073.3074 番

專賣特許 東松式外二拾四件



庭園 設計と施工

造庭學上の新智識を實地に應用して經驗を積むこと十年
獨特の技術と從業職人の訓練と優秀な設計と完備せる施工

和洋庭園築造請負專門
創業大正五年我國唯一　設計と施工案內進呈

橋本庭園工務所

大阪市住吉區田邊町鶴ヶ丘

◀ 京都府警察廳舍内施工



アホイ式フローリングブロック
丸上式リノード床張の圖

理想的根太無床板

專賣特許第一七一號　新案特許第三三二二號

練革床

特許ピトリウム床
特許ピトチック内外壁

槍床板

實剝

特許葵式淨化裝置
水道、衛生工事
タイル、衛生陶器

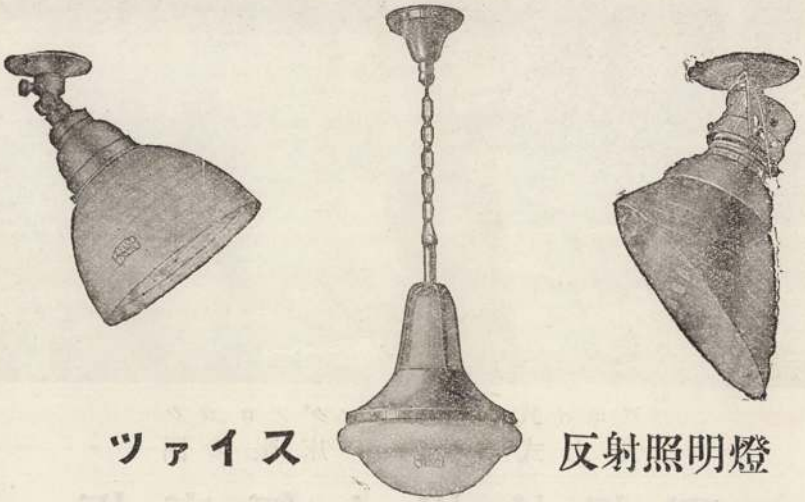
衛生工事

葵商會

大阪市港區境川町四丁目四十番地　電西(長)四一九六
東京營業所　東京市京橋區木挽町一ノ一三　電話京橋三九五・九三二

ZEISS

REFLEKTORLAMPS



ツァイス　反射照明燈

本燈ノ出現ト共ニ照明問題ニ決定的解決ガ與ヘラレマシタ。**ツアイス反射照明**燈ノ主體ハ硝子製拋物鏡デ，鏡面ノ孰レノ部分モ強烈ナル反射力テモツテ居リマス。

ツアイス反射明照燈ノ特徴ハ電力ヲ大節約シテ而モ叢ノナイ明ルイ光リヲ配給スルコトデアリマス。本燈ニハ種々ノ型ガアルノデ照明工業ノ各要求ヲ申分ナク滿タスコトガ出來マス。

本燈ハ特ニ大小建築、Flood, ポーチ、客間、居間、事務室、會社、商店、等ノ照明燈トシテ最適品ナリ。

寫眞入リ美シイ**カタログ** Bel 12 アリ。
御報次第送呈。

カール ツァイス 株式會社

CARL ZEISS TOKYO KABUSHIKI KAISHA

東京丸ノ内郵船ビル七階
電話丸ノ内(23) 3065 3066 番

SPECIAL ✿ BORING

ボーリング・鑿井

○明治十八年創業 斯界之権威 ｛古キ歴史ト經驗 特許ノ機械器具 獨特ノ優秀ナル技術｝＝他ノ追従ヲ許サズ

○標語 ｛岩盤、玉石、土質ノ硬軟水壓ノ別ナク 工事ノ多少ニ不拘 迅速正確低廉

○特長 鑿井 ｛鑿工前歩 水潜混ゼズ 任意ノ水層廻意ニ集水 鐵管肉厚袋子ソケット継合 井側鐵管ト同徑ノ砂防 裝置ノ「ストレーナー」 濾水不透 挿入安全 土壓ニヨル鐵管破損ノ憂ナシ 生命永久

ボーリング ｛粒土ヲ用ヒズ 地層ノ區別完全 標本土正確 地質ノ硬軟 土質 水位 フレッシャー フレクション モ詳明 耐壓モボーリング表ニテ明瞭ス

○光榮 ｛諸官衙 技術大家 諸會社ヨリ多数ノ成績證明ヲ賜ハル 宮内省特ニ御用命ヲ拜ス 大阪東京兩市電氣局高速度鐵道課 東京地下鐵道株式會社御用命ヲ受ク

○推奨 ｛基礎工事竝ヲ減ジ 震害豫防ニ 費用低少ニ定評アル森川ノ各種ボーリング 水ノ解決ノ爲メニ 合理的ナル森川式鑿井

地質調査ボーリング
コーアー式ボーリング
特許 森川式大鑿井
特許 森川式井側裝置
揚水裝置
杭打試驗
載荷力試驗

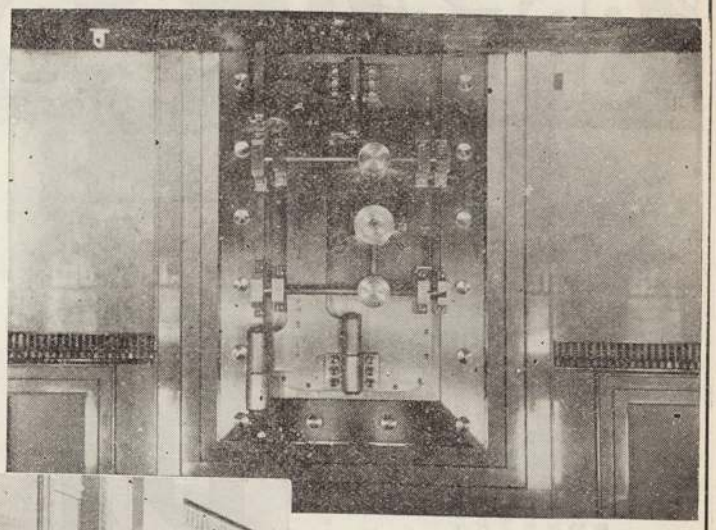
森川組

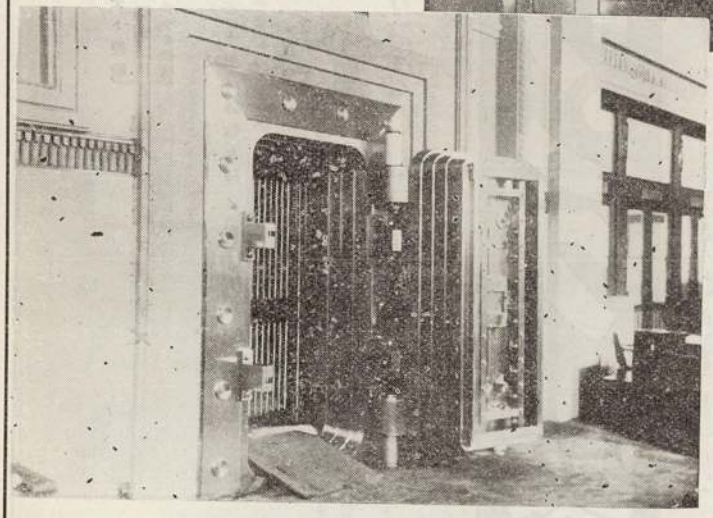
店主 森川傳爾

本店 大阪市西區幸町一丁目 電櫻川 長四四一 三〇一
支店 東京市神田區金澤町 電下谷 五五 三一二

モスラー金庫扉

斯界ノ權威!!





堅牢無比!!

（名古屋銀行本店御使用）

一手販賣代理店

三機工業株式會社

本店　東京市麹町區内幸町一ノ三（大阪ビル内）
電話銀座(57)5330—5335(6,2831—2883(3)
支店　大阪市東區備後町二ノ二一（野村ビル内）
電話本町 1166・1525

取扱店　各地三井物産株式會社支店機械部



渡邊橋

◇

今年の夏は餘り暑くなかつたが、吾等の仕事の能率が大して擧つたとも思はれない。夏は暑いものと頭から決めてかゝる永年の習慣性によるものであらう。

◇

秋、天も地も人も澄明境にはいる秋を迎えたよろこび、御大典も目睫に迫つた、何んとなく、世間が明るくなるやうな期待で頭が一杯である建設の秋、活動の秋。

◇

今、吾人建築人が大膽に社會に呼びかくべき重要事が山積しておる感がある。建築士法案も其の一つである。從來、建築人は技術家なる少さき誇りに馴れて自から築いた高い壁に、社會から忘れられてゐたのだ。大典の秋を一紀劃に、建築人の活動期にいらんことを望むこと切なり。

◇

沈滯し切つた日本の建築人には、先般の當協會の建築知識普及展覽會も、今年中に於ける大收穫である。こゝに展覽會特輯號を燈影親まるゝ秋の机上に捧ぐる次第である。

（凹凸子）

大阪城天主閣再建に就て

佐藤佐



大阪冬の陣天主閣屏風繪（桃山時代）

大阪市が今次の御大典記念事業として大阪城天主閣の再建を發表し其計畫も着々進捗中と聞く蓋し好個の記念事業であり意義あることゝ思ふ、佐藤氏は夙くより考古學に造詣深く其研究は屢々發表された今度市のこの計畫に對し一市民として進んで左に揭げる一編を寄せらる

一、市が天主閣再建の發表

大阪市は今秋の御大典紀念事業として、大阪城に高十五丈の天主閣を再建する事を本年二月發表したに際し、市民は等しく關市長を初めその發案者の着眼頗る非凡にして何人も敬意を表すると共に、之が一刻も早く實現する事を期待してゐるのである。而して之が實現された曉は定めし層樓高く半空に聳え、豊公の偉業を目のあたり髣髴せしめらるゝのであらう。

其の結果市民は偉人の教訓と感化を受くる事絶大であつて此の計畫たるや大阪市民の精神的方面に一大センセーションを捲起す事であらう。此の意味に於て重大使命あるを思へば、天主閣再建は最も意義あるものゝして、其の企てには市民として何人も無關心では居られぬのである。

二、計畫に對する疑問

顧みるに大阪は幾多の名勝史蹟あるとしても、大阪を訪れる多くの人は先づ第一に四天王寺と大阪城に歩を廻らすであらう。四天王寺は云ふ迄もなく聖徳太子建立七ケ寺の一として日本最古の寺院である由緒深き所である計りでなく、偃令堂宇は桃山より文化にかけて建立された比較的新しい建物ではあるが、伽藍の配置は創建當初の所謂百濟式七堂伽藍の制式を失はず、現在四十六棟の連甍を連ね堂々たる伽藍である。

然るに大阪城は豊公時代の遺物として何等見るべきものなく、僅かに黄金水のみを遺し、伏見三層櫓はあれど桃山移建のもので全く大阪城築城當初のものと何等關係を持たず、他に濠、石垣、櫓等存すれども何れも徳川家光の修築になつたもので、恐らく豊公當時の大阪城は全く根底より覆へされて了つてゐるのである。然も豊公當時の空堀より偃月城、二之丸外の馬出曲輪等今は全く影を潜め見るかげもない有様となつてゐる時に際し、市は之に巨費を投じ先づ天主閣再建へ企て着々進渉しつゝあるを思へば、吾々の最も欣幸とする所である。

余は之が實際に干與する人々に直接會つた事もなく、唯單に新聞紙上のみで其の概略を知つたに過ぎないのであるから或は余の誤謬あるやも知らず詳細に渡りては全く不明ではあるが、單に新聞紙上の計畫發表のみを以てすれば多少考慮を要する點がある。即ち天主閣再建に對しあゝりに工を早め、豊公の偉業を發揮せざるものを造り、却て重大なる誤謬に陷れんか。然る時は折角の企圖は、正宗の銘刀も時に菜切庖刀に及ばざる類のものゝなる事を密かに憂慮するものである。

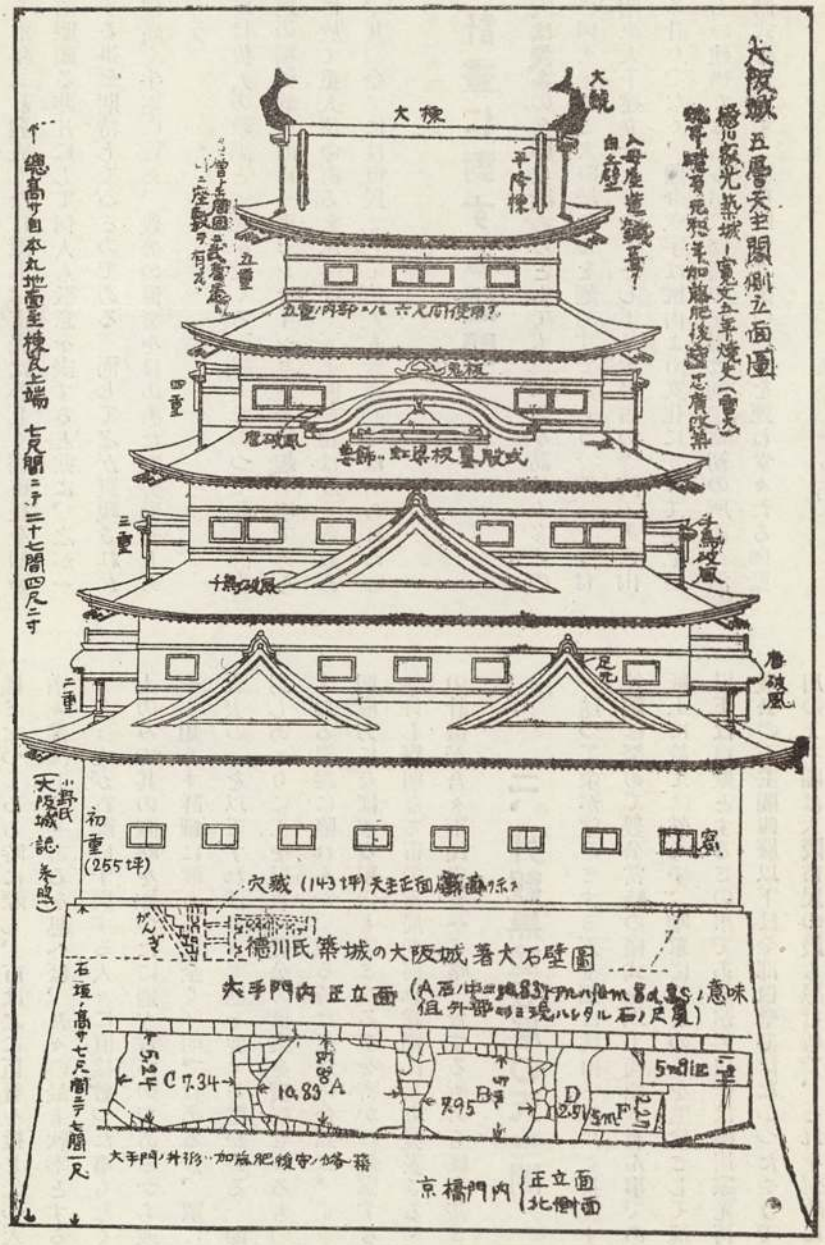
併し賢明なる市の當局が何れ詳細に亘り發表さるゝ事と思ふが、其の計畫が吾々市民の望みと略一致する所あらば幸甚とする所である。

三、外觀黒塗五層の天主閣

隨つて余が望みとする天主閣は桃山と徳川を折衷するものではない外觀は努めて豊公當時の様式を以て複原されん事である。然るに新聞紙上に於ては然らず、唯單に五層のみを黒塗として飛鶴を配し、四層以下は白壁とするこの事であるが、白壁は徳川家光再建の天主閣で、豊公の天主閣四層以下は全部白壁ではなかつたやうである。吾人は徳川の天主閣は大阪市民の最も忌む所で、それを何故に採用せんとするか之れが了解に苦しむものである。

豊公當初の天主閣參考資料として唯一の屏風繪が、黒田家に藏されてゐるので、複原する場合餘り苦心するの必要はなく、他に正確なる

プランとエレベーションは徳川時代の天主閣圖あり。更に現存の天主閣趾石垣は複合式天主閣であつて彼の江戸、郡山、岸和田、伊賀上野域等と同樣のもので大阪現存のものは家光の命に依り加藤肥後守築城のものであるから、全く豐公時代のものとは異にしてゐるが、大體之れを其の儘使用し以て複原を試みれば、豐公當時の天主閣に稍近きものを立案し得らるゝであらう。然し乍ら若し再建すべき根本問題並デテールの手法に於て不可解に陷りしならば、廣く天下の識者より示教を問ふと共に、(常に嚴正なる學術的批判により決定すべきであらうと思ふ。



德川家光築城天主閣

四、外觀の美

尙天主閣の外觀を造るに際し最も重要視すべきものが横つてゐるであらう。それは形の問題である。その最も注意すべき點は上層の形が最下層とよく釣合うてゐるか如何かと云ふ問題である桃山時代の天主閣はそれが最も傑出してゐた事が實例に依つて分るのである。然るに若し此の形が不合理になされたとすれば、折角再建した天主閣も全然失敗に終ることに注目したいのである。

現存の天主閣中何人も先づ第一に指を屈するものは姫路白鷺城であ

らう。上層が四間半と六間に對し下層は十二間に九間半に劃出されてその釣合が合理的で何人もその安定なる美觀に打たれるのである。然るに大阪城は之と同時代であるから之と匹敵すべきものであつたらうと思はるゝ節がある。即ち德川の大阪天主上層は單に白壁のみであるが、豐公の天主は中央に勾欄と軒唐破風（大阪城の桃山及德川兩天主閣圖參照）を設けたる所に最も意義が含まれてゐた。然も各重窓の形も大小を配して變化を示してゐるが、德川時代のものは全く一樣になつて了つて乏しく、各重軒の反轉に至つても恰も現存の熊本宇土櫓を見ると同樣弱くして甚だ殺風景極まるものである。彼の嚴島五重塔の傑出して見ゆるのは、高き山頂を占めて然も極めて反轉が強くなつてゐるからである。尙現存の岡山天主閣は頭が輕過ぎて美を損し、福山天主閣は又反對に重くるしくて甚だ見劣りするものである。斯樣に現存の天主閣より之を推定批判する時、外觀のプランをたつる場合決して容易のものではないのである。

五、豐公一代記の模型保存

本年高島屋呉服店樓上に於て豐公一代記にかゝる模型が展覽された事は當時何人も知る所であるが、之が保存に對して現在余の知る所ではないが、斯樣な見事なものは他に得難いものであるから、此の際之等全部を天主閣落成と共に保管し、以て一般に對し觀覽せしむる樣講じられん事を望むものである。

近時一般に斯かる計畫を完成しつゝあるは一層祖先崇拜のあまりに生じたもので、決して單なる理想より出でたるものではない。その模型製作の極めて無數である努力の結晶に依つて眞に味ふ事が出來やう斯樣な計畫は既に東京を初め各所に行はれ、東京は明治神宮に明治天皇御事蹟を繪畫館を以て完成され、鹿兒島は幾多の藩公銅像を城山に建て、仙臺に於ても巨費を投じて日光東照宮模型を造つて仙臺東照宮に奉安する事となり完成された。

然るに大阪は大阪に相應はしきものあるに拘はらず全く其の影を潛めてあるから、此の際天主閣再建と共に完成された豐公一代記の橫型を保存せしめたいのである。

但し模型の人形は桃山の風俗として見るべきものであるが、背景に至つては全くかけ放れたものもあるから、多少考慮する必要があるであらう。

六、塗金瓦

次に天主閣の外觀として重要すべきは瓦の製作である。豐公當時の瓦は既に砲兵工廠に藏され、近年大阪府廳建設に際し、同所地下一丈餘り堀下げたる時菊花紋樣の巴唐草七個餘り發掘された。之等は假令天主閣のものとは相違するやも知れぬが、然し之等を參考として菊紋樣の巴、唐草紋樣の唐草瓦を複原し、以て塗金瓦を使用されん事を望むものである。

然るに外觀として最も重要視すべき塗金瓦に對しては何等發表せられないので、爰に開陳したる迄であるが、之が實現に費用なき場合は豐公に依つて惠まれた現在市民の有志は勿論公職にあるもの一人一圓乃至二圓の寄附に依らねば何等至難はなからうと思ふ。塗金瓦は赤漆を塗りて然る後金箔を押したもの、一個恐らく一圓まり二圓を要するであらう。而して此の塗金瓦は單に破風にのみ使用されたのであるから費用の點は全く問題にならぬのである。

七、大鯱

次に天主閣に塗金瓦を使用したとすれば、五層屋上大棟兩端の鯱は云ふ迄もなく黄金でなければならぬ。曾て黄金の鯱を使用された天主閣は信長の安土城及駿府七重天主閣等であるが、之等を凌駕する大阪城は破風全體に塗金瓦を使用したのであるから勿論塗金又は黄金の鯱でなければならぬ。

隨つて今回再建すべき天主閣は黄金の大鯱を使用してこそ初めて豊公當初の偉觀を髣髴せしむるものであるが、之を全く削除せんか、結果は何等意味なさぬものとなつて了ふものである。

現存の名古屋天主閣の金の鯱は高さ八尺三寸　構造は木組して鉛にて包み銅を着せ、黄金の鱗二百數十枚を張りしもの、一度洋行して印度洋にて海底に沈んだものと聞くが、東大寺の鴟尾は又恐らく本邦最大のもので青銅に黄金燒付のものであつたらうと思はれるが、重さは古文書に三百六十貫と云ふ恐しいもので惜しい哉今それは滅却して無い。

大正十四年大佛殿修繕の折天沼博士の手により複原され、高さ一丈四尺のものが現在大棟兩端に乘つてゐる譯である。然し乍ら創建當初のものと異り、現存のものは最初木組してそれに銅を張り、金を燒付けたものであるから、斯様な手法ならば大阪天主閣にも何等六ケ敷事はなからうと思ふ。

然し乍ら德川家光が大阪城天主閣築城の折の大鯱は高さ一丈前後のものであるから略それに近きものを造る必要があるだらうと思はれる斯くしてこそ初めて偉大なるものが出現する譯で、東大寺鴟尾に次ぐ大鯱が大阪に出現するのである。他に鬼瓦は凡て五三又は五七の桐を配するのが至當であらう。瓦師も又選定の要あり、大阪は松下忠次氏の如き誇りとするに足る人物が居るのである。

塗金瓦使用の問題に關しては或は將來飛行機襲撃の目標となるを恐るとすれば、然らば何故にそれ以上判然する白壁を配せんとするか、之を隱蔽する事は專門家に糺せば何等六ケ敷問題ではない。

八、豊國神社移建の問題

次に中之島の豊國神社を大阪城内に移建すると云ふ問題が起つてゐる事が、最近新聞紙上に揭載され初めて知つたのであるが、之が決定に對しては關市長自らが何等の回答を與へない樣子であるが、それは又市長としての立場より何等が考がある事と推察されるので決して追究するものでなく、又此の問題は急を要するものでもないが、吾人としては他日を期し是非共移建の實現化するを望むものである。

此の問題を希望するは大阪城が一層異彩を放つと云ふ根本に觸れる事となるからであつて、市が大阪城に對する意向は之を公園にすると云ふのが主なる目的の樣であるが、單にそれ丈では吾人は望ましくないのである。

市の計畫は天主閣を造りて、本丸一帶に兒童の爲運動機關の諸設備を施すとの事であるがそれは吾人は取らない。名義は體育奬勵と云ふも、事實は小供の單なる惡戲場所となつて了ふ。

眞に體育奬勵を目的とするならば、何故に明治神宮の如き大規模のものを造らんとせざるか、余は體育方面は東京の如く大理想のもとに完成するを望むものであつて、決して小供の遊び場所を欲するものではない。

大阪城は單なる運動場所ではない。苟も代表的都市には市民の精神的方面を統一する神聖な場所がある筈である。京城に然り明治神社、臺灣に臺灣神社、仙臺に伊達家の青葉神社祭禮の如きは一日休校して

藩組を禮讃するのである。然も鹿兒島神宮の如きは其の最たるもので傑物續々として輩出するも、蓋し當然であらう。

飜つて大阪を見るに日本屈指の大都市であり乍ら、それが微々たるもので、吾等はそれを渇望して止まない。音に聞く天神祭はあれど果して何程の人が干與し、精神的に教訓と感化を與へられつゝあるか了解に苦しむものである。大阪は實に豊公により幾多の學べき點あるに大阪の各學校其の他を視察するに豊公に關するものは意外にも稀であつて豊公に對しては他所の人の如き感をするのが常に遺憾に思つてゐるのである。

此の意味に於て豊公の天主閣を築造するを喜ぶと共に、豊國神社其の傍にあつて常に參拜し得らるゝ事が、大都市の大精神を涵養統一する點に於て多大の重大關係があるだらうと思ふ。

然るに豊國神社として現在の場所は、全く孤立してゐるので誰しも顧みるもの少なく、剰さへ傍に堂々たる市廳舍に壓倒されて見る影もない有樣である。此の意味に於て余は豊國神社の大阪城内に移建を望むと共に、敷地は彼の淀君秀賴以下一族の自刃した山里丸の地一帶を開放して、此處に再建せられん事を切望するものである。

而して祭神は單に豊公のみでなく山里丸は淀君秀賴公と密接な關係を有し、人をして轉た懐古の情に耐へざらしむる地なれば、恰も日光東照宮に三神を祀ると同樣、せめて淀君秀賴の靈魂を慰むる祠堂なりと傍に建てられたいものである。

余が山里丸を敷地として提唱したる理由は、大阪城内の拜觀者に對し現在よりも更に規模を擴張して、一層滿足を與へしむる點に於て必要であり、且つ天主閣南方廣場千疊敷趾は其の一劃に現在紀州御殿並師團司令部の建物であつて、規模餘りに矮少、苟も豊國神社として建つる餘裕がない。余は紀州御殿は勿論司令部の建物をも、其の儘保存されたいものである。若し之に對し經費の問題を云々する人ありとすれば、それは取るに足らぬ事であつて、事業は永年の計畫を以てすれば何事もなく解決さるゝ事である。

司令部は明治初年最初の建築として貴重なものであつて、彼の造幣局、砲兵工廠、元大阪府廳の諸建築と共に、明治文化史上並日本建築史上貴重なものであるから之を永久に保存すべき價値を有し之を全部廢棄するに忍びない。司令部の建物は二階洋風で、外觀は初め希臘風を模し柱は凡て吹き放しとした雄大なものであつたのを、後に壁を以て繼ぎ合せ全く外觀の美を破壞して了つてゐるから、將來修繕の折原に復し以て大阪の貴重な遺物として永く保存したいのである。

九、結　論

現在大阪城内の巨石は有名なもので七間に餘る肥後石、振袖石他に蛸、龍、虎石の如きものがある。之等は假令豊公當時のものでなくとも實に本那城郭中他に類例のないものであつて、世既に定評あり、白壘の異墻其の上に立ち三層の伏見櫓を初めとして千貫櫓申乾の諸櫓は蒼々たる古松と共に影を濠水に涵し、舊時藩候の威嚴を物語りてゐるが、其の中に金色燦然たる天主閣を聳立せしめんか、その偉觀は蓋し想像以上のものであるだらうと思ふ。

此の意味に於て大阪城に再建すべき天主閣は豊公創建當初のものに近きものを實現し、金色燦然たる天主閣の中には豊公一代記の模型を保存して、一般の人々に觀覽せしむる事を願ふと共に、余は更に山里丸を開放して爰に三神より成る豊國神社移建を提唱し、併せて單なる運動の施設のみに依らず、主として皇國將來の發展に資せんとする大計を以て事に望み、爰に大阪城は神聖なる靈地として果た豊公を偲ぶ唯一の場所として計畫され、以て昭和時代の文化の權化として眞に代表すべき一大紀念物たるべく、之が遺漏なからん事を切望して止まぬのである。（昭和三年八月二十四日惠我莊にて）

現代日本大建築一覽

所在地	名稱	建坪	總延坪	高	施工者又ハ設計監督
大阪	大阪府廳舍	1939.00	7367.00	100.00	大林組
	大阪鐵道局	1431.00	7383.00	75.4	清水組
	大阪市廳舍	1049.75	6336.13	78.0 / 77.0	錢高組
	大阪控訴院	1336.00	4100.00	65.0	横濱工務所
	中之島公會堂	659.00	2391.00		
	大阪ビルデング	1245.00	9792.00	100.00	大林組
	住友ビルデング	955.00	6872.00	80.00	大林組
	堂島ビルデング	644.00	5893.00	100.00	竹中工務店
	大同ビルデング	551.00	4128.00	100.00	竹中工務店
	新京阪ビルデング	1000.00	3500.00	100.00	大林組
	野村ビルデング	414.00	2950.00	100.00	竹中工務店
	山口ビルデング	373.00	2473.00	100.00	竹中工務店
	大執ビルデング	450.00	2852.00	97.00	大林組
	三井倉庫事務所	221.00	1548.07	81.9	横川工務所
	大阪大丸	676.00	4970.33	100.00	竹中工務店
	大阪三越	783.00	6523.00	108.0	横川工務所
	大阪高島屋	382.00	3078.00	100.00	竹中工務店
	大阪白木屋	356.44	3035.33	108.8 / 178.8	清水組
東京	帝國大學圖書館	1174.00	4662.00	97.5	大林組
	帝國ホテル		10000.00		大倉土木(株)(株)竹中工務店
	帝國劇場	645.00	1826.00	56.9	横川工務所
	歌舞伎座	1310.00	2656.00	89.5	大林組
	工業倶樂部	458.50	2126.50	70.00	横川工務所
	株式取引所	914.00	2704.43	80.00	横川工務所
	丸ノ内ビルデング				
	東京三越	1168.18	8683.60	99.25 / 200.00	横川工務所
	八重洲ビルデング	707.80	5367.10	100.00	大林組
	郵船ビルデング		8438.00	100.00	三菱地所部 竹中工務店
	第一相互ビルデング	540.00	3300.00	92.00 / 150.00	清水組
	銀座ビルデング	708.00	7144.00	100.80 / 138.80	木田組
	千代田館	429.04	3427.81	96.50	横川工務所
	大阪ビルデング支店	445.00	3344.00	100.00	竹中工務店
	三菱銀行	853.00	2926.00	59.00	三菱地所部
	興業銀行	520.00	4060.00	100.00	大林組
京都	京都市廳舍	671.00	3019.40	120.00	山松 荒井組
	京都ホテル	323.00	1911.22	100.00	清水組
神戸	勸業銀行支店	282.00	1108.00	45.50	大林組
	先斗町歌舞練場	296.00	1201.00	52.50	大林組
	第十五銀行支店	273.45	1474.57	90.00	清水組
	明海ビルデング	282.00	2247.00	100.00	竹中工務店
	商船ビルデング	447.00	3449.00	92.50	大林組
横浜	生糸檢査所	1531.00	9113.00	60.00	大林組
名古屋	住友ビルデング	292.00	2409.00	100.00	大林組
	松阪屋	731.00	5710.00	100.00	竹中工務店
廣島	鎭備銀行	185.00	1083.00	80.00	大林組

建展第一室　現代日本大建築一覽　出品者　日本建築協會

日本建築協會主催

建築知識普及展覽會

特別記事

建展の所感

會員　加藤善吉

日本建築協會主催の建築知識普及展覽會は將に築造せられんとする都市計畫街路廣路に面する大阪の中樞地心齋橋大丸の樓上に於て九月十一日午前八時の指針とともにその幕は切つて落された。

常に建築知識の普及に大なる努力を傾注しつゝある日本建築協會の主催、それに出品者各自の非常な努力、日々五萬の大衆を吞吐する大丸地の利を占めた位置、晴天の連續、これ等の諸點が市民に大なる感動と興味を與へたためか開幕たゞちに入り込む大衆は時の進むにつれて刻々其の數を增し忽ちにして押すな押すなの盛況を呈するに至つた。殊に會期の最終日の盛況に至つては實に其の數の夥しき歩を運ぶことすら一時はなし得ない狀態であつた、而しながら觀衆は何れも熱心に而も詳細に見、疑問の點は大丸六階に設けられた本協會假事務所を訪ふて質問せられたる人々も可なりに多かつた。かくして會期僅かに六日間盛況裡に九月十六日午後八時心惜しく幕は閉されたのである。大衆は勿論主催者側も大丸も會期の短かきを恨むだのであつた。この間私も本展覽會委員の末席をけがして第一部の仕事に携つたが身折柄の多忙のためにその責務を果し得なかつたのは甚だ遺憾であるがその一員として第一部即ち第一室に關する所感を書くことを命ぜられた、然し時日の短きと今更に多忙なために一旦は御斷りはしたものの斯かる盛況を目撃した私としてその喜びを抱きつゝ、雜感を書きつらねて責を塞く事とした。

本協會が展覽會開催の議の起つたのは何時からかは知らねども稍具體化したのは多分本年の四月頃と記憶する、而して會期は六月頃の豫定であつたが會場其の他の都合で多少時日の延引を見た然しながら愈々會場の決定を見るに及んで着々として其の準備は進められた、各委員は選ばれてそれ〳〵の部門を擔當するに至つた、其の始めより本展覽會の委員長として委員を指導督勵してその事に執拳せられた宗兵藏先生の御熱心には吾々の大に敬服するところであつた斯くして開期の接迫するにつれて各委員の努力

と出品者の熱心は一層その度を增して九月九日夜より十日の一晝夜にてかくも完備した展覽會場は作られた、人々が驚異の眼をみはるも無理はない、各委員の努力は成つた、斯くして建築知識普及展覽會は人々の熱心な嘱望のもとに開かれたが果して期待に添ふた、そはあの盛況は之れを物語る。即ち本協會の平常の抱負の一端を披瀝したことに對して報られたのである。

かくも盛況を呈した原因は既に記した諸點にあることは確かであるが一面一般の人々の建築に趣味を持ち或は建築知識の修得に熱心なのもたしかにその一因を爲すものであることは疑ないところである。吾々建築のことに從ふもの、大に意を强ふするに足るであらう。この現象はやがて必ずや近き將來に於て本協會の趣旨は一般大衆に徹底しその目的を達成することを得るであらう。

元來日本に於ける建築界の發達は違數であるが近來のその進歩發達は實に著しい、學問に技術に而して建築家の數に於てもそうであるが天を摩する高層建築物の隨所に聳立するの現象は實にこれを證左するものと謂ふべきであらう。

從つて一般の人々にも建築の問題が可なり重要視せられるに至つたことは事實である。一般大衆向の雜誌と云ふ雜誌に建築に關する事柄の揭載せぬものがないやうな狀態にまで達した、その因由をなしたものは去る年の關東大震火災である、あの未曾有の大災以來一般の人々の頭には建築に關する知識を得るの必要を痛切に感ぜしめたのである、建築の倒るべきものは倒れ燒かるべきものは燒かれて現實に而も眼前に建築の良否善惡を展開せしめられたのである。從つて家を建てる人々、土地を所有する人々は勿論一般の人にも俄かに建築知識の吸收に吸々たるものであつた。

であるから新聞社は賞を附して商店建築の圖案又は住宅の圖案を募集したり復興局の主催で建築講習會を開催したり展覽會も各所に催されたり隨分と之等に關する智識の普及に力を致したものだ、之れは實に關東に於ける建築知識普及の劃期的現象とも云ふべきであつた。以來東京に大阪にこの種展覽會の開かるゝもの可なりに多い。然しながら何れも部分的であつて總體的のものは尠かつた。或るものは圖案が主であり或るものが建築材料が主であつたりしたのであるが何れも相當の成績を擧げてゐる。然るに今回大丸に於て催されに日本建築協會主催の建築知識普及展覽會は之等の何れをも主とせず何れを從とせず總體的に而も通俗的に何人にも容易に建築知識を修得せしむるに便利なやうな計畫の下に行はれたのである。從つて押すな押すなの盛況を呈したのも當然であると思ふ。更に特筆すべきは既に大丸の從來の方針は一變されて所謂催し物に依つて大衆を集めて品物を賣ることを排し而して爲した其のものが結果に於て社會公共のためになるものでなければならないふ云ふ主義方針に合致した日本建築協會の此の擧に贊せられよく凡ての了解の元に大丸の方々の涙ぐましい程の御援助と御盡力とは一層成績の上に大なる影響を與へ錦上更に花を添へたことは實に感謝に堪えない。

而しながら今回の展覽會會は何れにしても此の相互の努力は建築知識を發達普及せしむる上に大なる貢獻を寄與したことは信じて疑はないと之れは手前味噌は辛いと謂れても事實は事實として大に吹聽してよいと私は思ふ。

從來日本建築協會は確固とした理想を以て常に內にあつては會員相互の自らなる知識の向上を圖り外に向つては建築知識の普及に力めつゝあつて去る大正十二年秋には豊能郡箕面村櫻ケ丘に大規模の住宅改造博覽會を催して住宅に關する知識を普及し住の改良に對して貢獻したのであつたが今面は其の規模に於て前者に劣るとは云ひ其れを推し擴めて建築の全般に亘る智識の普及に努められた、然し本協會は之れを以て

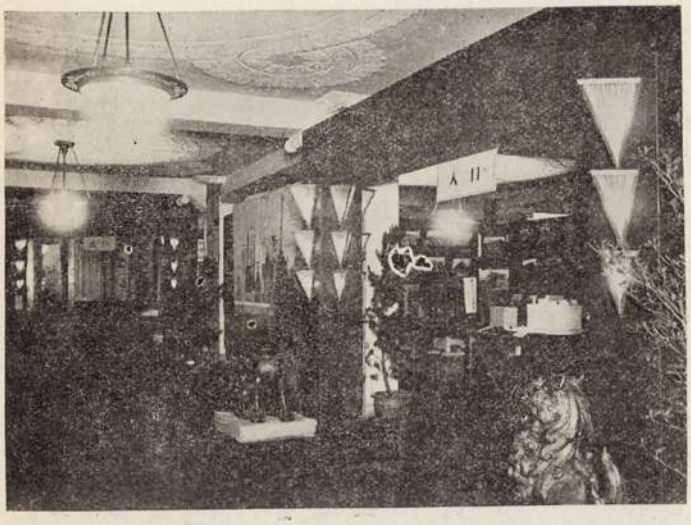
建築グラフ展

會場　大阪・大丸六階・五階

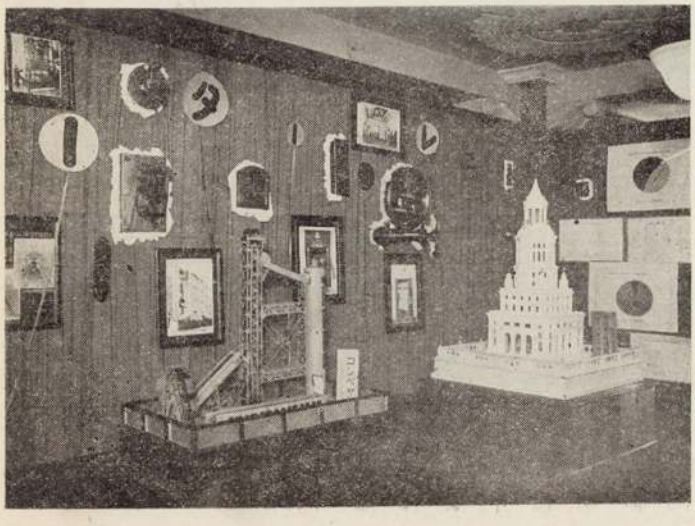
會期　昭和三年十月十一日ヨリ同十六日マデ

滿足するものでない今後と雖も時に有益なる展覽會を開催して最新の知識と嶄新な建築資料の普及に力を致すことは常にその主義として居るのである。私は更に進むで國家の事業としてこの種展覽會の如き施設の常置の必要を痛感しその實現に向つて力を致すべきことを希望する。斯の如き施設は一般の人々は勿論であるが吾々建築家も大に啓發さるべきを期待する。

實際建築に關する問題が今日吾々の生活に最も密接な最も重大な關係を持ち其の適不適は直ちに吾々の生活に大なる影響を與へ延へては我々の生命にまで及ぼしたものである。交通の問題衛生の問題、保安、經濟上の問題、都市美の問題等凡ゆる問題に深き關係を持ちと云ふよりも之等の問題を支配すると云ふべきであらう。で



第一會場入口



第二會場出品室

あるから之等に關する問題の正當な解決は市民の自らなる自覺に依る努力に俟たねばならぬ。然るに今日に於ける市民の態度の冷淡であることは驚くの外はない。

この弊を救ふの道は思ふに現今の世態に於て建築思想の普及を圖ることが急務であると思ふこの點に深く意を用ふることを忘れてはならぬ

左に本展覽會の內容を畧記して第一室の概要を摘記しよう。

本展覽會は各部を第一室より第五室に區別した、第一室には『圖面、寫眞、模型』を陳列し一般の建築概念を與へ、第二室は『現代の建築設備』として交通、衞生、換氣、暖冷房、採光、電氣、冷藏、其他の諸設備の實物を出品陳列した、更に參考品として藤原博士の研究に成る住居の衞生に關する參考資料は貴重なものであつた。第三室は『災害と其の豫防』として大阪に於ける災害の記錄表、寫眞、名和昆虫研究所の出品に係る白蟻の資料、防耐火建築材料一切を網羅してあつた。第四室は『住宅と庭園』の部門であつて、一、實物住宅模型、二、住宅建築及庭園設計圖案並寫眞、三、小住宅懸賞募集當選圖案、四、庭園設計圖案及寫眞、其他實物の出品は、五、臺所、六、浴室、七、化粧室、八、便所、九、小供室、十、寢室、一一、食堂、一二應接室、兼書齋、一三、庭園の實物があつた。第五室は『建築材料』の部であつて建築材料一切る蒐集陳列して余すところがなかつた。各室共に配列宜しきを得て居り內容の充實してあつたことは何人も認めるところであつた。

建展を顧みて

會員　松本生

私達は今回の展覽會が開かるるに際して委員の端くれに列つて居つたが爲め、別段ヒーキ目から見た譯でもないが、何しろ初回の此種展覽會としては兎に角成功であつたと云つても良かろう。

これは無論出品者各位、委員側、其他關係者諸氏の熱心、協力に俟つ所が多かつたことと特に會場を提供して萬端の世話と、便宜を與へて頂いた大丸側の厚意に依つたからである。

そして夫れと丁度好都合であつた事は、天候に恵まれたからであつた。

永くもない期間中に雨續きでもあつたならば、折角の催しもサツパリ觀覽者の足數が少からうと、實は委員側の一員として懸念したものであつた、と云ふのも丁度其時期が天候として氣支はる、二百廿日の邊りであつたからである

夫からあれ位出品物も種別的に纏つたものを僅か五日や六日の展示期間としてはあまりに短か過ぎるといふ一般の評を耳にしたのであつたが、自分等も之に共鳴した其一人であつた。より多くの人々に建築知識を普及する上に、又中には出品其物に少からぬ努力と犧牲とを拂ったものの上からしても、次回なぞは許す限り其期間の延長を望み度いものである。そして更に勝手な熱を吹かして貰ふならば、今少しく積極的に色んな適切な方法を以て展覽會開催の主旨を宣傳したかつた樣な氣がした。失れから廣汎なる建築資料を其材料方面からでもよし、又施工の方面からでも、經濟(工費)方面からでも、將又衞生的方面、何れの方面からでもよいが、建築なるものと人間の日常生活と最も深い交涉を有する方面から微細な方面に立入つて展示し度い樣な氣がする。即ち今回の如く間日の廣い展示も肝要であるが、一面ある程度まで其深みの

知識を與へることも今日の場合確かに必要なことではあるまいか。

して今回の展示は大體五部(五室)に別たれたのであるが、自分は主として第四部即ち『住宅と庭園』の部の方面に屬して居つた關係上第四部出品に付て其感想の一端を述べてみ度い。

第四部の陳列は建築業協會關西支部五日會池田組、西本組、大倉土木株式會社、大林組、大阪橋本組、竹中工務店、中島組、久保田組、松村組、鴻池組、安藤組、清水組、島藤商店、森下組、森本組、錢高組等の出品たる實物住宅室内模型展示が場の中心出品となつて花を咲かしたのであつた。之に橋本庭園工務所出品の洋風實物庭園、大鐵懸賞住宅當選圖案、各土地住宅會社等の住宅經營圖其他を陳列されたので



第二室出品



同上



同上

あつた。

ところで五日會出陳の實物室内模型の如きは台所、浴室、化粧室、便所、子供室、寢室、食堂、應接室兼書齋の數多き室、室を然かも一日一晩で組立るこ云ふ早業なので、實の所其成行き如何を氣支ふて居つたのであつた。が、見事豫期の如く一日一晩を以て完全なる室こして其竣成を見たのであつた。

其間電氣、衛生、特種造作材料等を出品せられた各商店の方々の努力による所も多いのであるが、例へ材料其他相當に用意された所で作事場から建設せんこする現場へ諸材料を運搬して僅か一日一晩の短時間を費して、兎に角最後のフイニツシまで竣るこ云ふ早業は全く新たなるレコードで、吾々其業に携つて居る者に敎へられるところが甚だ多かつたのである。

要するに工事の出發に際しては設計の完備と工事の段取と、從業者の一致協力と、指揮者の要領に依つて其工期の短縮を圖り得るこ云ふ事を痛切に感じたのであつた。そして然かも出來上りの各室共何等の無理もなく中流程度の住居こしては誠に適しく思つた。ただ會場に場所の餘裕なかつたためか、各室共背中合せに間仕切せられ隣室と何等の交涉た導き得らさなかつた事は惜しく思はれた。つまりあれ程の出品物に對して其場所が狹隘であつたかこ思ふ。夫から更に標準こなる工費の點も現したかつた樣に思つた。

庭園の方は扁平な小面積をあれほごうまく活用された事は敬服に値する庭園も其立案の如何によつては狹少なる場所もより廣めに活かす事が出來るこ云ふ良い試みの展示であつた。唯だ會場の都合で逆光線の窓は餘程氣の毒の感じがした。

大鐵懸賞住宅當選圖案の如きも一般觀覽者に住宅的知識を普及する上にいゝ資料であつたが陳列場所に採光不充分であつたことこ、巡路を實物住宅を見せる前に列べ度かつた樣に思はれた。

建展と其感想

株式會社大丸囑託技師
會員 岡部顯則

從來各百貨店では如何なる方法を勘考すれば客を集めることが出來得るか又其客に對して如何なる策略を施せば買物をして貰へるかこいふ問題に關しては絶へず競爭的に研究を積んで種々な博覽會其他の催しを設けて客を喜ばしむる事に吸々こして居たのであつたが、今日の百貨店では催物の設備無くこも豫想以上の客が絶へず入つて來るから其必要がなくなつて極眞面目な衣食住なごに關する催物を客が好むやうに變遷して來たのであります。でありますから前よりも一層其方法が複雜になつて殆ご專問的に研究を要するので將來は衛生に關する臺所便所の展覽會こか服裝改良の展覽會こか經濟的食物の展覽會なごが屢々催されることこ信じます。

今回日本建築協會が建築智識普及展覽會開催に就て坪井氏こ自分こが大丸へ行つて五階、六階約三百五十坪を會場こして拜借いたし度旨申込んだ處が東條氏が重役こ御相談の結果氣持良く御承諾下さつたのであつた。然るに大丸こしては此莫大な面積を提供して、果して萬客を迎ふるに充分な材料を集めることが出來得るかを心配せられ、又協會も何分始めての催しであるから、各委員一同の一大決心と努力に依らなければ出來ないことであるから双方が心配しつゝ準備に取掛つたのであつた。然るに各部委員諸君が非常なる熱誠こ努力を以て準備をせられた

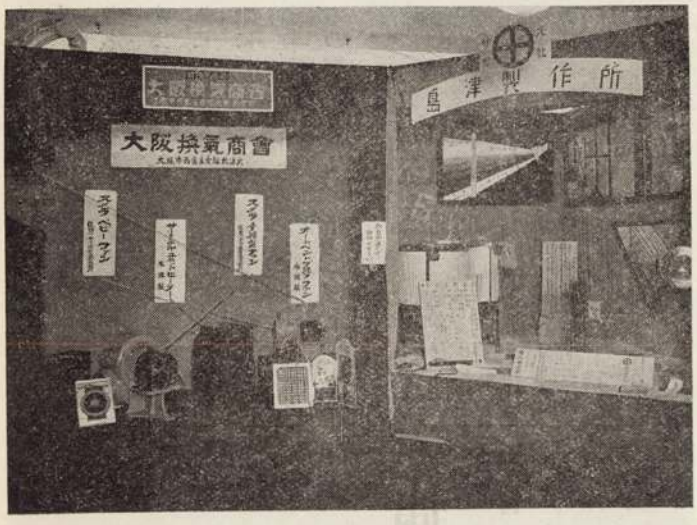
結果漸く出品物も豫定通纏り愈開會の前日となるや、各所から集合する出品物山をなし混雜極まりなく一々檢品係の檢査を受け會場に持込み陳列に取掛つたのでありましたが何分鐵製のもの石造類のもの許り其上面積の大きなもの過重なものが澤山あつて混雜は戰爭氣分でありました。大丸の方では催物係宣傳係の人々で間仕切裝飾に一生懸命になつて造つて頂き殆ど徹夜して完備せられた事は厚く感謝する次第であります。又出品者の人々も熱心に裝飾やら陳列に努力せられ開會時間には全部完成何等の滯りもなく無事に開會せられた事は協會委員一同の非常に喜んで居る次第であります。潛越乍陳列に對しての感想を申上ますと、總てに亘り陳列なり裝飾は何等一點の非難すべき所はありませ

第二室出品





同上



同上



んが只餘りに專門的に走つて建築家に見せる展覽會ぢいふ樣な感じがするのを遺憾ぢ思ひます一般に建築の智識を普及せしむる展覽會でありますからも少し具體的に說明をして婦人の方や子供に迄よく分明するようにすればよかつたぢ思つて居ります。例へば放熱器を一つ陳列して其背面に如何にも暖かそうな室內の繪を書いてあるぢしますとそれによつて此放熱器は暖いものであるぢいふことが分るでしようか之をも少し詳細に汽罐から溫水なり蒸氣を管を通じて放熱器に送る繪を一枚附加して置けば暖いぢいふことがはつきり分るように思ひます。尙進んで此裝置には約何程費用を要するぢか、燃料は幾何位までを書いて說明をして置けばよかつたぢ思ひます。水道衛生設備にしてもあの陳列では近來の衛生は完備せりぢ賞讚し得るも詳細な經濟上の說明に欠けて居るから自分も一つ設備をして見たいぢ思つても直に其氣分になれない樣な感じがいたします。建築材料の陳列は簡單な說明を附けて置けば其用途は大要分るようであるが之も經濟上の說明に觸れて居らない爲に分り難い點が多々あつたように思ひます『カタログ』の申込を受ける設けをしてあつた處が多いようでありましたが『カタログ』を貰ひ度ぢいふ人の心理を考へて見るぢ注文をしたいぢいふよりも此材料は如何なる場所へ使ふのであらうか又耐久力は如何、火水にはぢうか、地震には何處迄耐え得るかを詳細に知りたい人が多い樣であるから直接に其効能はなくとも、よき宣傳廣告になつた事ぢ思ひます。實物模型は庭共非常に好評で一般の人々によく眼に附いたようであります。何分短時間で智識を普及せんぢするので一見して直に、分る樣工夫を要するのであるから簡單なようで甚だ六ヶ敷いのであります。

兎に角今回の展覽會は何等の非難も聞かず大成功裡に終了したぢは本會の目的を達したといふよりも斯界の爲聊かたりぢも貢獻したとすれば愉快を覺ゆるのであります。每年其一小部分の小展覽會を開催して成功を持續せしめたいものであります。

『建展』偶感

會員　阪口芳三郎

今度の建築智識普及展覽會に私は、協會側からは第二部(現代の建築設備に關する事項)の委員の一人に選ばれたし、また出品者の一人ぢして、大日本アスファルトブロックを出陳したから、ぢちらの樂屋も判つたわけだ。しかし玆では、主ぢして、土木建築材料商工材社の主人ぢして、出品者側の意見を述べて見やう。

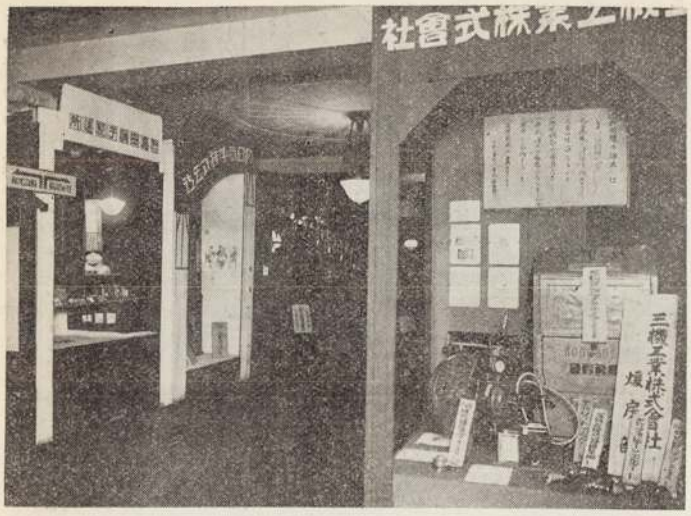
『建築智識普及展覽會』ぢいふ名稱から言つても、建築の智識を普及するのが會の目的だらうから、建築家、又はこれに關係を持つ玄人筋よりは寧ろ、一般の素人に呼びかけるのが本會を開催した趣旨だらうと考へられた。出品者ぢしては先づ何よりも先に、會の目的、從つて來觀者の種類を考へなければならない。そして、それに依つて、出品物の種類を選擇し、陳列の方法も工夫しなければ、折角の宣傳も効を奏しない事になる。

ところで、今度の會の趣旨が前記の樣だとするぢ、大日本アスファルトブロックなぢは、或は不適當な出品物ではないかとも思つた。何故ならば、道路や橋梁の鋪裝には、この上もない材料だが、さうした仕事は府縣廳、市町村なぢの官公署若くは會社の手に屬してゐるから、來觀者の大部分ぢは直接交涉が少い譯だ。强ひて

言へば、陸屋根や倉庫の床面などに使はれてゐるからとも言へるが、それは出陳者の身びいきで、一般來觀者は、此方の思ふ程、綿密には見て呉れないものだ。殊にかうした、飽迄實用的な、從つて地味なものは、或は其の存在も認められないかも知れないと、實は考へさせられたのであつた。

だが、いよ〳〵出品して見ると、來觀者はみな熱心で、却つて所謂玄人筋の人々よりも、注意深く、眞面目な態度を示されたことには驚かされた。

我々出品者の中のある店では、わざ〳〵東京から雄辯な店員を招いて、自分の店の出品物の說明をさせてゐた。私の店の者も、それに眞似て、暫く場内に佇んで、質問に應じたさうだが

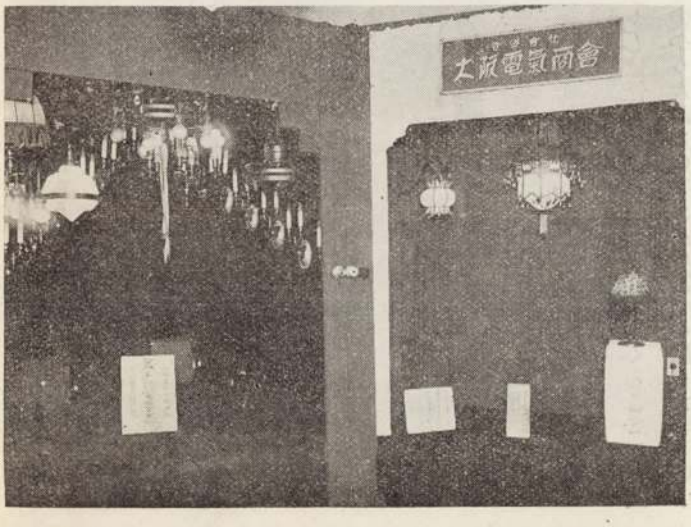


第二室　出品

同　上



同　上



その者の話に據ると

『大日本アスファルトブロックは、耐久力無比で耐壓耐壓力絶大で、價格は低廉、施工は簡易です』といふやうな、概括的な説明だけでは滿足せず『ごういふ材料を使つてゐるか』とか『何故さういふ特長があるか』とか、隨分突込んだ質問をする人も多かつたさうだ。

そこで右の店員は『硅砂と石灰石粉とアスファルトの適量を混捏し適度に熱して、毎平方吋一萬封度以上の強い壓力を加へて成型するもので、かういふ機械裝置に隨分金がかゝる。しかし會社は潤澤な資金を投じて、完全な工場設備を持つてゐるから、品質の均等なものを多量に生産することが出來るし、また多量生産だから一箇當りの單價は安く、從つて他の小規模な製造者に比して、優良な品を安價に提供することが出來る……』と、相當長つたらしい説明を試みたが、それを熱心に傾聽して呉れたそうであつた。

私の店の、言はゞ地味な、特殊品物でさへ、これだけの注意を拂いたのだから、もつと一般向のするは、恐らく豫想以上の好結果を收め得たものだらうと思ふ。そして、この展覽會も意義ある催しとして、永く世の記憶に存することだらうと喜ぶ次第であります。

次にもう一言述べておきたい事は、今迄土木建築材料といふものは、本當の消費者たる施主の意向よりは、設計者の意向によつて選擇されてゐたものである。從つて材料商人は、施主をそつちのけで、設計者へお百度を踏むのが現狀である。これは技術上の關係から、然らしむることであらうが、一般の需給關係から見れば、おかしな事だ。かういふ點も、今度の展覽會のやうなものが繰返して催されゝば、段々建築智識が一般に普及されて、施主の意見も加へられることになるだらう。そして自分の家へ用ひらるべき材料を、たとへ××と明確に指定し得なくとも××と同じ系統の材料をといふ位の提言は出來ることになるだらう。さうなれば、今迄よりは一層自分の氣持に適つた家を創造することが出來るやうになるだらう。そこに材料の進歩と技術の發達が促されて世は進んで行くのである。

建展見たまゝの記

會員　八木幸次郎

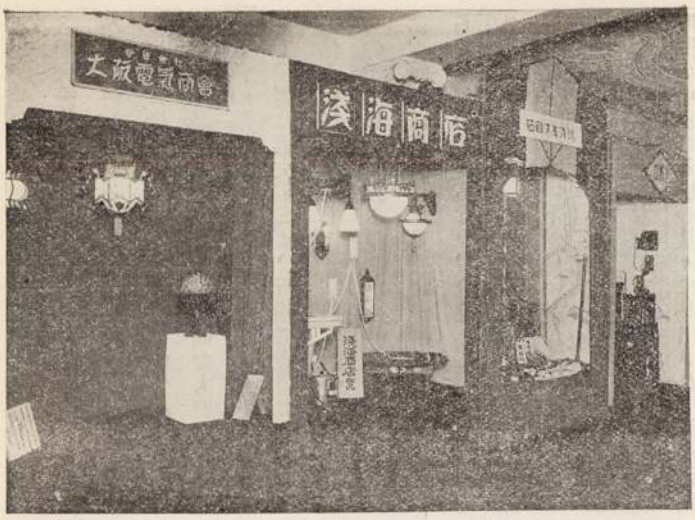
昭和三年九月十一日より、九月十六日に亘る六日間本會の主催で、心齋橋筋大丸の五階六階の一部に建築知識普及展覽會といふものが開かれた。之をモボの言葉を借りて云ふならば、建築行進曲が公開されたとも云へるのである。

會員の協會より民衆の協會へ、ごいふモダーンがかつた目的の表現の一つと考へて確かに意義のあるものには違ひない。私は第三室の一委員として多少この會と關係があるやうな譯だけれども、それよりも編輯樂屋同人の一員として一言なかるべからずごいふ苦しい様な立場から少し位怪しげな氣焰がまざつてくることは、次のやうな譯なので多少の割引を願ひたいものである。

抑本展覽會成立の最初に、私は會場をデパートにすることゝ、會名を建築知識普及展覽會にすることゝに於ては、御歴々のこの會の幹部連中よりも一と足先に核心に觸れた筈のことに、重大なる役目を持つて居た様な氣がするのである。

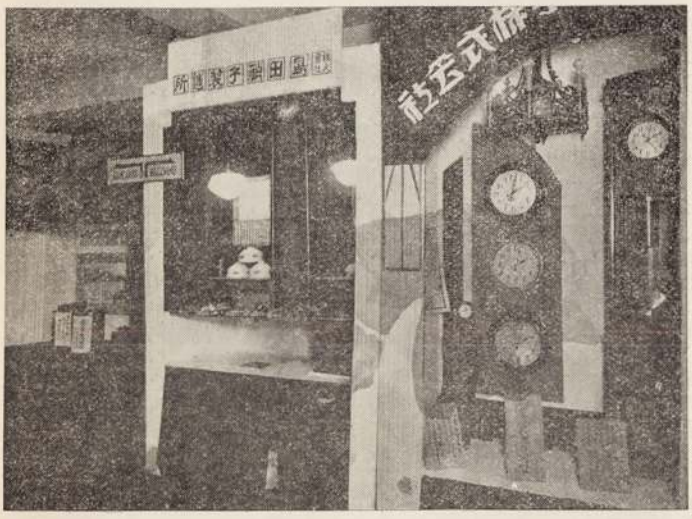
兎まれ角まれ眼に寫つた原因と結果から考へて、會場が大丸の如きデパートであつた事は確

かに成功であつたと思はれる。或る種の展覽會のやうに、人足の少い妙な所で開催されて、堂々たる講師が有益な講話をするからと云うて、殊更に聽衆を集めることなどをしても、一向見るものがなかつた等と云ふ噂などに比べては、勞



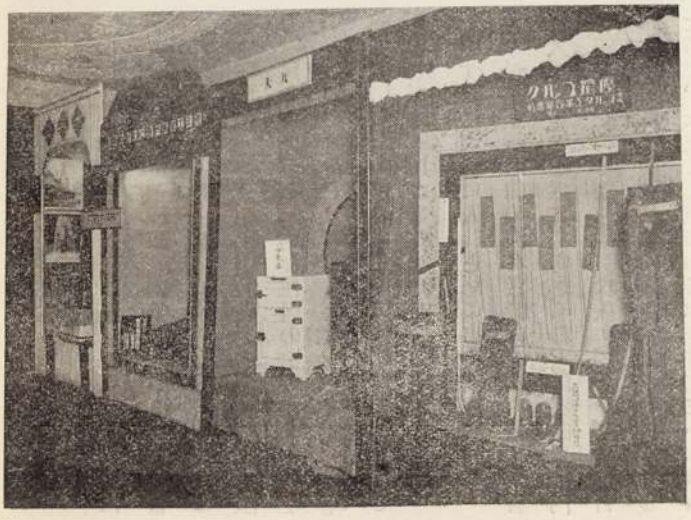
第二室出品

せずして大差ありなんて吹けるのは、大丸さんの偉大さと御援助が本會に惠まれたのだと考へられるものである。又建築知識普及展覽會なんと云ふ、廣汎なる計畫の良否に就いては、充分論議すべき餘地があるかも知れないが、比較的



同上

俄造りのしかも處女作として考へて見るならば民衆の好むところの傾向を觀ふ事に於いて、自ら興味がながれるのみならず、更に事大的に考へて將來の計畫に益する處多からん等と思へば、これもまあ成功の中かと言はれるかも知れ



同上

ない。

開會直前に大阪の津々浦々に貼り付けられた所謂宣傳ビラなるものは、隨分變つた特長を持つてゐた樣である。一個の藝術的作品として考へれば、誠に申分のない御上品なもので、白地に金色の藝術化されたるヴヰーナスと、清楚にして纖麗な黒文字とは、戸外に公開するには誠に惜しい樣な氣がして、室内に藏つて置きたいものである。と云ふのは口さがない京童の中には、餘りに高尚過ぎて、字が細くつて何が何やらさつぱりわからない、金色して居るやうな光るものがあるが、なる程よく見れば悪くない裸體畫だ、隨分臍の下が長い女があればあるものだなあ、なんて云ふ奴がないでもないことを恐れたいからに過ぎないのである。而しながら短時間の中に到る處の辻々に貼出され、面白い展覽會が開かれるぞこて堂々と宣傳した事に於いて、その規模の大きいのには敬服の外ないと思ふのである。更に尚市中の要所〳〵に立てられた一目瞭然に要領を得てゐる立看板の普及をも考へれば一層その感を深くするものである。

展覽會は永續性あるものか

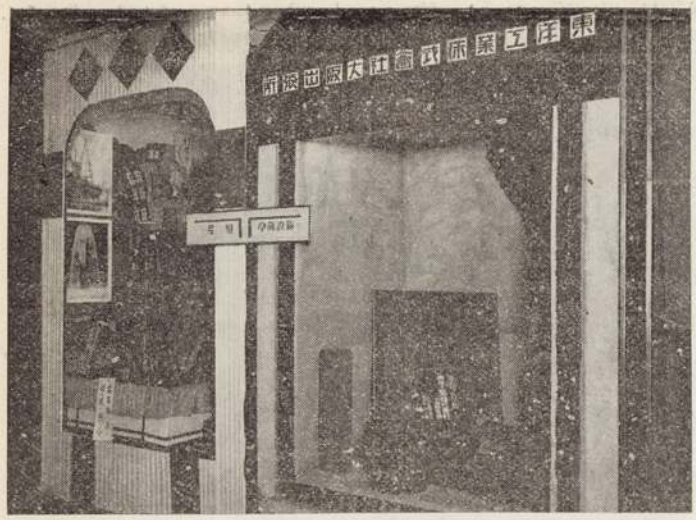
大丸さんの御世辭かも知れないが、『今回の催物のやうに皆さんが熱心に、内容を深く味はつたものは餘り例がありませんでした』等と云はれて見ると、つひ餘計な考をして見たくもなるもので、私は社會の大部分の人々が理想的な己が棲家を求めることに、甚だ熱心であると云ふ事について眞劍に考へさせられたものである。よく考へて見れば成る程當然過ぎる程當然の事かも知れないが、生れ乍らにして理想的な棲家を持つて居るか或はその樣な境遇にあるものは先づないのが當り前で、あるとしても極めて小數の人に限られてゐるか、理想を追及して既に現實の悲哀を感じてゐる人か、理想的な棲家を求むることを許さない狀態に置かれてゐる人々に限られて居る位であると思ふのである。何と云つても一般の人々は、その欲求する熱心さとそのプランの大小の差こそあれ、兎も角も或る程度に生活の餘裕さへ生ずれば、所謂理想的な住居を求むる事に切なる狀態に置かるべき筈と思はれる。尤も中には生活の餘裕の有無に拘らず求むる者も無いことは無いけれど。そこで所謂理想的といふ事に於いて我々が餅屋であるだけに、考へさせられる。

又技術の存在が意義のあることにもなるのではあるまいか。嚴正にして超人的なる理想論の哲理としては、我々が理想的のものとして建築を設計しても、いつ迄經つたとて眞に理想的でこれはと云ふものが出來る域には達しないもので、しかもこれは事實であつて實際我々が日々苦しい思をしてこの問題に惱まされてゐるのだから、民衆よ所謂理想的の追及は須らく思ひ留まれたし等といふ樣な、厭世的自己否定論もないことはないが、相手が超人的の者ならざる限り、民衆は所謂理想的な住居の追及に飽く事を知らぬのが當然で、建築と社會の世相は所謂理想的住居問題の解説と、その熱望による質問とを永久に繰返すに過ぎないことであらう。

要するに御互に人間といふ事から考へれば、我々が建築行進曲の演奏者であるならば、社會の人々はその聽衆とも考へられ、演奏曲目の内容が面白くあるならば、永久に聽衆が絶える筈がない。即ち展覽會の内容さへ良いものとするならば、永久に人氣があるべき筈だといふ事も想像するに難くはないであらう。つまりこれが展覽會の永續性に關する甚だ簡單なる一根據とも云ふべきものと考へられやうか。次に進んで會の成立を左右する絶對性を有するもの、中に會場といふものがある。私は更に永續論の延長としてこれには甚だ考へさせられるものである

展覽會はデパートに於て開かれるものか

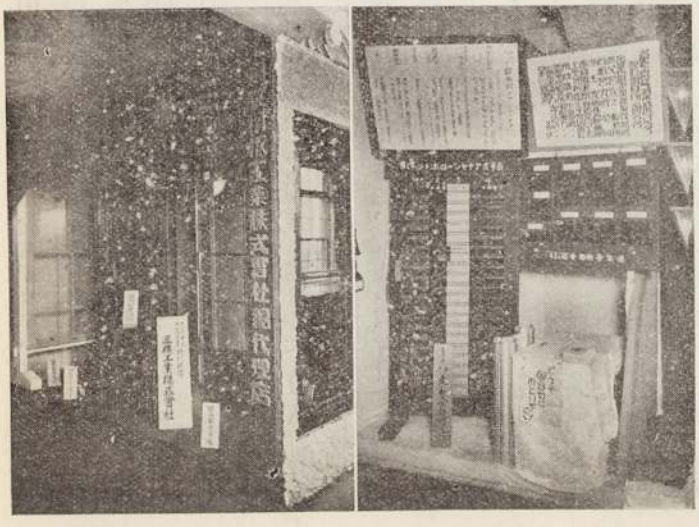
大體デパートメントストアーなるものは何であるかと考へれば、私は經營者でもなければ店員でもなく純然たる門外漢であるけれども、それが近年益々隆盛になりつゝある事から考へてゐる。人間の生活に絶對的價値のある必要品は衣食住に外ならぬとするならば、デパートとアツプトウーデートの商品と鰻上りに騰貴する株價とを連想しての話だけれども、どうも民衆の生活に必要なるものを供給する役目を持つてゐるもの、様に思はれて、民衆の要求に適する供給者として着々成功の道をたどるものと思つてゐる。



第二室出品



第三室出品



同上

それだから先づ最初に比較的取扱ひ易い衣の行進曲で賣出したものが、後に至つて食の行進曲を加へて、しかもこれが大向の人氣を呼んで居るのだから、次に起る問題は住の行進曲の演奏でなければならないと考へるのが、本能的デパート進化論の一種と云ふべきものかも知れないさう考へて見るとプレセントデイデパートなるものが、衣の行進曲のみを比較的完全に演奏して、食の行進曲を極めて不整頓のまゝ營利的に演じて居て、住の行進曲は目下作曲中なんて云ふに過ぎないもので、我が愛するデパートよ汝の精練せる衣食住の曲目を待つこと久し、なんて云ひたくなつて來るのである。が而しこれは我々門外漢の机上の空想に過ぎないで、衣の方は取扱上も保存上も價格の設定上に於くても極めて經營に便なるものであつて、食の方は取扱上にも保存上にも價格の設定上にも極めて難色があつて、調理と味覺と價格との一致がデリケートな問題で、積極的に經營して料理屋や割烹學校に迄發展するのには困難なる立場にあるかもしれないし、更に住に至つては極めて柄の悪いもので取扱不便保存の煩雜價格設定の困難等と誠に御し難いものであるが、それでも家具裝飾位は體面上やる必要があるといふ位が最も妥當なところかも知れない。

私は將來衣食住の完全なる供給者としてデパートが發展する傾向なきにしも非ずと考へてるもので、こう考へて來るならば我協會がデパートで建築行進曲即住の行進曲を演奏したと云ふ事は誠に意味深長なものであつて、人間の衣食住に對する本能的衝動が極めて大きいものでなければならぬ事とするならば、社會人の欲する三大要素がデパートで期せずして一大コーラスをやつたと云ふ事に一人斟からざる興味を持つて居るもので、展覽會の永續性なるものが、その會場をデパートにすると云ふ事には多分の期待がかけらるべきものと思ふのである。

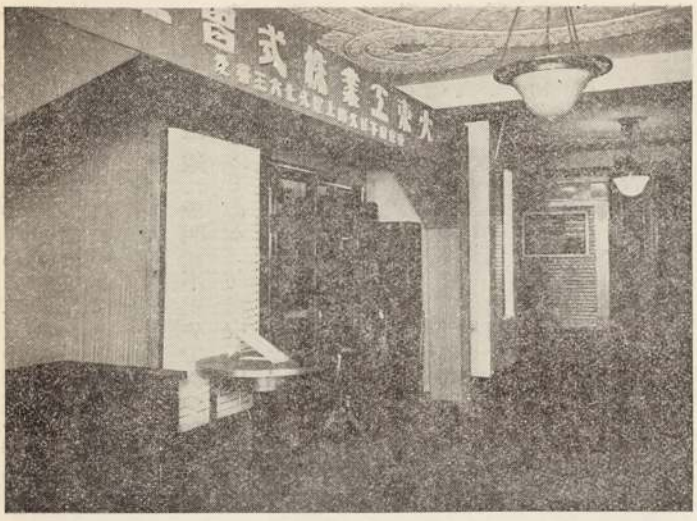
展覽會は社會に如何なる波紋を描くものか

兎も角も斯の如き理由からかどうかはわからないが、今回の展覽會は結果から見て、先づ成功の折紙をつけても差支ないものと思はれる。もとよりデパートの事だから、這入つたものは御つきあひにも見るだらうと云ふことも考へられるけれども、我々主催者側から見る時は、我田引水の色眼鏡觀かも知れないが、隨分御歷々の方々が特に來場されて、しかも親しく御覽になつたやうに思はれる。これはほんの一例に過ぎないが、片岡會長の御鄕里と云ふので何かの因緣が然らしめたのかも知れないけれども石川縣廳の御役人が御二人で、わざ〳〵展覽會を視察に來られて、近く金澤市で開催される同種の展覽會の參考にすると云ふことで、色々の御意見やら御相談なぞを承つたことも一例なら、長く米國にて奮闘された御夫婦が、功成り名遂げて歸朝され、某ホテルに滯在中たま〳〵展覽會に導かれ、一萬五千圓位で理想的の御住居を造りたいとの希望から、本會に設計者と施工者との周旋を依頼して來た樣なデリケートな出來事も面白い一例でなければならない。又我大阪育ちの某富豪が從來借家の建築を大工に任せたことに對する經驗から顧みて、本協會存在の意義を認識したのかどうかはわからぬが、これからの建物は是非共協會の保證する技術者の手にて設計してもらひたいとの御希望で、氏名の推薦を依頼する爲め、連日熱心に來訪して我々を面喰はした事なぞは、いかにも協會と民衆との劇的場面の展開のやうに思はれた。

又第一室に陳列した東西兩洋の建築發達史の圖解と法規の圖解とを學校の教材にする爲に、相當の價格で讓つて欲しいと某女子專門學校の先生が御申出になつたり、作文の問題にでも指定せられたものか、多數の女學生が熱心に會の內容を一々手記してゐるのが散見せられたこと

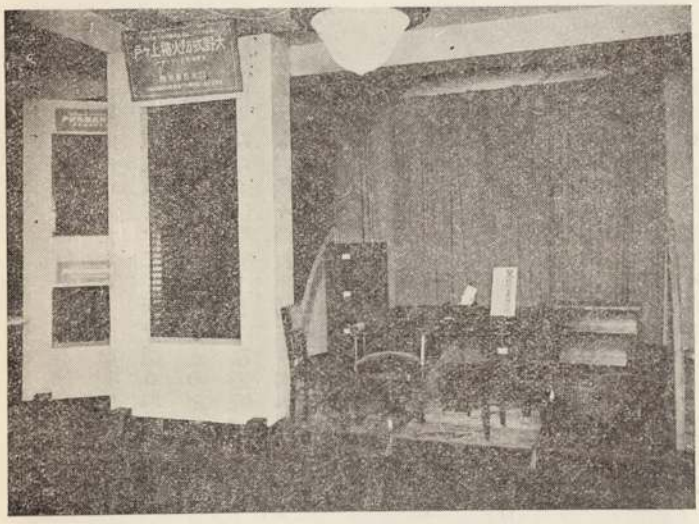
等は未來の良妻賢母の建築觀等とでも云ふべきか、我々のパトロンの存在はいよ〳〵意外な方面に擴張されて行くのも面白い。

展覽會に對して如何なる希望を懷くものか



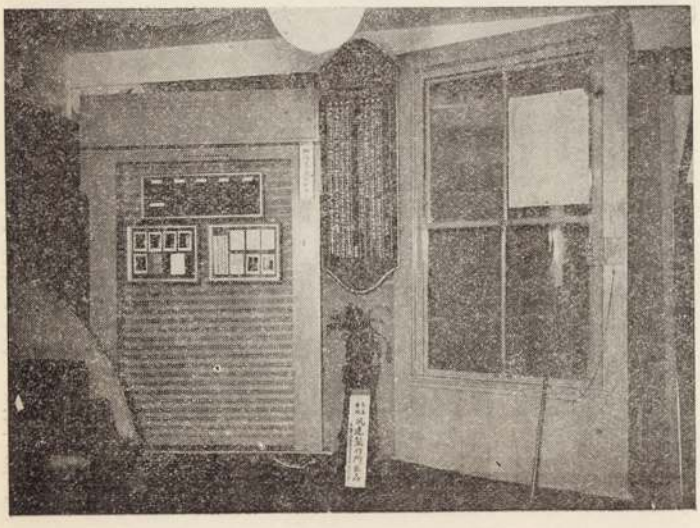
第三室出品

展覽會といふものは如何なるものなりやと云ふ質問に、私として答へんとするところは、短時日を以て多數の人々に卒直簡明に主催者の意のあるところを傳達するに忠實であつて欲しいと云ひたいのである。從つてそのモットーたるや、平易にして簡決で、しかも親切であつて欲しいと云ふ事になる。



同上

私は本會の缺點を尋ねて非を鳴すといふ根性は不幸にして持合せはないけれど、若しも來るべき展覽會があるとしたならば、その時は是非



同上

考へて欲しいと思つてゐる二三の希望を持つてゐる者として、茲に意見を述べるに過ぎないことを御ことわりしたいのみに過ぎないが、過去のものに於いて不滿を有する點を擧げよとのことならば、一般に說明が不充分であつたことを遺憾とするものである。勿論中にはよくわかるものなきにしも非ずであるけれど、技術關係者の通弊たる一人よがりの自己催眠に陷つてゐるものが甚だ多かつた樣に思ふのである。例へば微細なる說明は極めて完全無缺に行はれ、技術的に於いて一々滿足されるものであるけれども飜つてそれが我等の生活と如何なる關係あるものか、何の爲めに存在するものなるか等の如き大ざつぱな點より考へる時は說明が極めて拙劣な樣な氣がしてならないのである。單に建築材料や大建築の寫眞等を雜列したとて、何の爲めにこんなものが出來たのか、如何なる理由で建築が高さを增すか等と云ふ風に興味中心的說明を俱はないとしたならば民衆への感化力といふものが甚だ貧弱なものとなつてしまふであらう而し乍らこの說明方法といふものは極めて專門的の宣傳術とも云ふべき難物であるけれども、今之を補ふに說明並相談所等といふものを解り易い場所に協會が特設するならば、甚た便利で且つ親切なものとなるのではあるまいかと考へる。

何と云うても民衆の好むところは住居問題である樣に見受けられたから、私は次回には住居問題を充分取入れて、二千圓で造り得る家とか五千圓迄にて作り得べき最大限度の家とか、疊を寢臺にしたならば建築上どんな影響があるかとか云ふ樣な、我々の實生活より考へて適切に必要な諸問題を挿へて、興味と實益とを中心として開催するならば、本會の投ずる波紋は屢一層擴大されることゝ信ずるものである。

陳列すべき物品に就いては、比較的重量品は成るべく避けて輕量品を極端に利用するならば大丸さんの手數も省けて双方共大いに益することになり、今後催せられ得べき機會が益々多くなることゝ考へられる。

建展第一室を見る

會員　加藤善吉

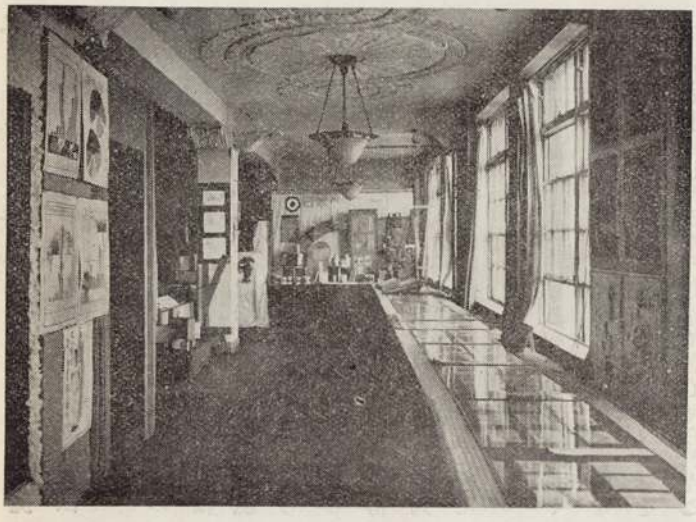
先づ配置から云へば第一室は入口より直ぐの位置を選んだのは先づ一般觀衆をして建築の概念を與へ更に第二室第三室第四室第五室の建築の內容に進むべき順序としたのであつた、入口左側大壁には『世界建築丈競べ』なる色採を施した大作を掲げて先づ觀衆の目を引き世界に於ける古今の有名な高層建築物即ち摩天閣として最高をほこりこの建築のために一時は附近の地價や家賃に大なる變動を與へて物議をかもしたウルオースビルデング(高七五二尺)を始めして目下計畫中のラーキンスビルデング(高一、二〇八尺)等の大より我が國に於ける目下建築中の帝國議事堂(二一六尺)及府廳舍(高一〇〇尺)に至るまでの數多き大建築を一望に集め一つには昔しながらの大建築を偲び一つには日に日に變り行く都市の建築が將來かくの如き高層建築にて充され行く暗示ともなり得たであらう。入つて右側には且つて莫大な賞金を出した大阪美術館及大阪府廳舍、府會議事堂の設計應募第一等當選圖案を掲げて建築の美術的、藝術的觀賞を慫慂になし、その他住友ビルデング、高麗橋ビルデング、住宅設計圖數種を供へた。思へばライト氏の設計に成る帝國ホテルの建築が日比谷街頭に現れたときは當時の建築界に大きな衝動を與

へ大きなセンセイションを捲を起さしめたものであつて今日日本建築界にその影響を受けたことは誰しも知り得るところである。これと同じく論じ得ないが大阪府廳舍の懸賞募集に於てその第一等に當選した前記の圖案も當時の應募圖案中群を抜き審査員を驚かしたものだつた。其の下の台上には府廳舍の實際の設計圖面及豫算書を陳列し大建築工事施工に至るまでの必要な一切の知識を得るの便に供へた。

次には『圖面から家になるまで』の表題の元に『家を造るまでの經路』と『工事に掛つてからの順序』を巧な繪にて示した。即ち一、敷地の撰定。二、設計の相談。三、設計の完成。四、建築の出願。五、請負契約と順序を示し又工事に掛つてからの順序としては先づ第一に敷地の板



第三室　出品



同上



同上

園及假小屋を造つてから地鎭祭を行ひ第二に水盛遣形、地形塀方をなして基礎工事をする、次は木挂へ建前上棟式をなして屋根、壁、外部工事の後內部上塗、疊、建具の工事を了して始めて落成に至る順序を示した。

由來建築工事と云ふものは注文者。建築士。請負業者の三者からなるものであるが一般の風習として住宅の如きは建築士を省きて直ちに大工に命じ建築主が建築費の見積高を徵して其工事を依頼するに當り其の見積書の內容を了解せず。また了解せやうともせず、たゞ自己の意に滿たなければ無意識に其の工費を差引せしめて建築其のものの內質外容を粗惡ならしめることなどは實に寒心すべき事柄である。之等は必ず建築士に圖ることを忘れてはならぬ。

次は『建築の模型』を陳列して其の構造の知識を與へるに勉めた。其の種類は鐵筋コンクリート。木造家屋構造。鐵骨構造。の三種とした。

次に『市街地建築物法の圖解』である。我國に市街地建築物が施行せられたのは大正九年であるが以來八星霜を經過した今日その成績の見るべきものが多い。其の適用範圍も百都市に垂んとするに至つた更に漸次各都市に本法の適用を擴められつゝあるので市民として是非共これが內容を十分了解して置く必要があるが事實本法令位難解なものはない、だからこれを一種の魔物扱にしてゐるものもある。折角制定された法令もこれでは空文に終るの外はないのである。須らく本法施行の完きを期せんとすれば一般の人々をして克く本制度の趣旨を理解せしめねばならぬ、而して自ら進んで法規に準處するの風を馴致して法規に觸れるもののなきやうに至らしめることは本法運用の要諦であるから難解の法規を圖解して之れが一般の人々に容易に會得するやう作製された大阪府建築課のものを陳列し一見して一切の疑義を拂ひ何人を直ちに活用し得るに勉めたのである。

次は『西洋建築の發達』であるがこれは同じく『東洋建築の發達』と共に何れも精巧な美術的な圖解のもとに何人にも其の發達の系統及影響を一目して了解し得るやう非常に苦心せられたことは窺はれるであらう。

元來建築史は特にこの方面に趣味を持つて研究する人は別として余り必要のないもののやうに思はれてゐるがこれは決してべつ視すべきものでなく大に重大な意味を持つてゐる。即ち建築の發達を知る事は建築の根本觀念を明かにするもの、建築の思想的基礎を作るものであるから之れを一般の人々にも平易に要領を會得せしむるやうに圖示したのであつた。之れは或る學校より教材にとの申込みがあつた程である。

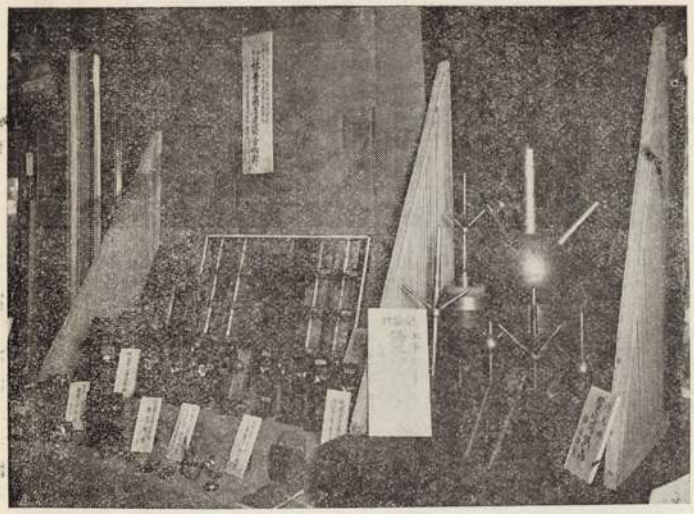
次は『現代の日本大建築』であるが之れは六大都市の主な大建築四拾數枚の寫眞を陳列し一面我が國建築界の進歩發達を如實に示し一面居ながらにして各都市の大建築を見ることを得せしめたのであつた。

『大阪』に於けるものは大阪府廳舍、市廳舍を始め大阪大丸、高島屋、三越、山口ビル、野村ビル、大同生命、大阪ビル、堂ビル、中央公會堂、白木屋大阪支店、大阪鐵道局、大軌ビル、新京阪ビル、住友ビル、大阪控訴院を擧げ。『東京』にあつては郵船ビル、銀座ビル、工業俱樂部、東京取引所、三越、三井貸事務所、千代田館、第一相互ビル、帝國大學圖書館、興業銀行歌舞伎座、丸の內ビル、帝國ホテル、帝國劇場八重州ビル、三菱銀行、帝國議事堂（模型）又『京都』に於けるものは京都ホテル、先斗町歌舞練場、京都市廳舍、勸業銀行支店を擧げた。『神戸』は十五銀行支店、神戸商船ビル、明海ビル『模濱』は模濱生糸檢査所を擧げ、『名古屋』は住友ビル、名古屋松阪屋、外に『廣島』の藝備銀行を擧げてある。

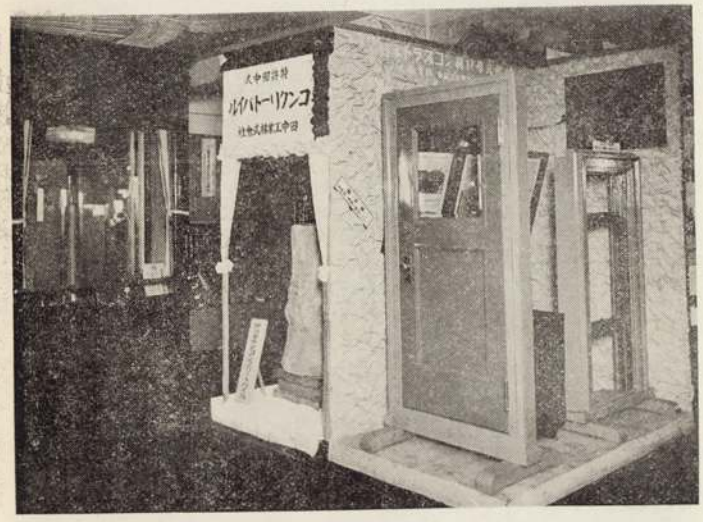
其他兼て建築と社會紙上に於て出品を勸誘した協會員の優秀な努力の作品は陳列せられて注目を與へたのであつた。

以上は展覽會に對する所感の一端と第一室の陳列の概要であるが實際の內容の本質を如實に表現するにはわたくしの拙なき筆の到底及ばざるを遺憾とする殊に多忙のため貧弱な雜感に終り本誌を冒瀆したことは御許しを願ひたい。

（昭和三年九月二十五日）



第三室出品



同上



同上

石造かざり塔

百五十萬圓で改築の

大江橋と淀屋橋

大阪市のメーンストリート廣路御堂筋線（廿四間）を中之島を挾んで北と南へつなぐ大江橋と淀屋橋は今度工費百五十萬圓で改築されることになつたが双方とも兩詰に二本づゝ、都合四本のかざり塔をたてる。頗るこりにこつたもので各塔とも高さ卅尺、構造はすべて本みかげで內部を通り抜けにして橋のバルコニーへ出られるやう涼み臺仕掛にするといふのも名橋にふさはしい特色の一つであらう。工事は高速地下線と前後して明年早々着手の豫定である。

建展第貳室所感

會員　木村寛一

今回の展覽會は吾々建築專門家が見ても勿論大變に參考になつたのであるが主催者の主旨は一般人士により多くの建築智識を普及さす事を目的として居るのであるから此室の如く最も重大なる役目を勤める出品物に就ては今少し詳細なる說明書か或は出來得るなれば說明者を附けて欲しかつた。尤も中には簡單なる說明書を自由に配布せるもの及一、二說明者附のものもあつたが數十種類の內であれだけでは物足らなかつた。次回は出品者各位に於て今一奮發御願致したいものである。

第二室の陳列物の配置に就ては大體に於て結構であるが只感じの大變異なるもの例へば機械的のものと器具的の物を混合して陳列する事は見る人々の頭を迷はす樣にも思はれるから次からは此の點も一考を要する事と思ふ。

茲に出品物個々に就て所感を述べれば先第一に日本エレベーター社の活模形で甚だ巧妙に立派に出來て居て人眼を引いて居て好參考であつたが之等の安全裝置等に就て說明を得る事が出來れば素人の滿足は大なるものがあつたであらう。

島貿易社の防火スクリーンは一見して目的を達する樣巧にそして優美に見せてあつた事は成功であつた。

片側の浴室設備は相當の家庭を持つ主人主婦あたりの注目を引いて居つた波江野式巴式等それ〳〵特徵を表して居り大丸の瓦斯風呂も初めて見た人々が多かつたであらう。

大阪ピトロラド社出品のピトロライドは白色タイルばかり見馴れて居る一般人に其品質氣品を充分に示して居る。西原衛生工業所のパノラマ式の田園住宅は見る人々に衛生工事の印象を深く與へたであらうが折角の實物器具の出品物に對して其作用特徵用法等を一般に說明されたならば其效果は大なるものが有つたであらう、之は大正式SO式に付ても遺憾に思つたのである。

城口研究所の出品は極めて地味ではあつたが一寸經驗のある人々には面白く見られたであらう。

SD商會出品のSM式自然換氣裝置の實物出品物は內部の構造を示してあつたので一般に了解された事と思ふ。

須賀商會出品のビルヂングに於ける給水衛生汚水淨化裝置の模型は一般の不思議を了解さすに充分であり他の各種バルヴ等は專門家の好參考である。

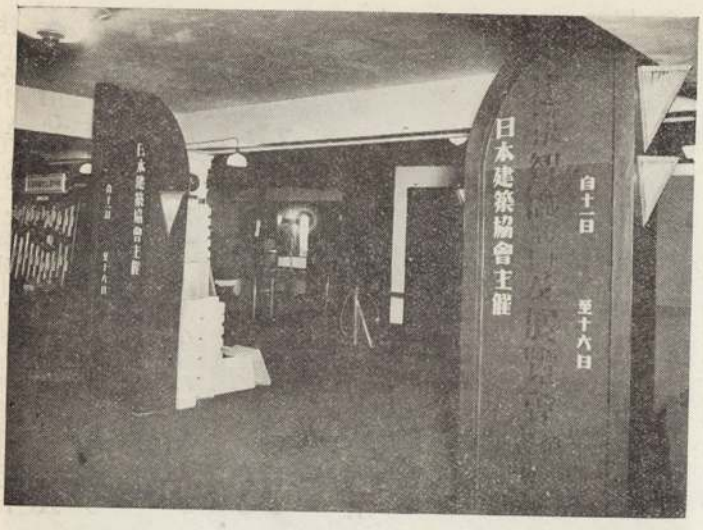
日本水道の實物出品は衛生の感を如實に示せるもの誠に衛生設備掉尾の出品物として結構であつた。

大阪換氣商會の換氣裝置の出品は此種機械を初めて見た人多かる可く興業家專門家の注意を引き鳥津製作所出品自然洗濯機は夫人令孃の目を引て居つた。

紫外光線投入グラスは一見普通グラスと大差無き樣なれども近來の流行兒のため仲々注目を引いた樣である。

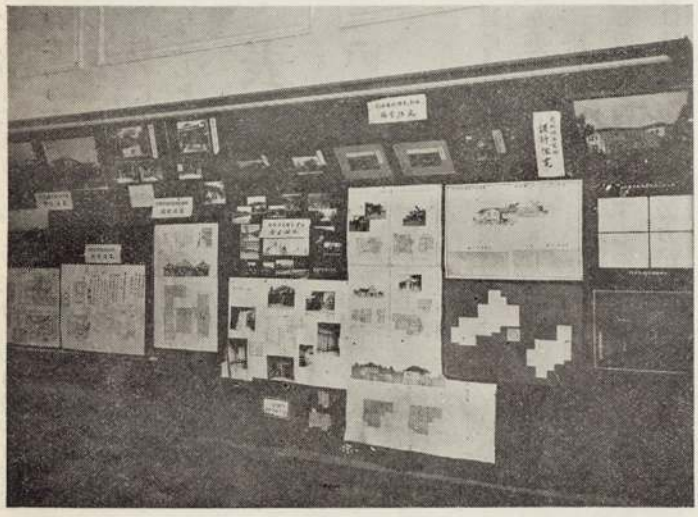
阪本式スカイライトは一般に氣にも掛けない天窓にも種々苦心の存する事を世人に知らしめて結構である。

島田ガラス社のデツキグラス。昭和セード等は現代日本硝子工業の發達を誇り內田商事の電氣時計には好奇の眼で其精巧を稱へる人を多く見受けた。



會場入口

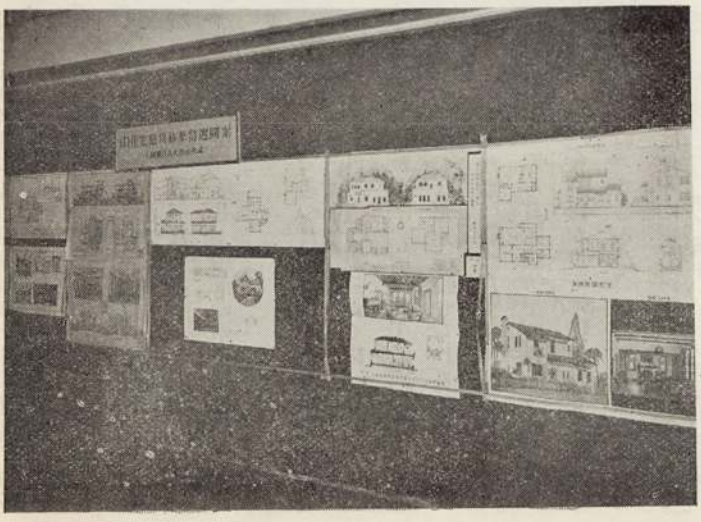
大阪電氣商會は美麗なる照明器具を以て、ミヨシ組工業所は高尚なる照明器具を以て、淺海商會は實用的器具を以て各々其特徴を示し。オキナ商會の各配線工事材料の紹介は專門家にも好參考である。



第四室出品

沖商會の私設交換器及電話機は其老舗振を示し、日本電氣の特種器具即ち電氣ミシン、眞空掃除器、頭髮用器具等は珍しく或種の人々の注目を引いた。

森川組の鑿井ボーリング模型出品は地下工事の權威を表し、東洋工業社のコルク工事實物の出品。大阪コルク工業社のコルク原料及製品の出品(冷藏裝置の知識を與へ、大丸出品の冷藏庫は其白眉を示せるもの、如し。



同上

最後の暖房設備は今後の活用を見越して特に

建展と裏表

會員　中島智喜
藤原成憲書

(一)樂屋のぞ記

今度、日本建築協會で催された第一回の建築展覽會に就いて、私の第一番に思ひ出す事は、今年の春、此の催しの話が出てからこの秋に終了する迄約半歳の間、協會内部でそれが準備中に起つた色々な出來事である。

展覽會主唱者　は誰であつたか私には判然わからない。又それが何時頃から言へ出されたかも記憶にないが、ずつと以前から誰が言ふともなしに言ふてゐた事を思へば、今度の催しは協會員全體の希望であつたものゝ見えるそしてそれが遠に實行されるに立至つた事は一に時代の要求と合致したのかも知れぬ。その證據には意外に澤山の觀覽者と、熱心な見學者とを迎ひ得た事だけでもわかるのである。

然しながら、會員や時代やの『要求』だけではそのまゝ『形』をなすものではない。その裏面には特志家の懸命な努力が献げられてゐる、その努力の結晶が凝り固つてあの盛大な會を形造つたものである。然らばその特志家とは誰か。日本海の大海戰で日本が大勝したのはそれに參加之も詳細の説明がないのでポイラーを見て冷藏庫だらうなど、見物人間で話して居るのを耳にした。

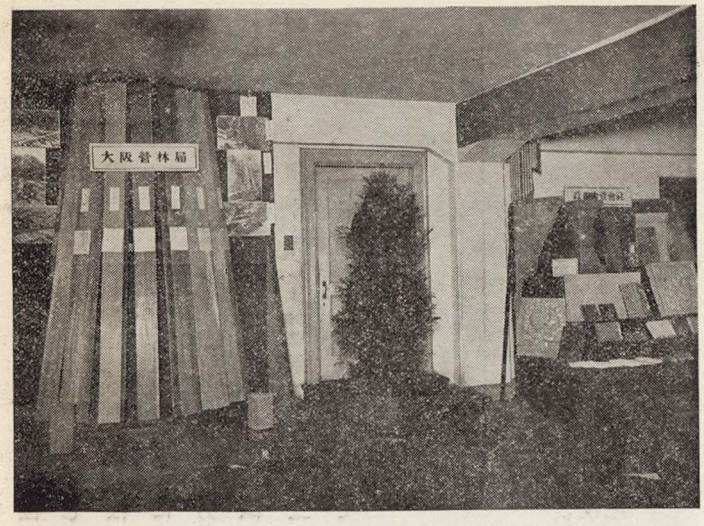
何れにしても此第二室に於て稗益する處多々有りしを信じて疑はぬ次第である。(完)



した將卒全體の功であると云へばそれ迄であるが、一面我等は東鄉大將を忘れてはならぬ。と同時に又『天の時、地の利、人の和』といふ事も思ひ出される。今度の展覽會の功勞者、それは讀者には餘り關係のない事であるから略しますが、私は特に、坪井、岡部の兩氏には感謝したいと思ふ。

展覽會は成功　であつたか。約三十名の展覽會委員が晝の疲をよそに、數ケ月に亘つて骨折られた事は、前後六十餘回の夜の會合があつただけでも充分に察せられるが、若し此の催しが無駄な事に終つたとすれば何等感謝の價値がない。寧ろ日露戰爭で敗けたクロパトキンの樣に軍法會議にかけて牢獄に投ぜねばならぬかも知れぬ。ところが、斯る催の成功不成功を定める事は件々に難しい事で、數學の答案で學生の採點をする樣な譯には行かぬ。ごうしても之は此の催の目的、建築智識の普及、に添ふたか添はなかつた、かう吟味してかゝらねばならぬ。

智識の普及程度の測定、之も同じく困難な事で結局、觀覽者の質と量とで大體を漠然と推定するより外はあるまいと思ふ。ところがその觀覽者の素質と人數の調査は今度の如きデパートメントで開催された會では又測定する事は出來



第四室品出



同上



同上

ない。之では會の成功、不成功は地球の成因を確める以上に厄介な事になるから、斯る唯物者的な考察を止めにして、此の

會場を大丸で

やつた事に就いて、娘持つ親が婚殿を選擇する樣な面白い話がある發起者では最初何でも會場を三越にせんといけぬといふ考で隨分奔走もし、交渉もされた。所が、當時インターナショナル建築社が已に三越で展覽會をやるべく申し込んでゐたので、協會へ對して承知しましたとは言つて來ない。三越にして見れば已にインターナショナルといふ許婚嫁が極つてゐたのである、然し後から申し込んで來た緣談は建築協會といふから先の話よりは家柄がよい、といつて嫁二人は貰らぬ、が又先を斷る譯にも參らず、先を急ぐ媒介人に袖

切らぬ返事を繰り返してゐる間にやつと腹を極めて『同一建築の會』を二つもお引き受け致し兼ねる意味を遠曲に言つて來た。サー協會では虫が納まらぬ、『同じ建築の會とは協會を馬鹿にしてゐると怒つて見たものの未練が殘る。仕方がないから今年はよそでやつて來年は三越に依頼しよう、と相談一決したが、聞之で見れば三越と限らず、總て各デパートメント共一度よそへ片付いた會の出戻りは絶對に貰はれぬことあつた。



斯くの如く、會場を大丸にした事は、『マ、よやけくそ』と『何の三越』といつた樣な妙なイモーションであつた。さて、愈々大阪大丸ときまると先の經緯はすつかり忘れで一心不亂に仕度を調つた。そして大噪ぎの會も終つて靜に考いて見ると大丸が會場であつた事は此の會として

は實に絶好である事が判つた。今日の大丸の入場者は敢て三越に劣つてゐないのみか、前者の夜間營業の爲め一日の入場合計は、後者より遙かに大きいのである。而も入場者は夜間が多いのだから、その内容は各種各階級に亘つてゐて晝間會社商店に勤務してゐる人と、晝通學してゐる男女學生を、心ゆくまで見學させ得た事は實に大丸以外に望めない所であつた。家族同伴の紳士淑女が買物に來て、思ひ設けぬ建展で喜んでゐるもあり、一日の現場作業を終へた職人が、澤山の出品を熱心に調べてゐるもあり、學生がノートしてゐるもある。若し之が商品陳列所や市民博物館邊で催されたとすると大變であつた。之を思ふと、此の度の催しは已に『地の利』を得た點で大成功であつたのである。

出品人の勸誘　は此の會の第一重要問題であつた　會場は無料貸與、新聞廣告や陳列及取片付け手傳は、大丸がやつて呉れたにせよ繪畫、圖書、模型の製作、蒐集、運搬及配列等協會自身の出品は仲々數多い事である。又各委員の準備、相談、會合等に要する費用も相當に嵩むは當然である。之に要する費用全部を協會で負擔する事は迚も望めない。乃ち出品料を徴集する事によつて豫算を立てたのである。所が民間會社商店で常に多大の苦心をして追つ拂ひに努めてゐる事は新聞雜誌の廣告取りと各種展覽會の出品勸誘とである。その追拂ひに色々な名案が案出されてゐる事を私は時々聞くが、斯くも嫌はれてゐる勸誘を、此の不景氣時代にする事は、最も困難な事でなければならぬ。此の難事を協會委員が如何にして切り抜けたかを考いて見る事も亦面白い事である。



事實、左程困難を感ぜずに濟んでゐる樣であるが、それには大きな理由がある。第一に出品は『建築』といふ比較的小さな範圍である爲め、建築協會又は同會員と因緣が甚だ近い事にある工業會が工業展覽會をやつたり、府縣が共進會をやるのとは大分趣きを異にしてゐる。第二には此の點を考いて委員が選任された事である。今度の出品者の九十九パーセントは協會の關係者と委員直接の依頼によつて否應なしのもので

あつたと思ふ。個人關係を利用して**無理に強ひる**事は德義上甚だ惡い事であるが、斯種の公益的又は社會奉仕的の事業としては、多少強いなかつたら、成立する場合は殆どあるまいと思ふ。出品勸誘狀として送られた一枚の印刷物を見て『海に社會の爲である』として、出品申込が殺到する時代は、石川五右衛門ではないが『濱の眞砂が盡きるとも』世に泥棒が無くならぬ限り、未來永劫に來るものではない。私は敢へて強いた事に對して辯明するのではない。強いられた傾きがあつたかも知れないが、然し寧ろ半ばは自ら進んで會の趣旨に贊成して應ぜられた方が多かつたと思ふのである。されば乙間口一間、而も一週間の出品に四十圓もの金を提供する人で忽ち會場を諸し



第五室　出品



同上



同上

又五日會では數千圓の金を投じて錦上花を添へられたのである。要するに、會を催す人も出品する人も、關係者も又大丸でも、渾然として相和した爲めに、資料は網羅されて而も勘定が足りた。建築智識普及展覽會は實に『人の和』で成功したものである。

宣傳部の活躍　出品者の多くは、意外に多數の型錄の要求はあつたと言つて居られるが、之は此の會の効果を最も力強く說明するものと思ふ。型錄や說明書の希望のみならず、それによつて注文を受けたものも多數にあると聞えて、私は、建築協會から補助金なしで展覽會は展覽會自身の收入で收支償つた事を同時に、嬉しくて堪まらぬのである。

宣傳部に就いては、始め我々は非常な期待を持つてゐた、そして活動寫眞位も映寫されるであろう、初秋の涼風を浴び乍ら屋上で世界の建築物を見たり、古の伽籃を偲んだり、新建築の科學的進歩のキビ〳〵しさに觸れたりする事は、來觀者に非常な趣味と實益とを與へるものである。が此の活動寫眞は行はれなかつた。私はその理由を知らなかつたのみならず、宣傳部はその方面で如何に奮闘されてゐたかも知らない。然し委員の顔ぶれを見て迚ても活動された事だけは信じてゐる。只、その活動が形に表れたものでポスターがある、そのポスターは大分當時問題になつてゐたのは殘念であつた。曾に半裸體が警察問題になつたとか繪と文字とが釣り合はぬとかでなく、街路に貼り出されても道行く人の注意を喚起しない程、アツサリし過ぎた事と、會場が『大阪』大丸としてなかつたのはいかぬといふ批難である。之も私には全部肯定出來ないが、大丸の方でも『もつと宣傳して頂けると思つてゐました』と言はれたその言葉は、私はよく了解出來ぬながら、或は當つてゐるのではないかと思はれる。けれども之は、會そのものが已に地と時と人との三利を得てゐた以上、大じた落度ではないと思ふものである。



(二)大阪大丸にて

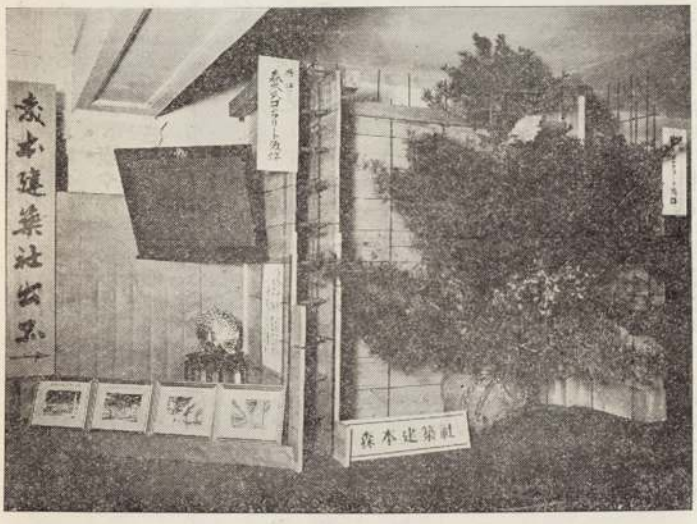
建築展覽會の主體、展覽會場に就いて、その**會場が五六階**に跨つて各階共その約半分を占領してゐるのであるから、展覽會場から大丸のデパート又は食堂へ出入りは自由であつた。むつかしい技術の陳列、冷やかな物質の陳列である此の展覽會を、肩も凝らさずに見れる柔い感じのものにして仕舞つたのは大丸そのもののプランのお蔭である。四階から階段で五階へ上つて來た人は『世界建築の丈較べ』の壯大さに魅せられて『建築智識普及展覽會々場』に引き込まれたに違ひない。食堂へ腹を肥しに來た人で『モダーン中流住宅』の實物に足を引かれて暫し空腹をも忘れた者は少くはないであろう。そして一度ぢちらかの會場に踏み込めば次々と湧き出す。『建築智識』慾に浮かされて又次の會場を見るであろう。元來人間は『食ふ』といふ事には本能が最も強く働くものであるが、食ふた次は寒暑を凌ぐ『衣』を求める。衣食が足りる樣になると次には美衣美食を求めるものである。然し之等は動物的本能を一寸離れた位のプラニング及裝飾がどうであつたか、各出品は建築資料として何れ程の價値あるものであるかと陳列の方法技巧及出品の批判を試みて見たいのであるが、之は淺學な私には潛越な儀と思ひまして私は只會場を巡覽してゐる間に受けた印象を輕く述べて見るだけに致します。

程度の人であるが、一歩進んで精神生活を自得した人、審美的情操の發達した人は趣味を嗜み自然を愛するものである。それ以上に進めば道德的情操、宗教的情操となるのであるが、兎に角ここまで來た人は必ず『住居』に對して可なり



第五室出品

強い憧れを持つてゐる、その憧れは建築に對する鑑識となり智識慾となるのであるから恐らく大丸に來る位の人は建展を見たい素心があるに極まつてゐる。只時間に追はれる非文化生活の濁流に押されて、見たいのも見ずに出て仕舞ふ



同上

までである。斯種の人を敎化するには、瞞してでも引張り込む策を講ずる必要があるかも知れぬ。結局、よい會場であつた。

素人と玄人とは同じ展覽會を見ても着目する所は自ら異つてゐる。會期中、私は



同上

建築に從事してゐない人を五六人案内した事がある。その何れの場合にも私は成るべく相手に說明がましく世話しないで、先方が如何なる出品を喜ぶかを見ようとしたが、先方が私に對する依賴心の爲めか、會場が見物人で雜沓してゐる爲めか、或は狹い所へウンと詰め込んで並べた爲めか、私が注意するまゝ氣が附かず、私がその人として大事だと思ふ事でも默過しようとする場合が甚だ多かつた。之は陳列する人の最も考慮すべき事柄である。細い文字の表、鉛筆書きの淡彩色の說明圖、下手な走り書きの說明書、無闇矢鱈に並べ立てた陳列等は見る人をして疲れしめるだけで何の廣告にも參考にもならぬ。

第一室の西洋建築の發達史圖解は建築のスタイルに就いて多少でも素地を持つてゐる人は立ち留つて、ギリシヤのパルテノンからメンデルゾーンの觀測塔までを一通見て會心して行く。然るにそれよりも遙かによいスペースを占めてゐる日本建築の發達史は、味な內容を多分に持ちながら左程の感興を引かなかつたではないか此の意味に於て建築法規の圖解は全然失敗である事が何より殘念であつた。

SO便所とSMウエンチレーターは同一出品人であるがその說明書は讀み難い亂暴なもので あつた。然し其邊の陳列は片側は窓であつた爲め見る人の心持ちは落ち付いてゐたので、好かれぬ筈のバヽ壺や淨過槽が人氣を呼んだのは面白い。須賀さん城口さん西原さん共、型錄の要求と衛生工事の注文が意外の所から澤山來た相であります。

暖房と冷藏と

の出品は第二室に澤山あつたが、ざなたも陳列法には困難された樣である。品物の性質上當然な事がも知れぬが外に工夫もあると思ふ。同じ純技術的のものでも內田商事では新舊煖風機を圖解し、島田硝子では電球及笠の散光狀態をダイヤグラムで說明されたのはよかつた。但し双方共圖解不充分で素人にも玄人にも撤底しなかつたであろう。何れにしても技術的でも特に機械工業的なものは素人受けのしにくいものである。



島津製作所のウァイタ硝子、此の硝子は紫外線を透すが從來の硝子は之を透さない所に此の硝子の生命があり、存在の意義があるのであるにかゝわらず、紫外線の必要を說いて兩種硝子の紫外線透過率の比較を示さなかつたのは龍を描いて眼を點じなかつたものである。返すゝゝも殘念であつた。大阪ピトロライトが大型のピトロライトを折角運んで之を壁地に使用した實物見本を造りながら、見物の注意を喚ぶ何物もない爲めに、人はピトロライトの風呂を印象されただけであつたのも之と同樣である。

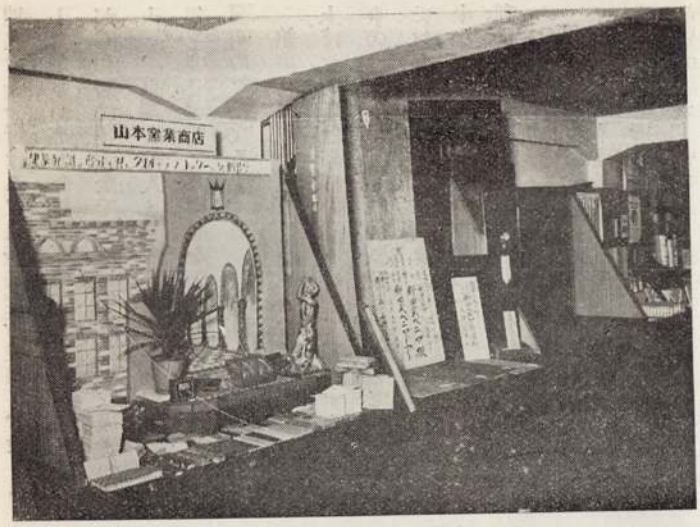
狹所に盛澤山

な建築材料部の陳列は住宅實物見本のお蔭で見る人の飽きを大分に防ぐ事が出來たと思ふ。材料部でも平常取引金高の額の小さいものは大きいものよりも人事に關係が深いと見えて、展覽會でも、日本ペントや東洋リノリユームの前に停む人は餘りないがタイルや金物を並べる手にさつて見る人が多い。ラバロイド商會は防水層の槽に水を入れて金魚を浮かしてゐたし、スタンレーウオークスは二尺位の蝶番を掲げ、田中式コンクリートベイルと森川組は漫畫を入れ、三井物產は赤の大きな矢おもてに『小野田セメン』を浮し、工材社は白の背景に黑いアスファルトブロック二三を置いてゐた。之等は何れも無味乾燥な出品を、無理にでも來觀者に印象させようと苦心したものであろう。大阪電氣が電燈二三ぶら下げて下

に何物も置かず急製の杉板に營業項目だけ書いた札を出したのは思案に餘つてか、裝飾の一大妙案か。

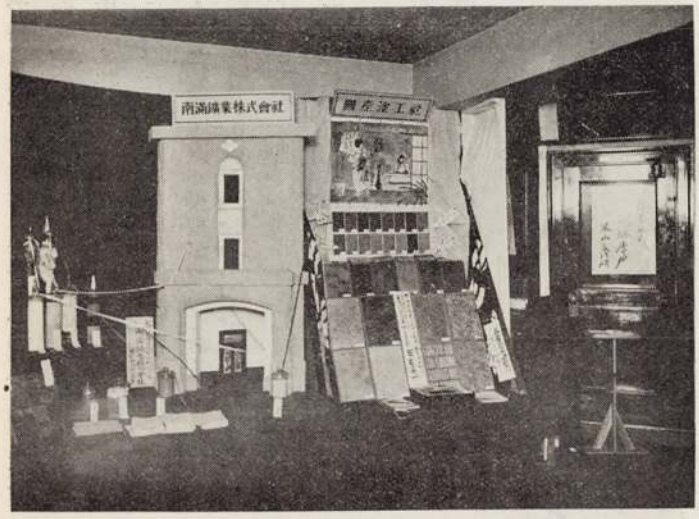
舶來品と和製

品は今度の展覽でも兩立して並べられてゐる。衛生器具、電氣電話



第五室出品

電鈴、暖房換氣、照明器具、建具建具金物、木材鐵材や床壁の仕上材料にも隨分と舶來品が使用されてゐるが、私は之等の外國品より優秀な內國品が製造されん事を、產業立國々力增進の上から切望するものであるが、此の點から今度



同上

の出品を見るに過去數年間に和製品が非常に進歩した事を喜ぶサッシュシヤッター、鐵扉、テラカタの如きは最近までは舶來に限られてゐたものだが今日の出來工具は決して彼に劣るものではない。衛生、暖房、電氣等の器具も今日內



同上

地品で大分行ける、只新考案新發明と、ボイラー、金庫扉等の金屬を原料とするものは殘念ながら和製は不完全である。然し之も取扱者の工夫と、良鋼の輸入と、多量生産とを相俟ては多年を要せずして外國品を驅逐し得る譯である。發明の奬勵なる哉。

船來品問題で私は世の技術者と商人とに申し上げたい事は今日尙滔々として船來する所以のものは日本の製品は粗惡又は拂底してゐるからではない事を考へて頂きたい事である。極く僅少な部分を除いた他の大部分は、商人が自身の利益の爲めに日本を忘れて、外國注文をする事と、技術者は必要以上な品物を使用する不經濟の心から外國品を指定する事によつて、輸入されるものである。私は日本建築材界の今日から見て、オーチスも、ダールストロムも、バラフィンも、アトランテイツクも、スタンダードも最早や必要はないと思ふ。更にヨークやモスラーも、メリケンラヂエーターも、エールサーゼントもトラバーチンもなしで充分進み得る事を信ずるのである。

參考室の人氣

は私には意想外であつた。と申すのは場所が偏僻で圖や繪は極めてまづかつたからだ。所が大丸の『參考品』と書いた矢一本で人はぞろ〳〵入つて大變な人だかりで特に之をノートする者が多かつた。藤原博士の住宅の『選擇十ケ條』は氏の著書『居住の衛生』と共に實に世を益する事であろう。參考室に似寄たつもので第五室隣して第一室の分室があつた建築圖案と模型が並べてある。眞白な石膏の模型よりも、安井氏の高麗橋野村ビルは喜ばれてゐた。池村氏の出品は工場の模型であつた爲めに玄人筋に珍らしがられてゐた。

此の室にも第五室にも建築の、主に住宅の、設計圖がベタ〳〵貼り付けられてあつたが、美術展覽會のそれに比較するとジミで固苦しくて見難いものだ。事實プランを見てこれは入口これは居間と圖面を辿つてゐるのであるから之は純玄人だけの見物であつた。

設計圖だけではない、出品の全體はコンクリートの樣な色も味も少いかたまりであつた。之を軟く碎いて温めて十餘萬の觀覽者に食べさしたのは、大丸さんの絶大な好意と、委員の燃ゆる樣な熱心と、出品者の心からの同情とであつた。大成功で第一回の幕を下した後で之等の人達に厚く感謝の意を捧げて筆を措く。

建展見たまゝ

會員 本間乙彦

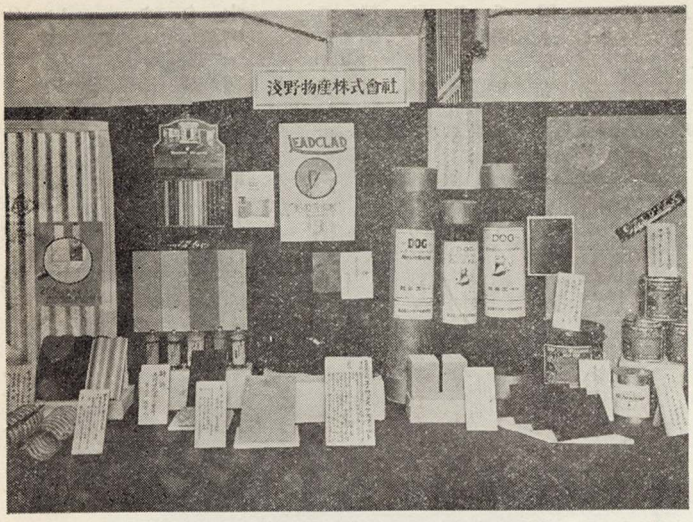
第四室

出品物が住宅と庭園、何んといつても今度の展覽會中で最も華やかな、そして人足を止める魅力を持つたセクションである。

先づ建築業協會關西支部五日會會員諸氏の共同出品である實物住宅模型から見やう。第一に此短期間の展覽會にはおしい位の見事な出來榮えで五日會々員諸氏の努力に滿腔の感謝の意を表さねばなるまい。

臺所、浴室、化粧室、便所の一グループと、子供室、寢室、食堂、應接室兼書齋の別のグループになつて、前者は各室の連絡をそのまゝに組み立てられてゐる。何れも漆喰塗の代りに厚板紙を利用した以外は、名の示す如く實物通りに工作されてある。此種の陳列が大衆に對して建築知識普及に如何に効果があるかは、熱心に家具設備の配置をノートしてゐる若い婦人、お

伴れ三一つ一つに足を止めて批評を交はしてゐる青年紳士唯々感心してゐるだけのおかみさん達等々の姿に痛切に見られるのであつて今度の展覽會にもモツト澤山この種の陳列が欲しかつた。若し、強いて難をいへば、これを中流住宅の模型と見てもつともつと簡單な廉價な既成品の組合せで出來るやうなプロ向きの住宅模型を出品したら一層の効果があつたであらうと考へられる。も一つは、說明の方法にあまり考慮が用ひられてゐなかつたことで、慣例通りの商品名と出品名を羅列した札を立てただけであつたのは少し不親切ではなかつたかと思はれる。別に室の平面圖、斷面圖等を示して、各部分の用途や名稱効用を記入して示すことなども適切な方法であらう。然しこれ等の小さな問題が、こ



第五室　出品



同上



第二室　出品

の美事な出品物の價値を損するものではない。いはばアラ探しで、記者根性だとお叱りなく。

臺所　床リノリユウム張（東洋リノリユウム）流しの前だけはタイル張り、腰タイル張り、冷藏庫水切台を組合せた流し台、前戸棚、水槽、調理台、壁取付けの蠅入らず、ガスレーンジ、煮物台等々が、壁に沿ふて手際よく配置され中央には盛台が据へられてゐる。（大丸）、排氣には特に意を用ひて、ストーヴの上、流の上には大きく鐵鋼張りの排氣孔が設けられてゐる。又照明も、中央灯の外何の部分の仕事にも手暗がりにならぬやう、廻轉式腕金のランプを用ふる等細心の注意が拂らはれてゐるのは嬉しい（三藤電氣工場）清々しい台所である。新婚の御夫婦がこの前を動かうとしないのも無理のないことである。

浴室　腰四尺五寸通り乾釉薬タイル、隅々には四面タイルを用ひて掃除に便にしてある（山本窯業商店）給水管、シャワー（須賀商會）電燈（島田硝子製造所）等も適當の位置を占め、一寸した思ひ付きではあるが浴槽の腰掛の壁にエツチを作つて三段の棚を釣り石鹸や入浴用の小物入れとされたのは甚だ氣が利いたものである浴槽及風呂釜は定評ある内藤製作所製である。天井は舟底型で充分に換氣法が講ぜられてゐる

化粧室　木部がオイルステン仕上げ、壁ウグヒス色砂壁、一尺五寸程の奥行に地袋付の銅張りの洗面所、その横が亂れ籠の置場、床はコルク敷（大阪コルク合資會社）天井は組天井（日本木材工藝株式會社）で棹縁はオイルステン……總ての好みが清洒な日本好みである。和風の鏡台に澁い格子模様のバスマット（大丸）湯上りの赤い手柄の若奥様を是非配したい所である。

便所　床は白タイル、腰は釉薬小口タイル張（山業窯業商會）便器は角型水洗便器（須賀商會）電灯器具は兩面用バルベツト（島田硝子製造所）で天井には大きな鐵鋼張の排氣孔が用意されてゐる。

子供室　窓の側を出窓風にして二人分の机と書棚が造り付けにされて自由電燈がお勉強の時間を待ち顔である（大阪電氣商會）洋服タンスと遊び道具入れ、玩具のやうにあごけない姿の金皮張りの椅子とテーブル（大丸）床は、之れに調子を合せて、張紙細工式の色とりくのリノリユウム（東洋リノリユウム株式會社）それに、この可愛い室の御主人、銘仙絣りの嬢ちやんと半ズボンの坊ちやん、その無二のペツトであるおほきお目めの棚のキユーピー、羨らやましそうに見てゐる小供が澤山あることである。（附記―嬢ちやんの銘仙のおべゝは誰れかに買約されたそうである。この室だつたから良く見へたのではないかしら）

小供室として特に注意が拂はれた點は、亂雜になり勝ちな玩具や本の整理に、成るべく多の棚や抽出しをこつたことであるらしい。

寢室　近代フランス式

單純な線で、重みのある家具、すべて木地色に仕上げられてゐる。寢臺、手元臺、書机ロツキングチアー（大丸）

窓を區切つて洗面臺、その正面の硝子障子の中央に、鏡を扉にした、メデシン・キヤビネツトが嵌め込まれてある、その隣りが洋服戸棚、見事な大型スタンド、手元臺のスタンドのルビー色のシエードがカーテンに美しく映へる。（みよし組電氣工業所）床はオイルステン仕上げ、煖房はホーラー石油ストーブ（大東貿易商會）この室の家具セツトは、スタンドをくるめて、約定になつたそうである。

食堂　これも近代味のある、しかも澁いデザインである。無駄のない手法（例へば造りは飾り棚の戸を厚板硝子にしたのも單純で面白く感せられた）ボーダーや家具の美しい暗褐色の塗色と素地まゝの杉柾の腰羽目とに見る氣持のよい調和、正面の壁には造り付けの飾り棚が設けられ電氣ストーヴが嵌め込まれておる。（小

林電業所）サイドボード、食卓、椅子等々（大丸）長押には陶器の飾皿兩三枚、オイルステン仕上けの楢のフラワリングブロックに（伊丹商店）面白い色調の元祿織の敷物、コバルトグリーンのシエードに覆はれた電燈の軟かな光り、こゝで棚の洋酒で陶然とやつたら……と思つたのは記者許りではありません、コレはカツフエーかと、皮肉つてゐる見物人があつた事程左樣に豊富に洋酒が飾られてゐたからです。

應接室兼書齋　應接の一部に出張りを作り脊中合せの長椅子と書棚に區切つて書齋がしつらへてある。應接室の中心をなしておるのは長手タイルに緣取られた、コルク塗裝の電氣ストーブ用のマントルピースと其上部にある壁掛けである。その左手にはニッチを作つて花瓶の好位置を作つてある。全部が落ち付いたしかも明るい感じ、色とり〴〵の盛花と、その花を壓倒する程の令嬢二人を配し研爛なる雰圍氣を生み出しておる。

立棒縞布張の椅子と丸卓子のセット（大丸）ふさはしい電灯器具（淺見商店）

書齋はこの派手やかな室のアルコーブとして存在しながら別天地のやうな落ち付きを見せておる。こゝがデザイナーの腕であらう。厚い板をそのまゝ見せた家具、獨佛あたりに影響された新傾向と見られやう。

庭　園（橋本庭園工務所出品）

屋内のしかも天井の割合に低いこの場合に、見事に廣々とした庭の一隅を現出させた腕は敬服の外ない。材料のこしらへに一週間を要し、出品費二千數百圓？を要したこの橋本君の御話しも成程さうなづかれる。日本風の造庭にはつきもの、疊み石を小口に積んで出來た、壁泉、噴水のさゝめき、杉の樹立、下芝を區切る石疊の散歩道、動かせない位置を占めた、新型の石灯籠、龍舌蘭を入れた花鉢、實にこの展覽會内のオアシスである。

中流住宅懸賞募集當選圖案　（大阪鐵道株式會社）展覽會直前に協會の手で審査したそれで本誌の別項に當時の審査員の講評があるからこゝでは一々に付いては記述を避ける次第であるが、記者の持前の一言だけ……

審査員の方針が平面に重きをおかれた故か、入選した圖案の外觀がコンクリート造の一枚をのぞいて大同小異の感があつて、かうして列べて見たところ甚だ淋しいのは遺憾である。外觀の問題も敢て奇を好むといふのではないが、材料と構造と機能に則した新し味のあるものが欲しい。勿論今度の應募作中にこんな條件に適した作が無かつたのであらうが、私は期待しておつたので、一寸失望せざるを得なかつた。然し何れも努力の優秀作であることに異論はない。

庭園設計圖案及寫眞　椎原氏と橋本庭園工務所の出品で、世人から割合に認められないで、お出入りの植木屋か、或は主人の我流で形付けられ勝ちである庭園に專門家が如何に眞摯な努力が費やされるか、公衆はよい教へを受けた事であらう。これも説明が不足であつた故か圖面が綿密すぎたせいか、素通りする人の多かつたのは如何にも殘念であつた。住宅の一部として重要な役割をもつた庭園を公衆に知らしめる必要が大にあらう。

舊芝離宮庭園　（椎原氏）水彩寫畫烏瞰圖で減多に見られない全景が一石一樹の布置まで手に取るやうに現はされておる。又と得難き珍品であり、庭園研究家の見逃すことの出來ない貴重なる資料であらう。

住宅設計圖及寫眞　（大林組、關西土地株式會社、大阪住宅經營株式會社、阪神急行電鐵株式會社、大阪北港株式會社）大林組をのぞけば皆住宅經營會社のもので、それぞれにその社の特徴が現はれてゐて面白い、第四室はこの位にして第一室の別室の協會作品を一巡して見よう

協會員作品室

會員の作品は、準備の行き違ひと、蒐集の手遲れとで甚だ貧弱なものになりはしないかと危ながられたのであつたが、蓋を開けて見たらそんなでもなかつた。これからは時々この種の展覽會を遣つてもらひたいものである。娑婆の風にあたらずに抽出の底に埋もれる悲しい運命をもつた作――しかも作者にとつては衆愚に容れられなかつただけで絶對のものであり、この上ない愛着を禁じ得ないといつた風のもの、或は完成した建物でもそのために積まれた深い研究の結果である、態々の設計案學術的の研究、作者の創意を成型したもの等々を陳列してゆつくり味ふ機會があれば世間に建築家の苦心を知らしめ、會員相互も益するところ多大であると信ずる。

庭園に關しては、松井氏の學校園と椎原氏の小面積に應用されそうな洋式庭園

模型では、生野氏の三間社明神造稻荷社と、大倉土木出品の眞葛ヶ原の祇園閣、共に日本建築で二方は木造、一方はコンクリート、何れも模型そのものだけでも充分價値のあるものである

安川氏の家具圖案、いつもながら家具裝飾家の丹念さには感服させられる。

大林組の某美術店(設計圖)と、東京劇場(模型及設計圖)一つは寶玉のやうに、愛玩すべく一つは堂々たる外貌に威壓を感ずる程の大建築兩極端を見せた所が面白い。

中村義雄君の羅壽夢山莊、建築家の豐かな幻想に生まれて、それがそのまゝ實現したのであるから面白い。

中村勇君のコンポジション、絶對建築とも見るべきであらう。若い建築家に代つて一人で氣をはいてゐる感がある。

池村君の人造絹糸某工場、不幸實現を見なかつたものだそうであるが、こんな工場をざしざし實現させて、頑迷な資本家の頭を改善させてやりたいものである。

安井氏、大阪高麗橋ビルディング模型、氏の作に一新時代を劃したものと見られる高麗橋ビル、自動車や電車におびやかされて、凝視をゆるされない高麗橋ビル、かうして模型で好みの位置から靜かに觀賞の出來るのは嬉しい。

竹中工務店、お染馴の東京朝日新聞社と、福壽生命保險會社の模型、單色で彫塑を見るのと同じ氣持で相對することが出來るので、又別の興味を惹く。

大阪鐵道の藤井寺經營地及野球場等

見終りて

一巡後の印象は、いさゝか新鮮味を欠いでおるとはいへるかも知れないが堅實味を持つておる。これは、既に完成された作品の模型設計圖寫眞が多く、ざこの展覽會でも陳列作品の大部分を占める假定的な名題のもとに作者の豐かな幻想と創意になつた作品が少なかつた故であらう。

今一つは、このセクションに限らず全般に通じての話であるが、今回の建築智識普及といふ大目的から見て、大衆に最も密接の關係ある小建築――小住宅、商店建築、大建築であるが性質が小住宅の集合であるアパートメント等に關する出品に乏しかつたことで、其の殆ど全部が一般人には爪もたたない大建築の共進會贅澤品の見本市といつた形で、折角の實物住宅模型も中流以上向きといつた贅澤を示した傾きで切りつめた會計のサラリーマンが一寸、宅の臺所をあんなに改良して見たいといつた事には可なり縁遠いものである。今回はセクションが多く包含範圍が廣かつたので、これ以上注文するのは無理と思ふが、これをキツカケに次回からはプロ向き住居の展覽會とか、上流好み建築趣味展とか、防火建築展、鐵筋展といつた一題目について深みのあるものが望ましいといふのは記者のみではなからう。然し、なんといつても協會初めての催しとしては大成功の讃辭をおしむものではない。



大阪鐵道株式會社 住宅懸賞募集圖案審査概評

審査委員長 日高胖

今回の應募は總數百二十三通の多きに達し應募期間短時日なりし割合に好成績を示したるは會社側に於ても其審査を囑せられし審査委員側に於ても大に滿足ゝしたる所なり。

圖案審査の方針は委員長の發議に依り先第一に間取即平面計畫の優劣に重きを置き次に外觀其他長短を見る事に委員會滿場一致の決議をさせり。

審査會は前後三回之を開催せり。

第一回は總圖案を委員一同にて巡次回覽し其優良なるものをはぶき六十三通を取るこゝとしたり。

第二回には更に前同樣の見方にて之を『セレクト』して三十三通を取ることゝしたり。

第三回には更に精選して當選に近きもの十二通を選び茲に改めて各委員採點をなす事に決し各通毎に各委員一々精査し各自之に採點をなし其結果左記の諸君當選者ゝ決定せり。

第一等　京都府下深草町飯食町八三一ノ二　首藤利子君

第二等　大阪府箕面村字平尾松原通四五　大原芳雄君

第三等一席　東京市外松並町阿佐ヶ谷八七六　杉原啓一郎君

第三等二席　大阪市北區國分寺町三八　遠藤利夫君

第三等三席　東京市赤坂區青山南町六ノ三三　阿部庄吉君

審査委員 小笠原鈅

應募諸君の熱心ゝ御努力は圖面の上に十分に現はれて居るが今回のは大體に御若き方ぞちらかゝ云ふゝ學校を出られて未だ經驗の少き方の應募が比較的多い樣に思ひました。

外觀は大體皆々努力せられ一般的によき物多き樣に思はれましたが平面計畫はマダ〳〵ゝ思はれるのが大部分の樣に思はれました。

特に自分の考ゝしてはかるゝ小住宅に對して階段用『ホー



ル』の面積多過ぎる事と階段の付け方が兎角玄關の正面より昇降する樣な取り方で一寸感心しかねました裏階段のなき小住宅としては餘り玄關の正面より家人の昇降を要する如き階段はさけたきものと思ひます。

一般の計畫がどうも洋室の多きに失する如き傾向が見へましたかゝる小住宅としては矢張り日本室の多き方が住居者には便利にあらざるかと思ひます。

併し當選圖案は至極無難のもの計りの積りでありますが、其内のアル案は玄關入りに庇の『ホシィ』ものや又アル案には階段の躍場が一寸變なのや又或ものは客室が光線が餘り十分過ぎて室内に幾分落付のなき感じのするものや等がある樣に私は思ひました。又選に入らないものの内でも寧ろ當選者の或る者よりは却てよい樣な氣分のするものもありましたが之は皆各自の理想と其採點の結果とに依り極めて微細なる比較研究は到底不可能な事ですから何とも致方なき事に思ひます妄評御免下さい。

審査委員　松本儀八

應募圖案を全體的に通覽して其眞摯なる努力には多大の敬意を表し度いと思ひます。

左に其感想の一端を述べて見たいのであります。

一、應募圖案の大多數が共通的にエレベーションにあまり捉はれ過ぎ家として最も大事なるプランに無理が多かつた事

一、窓の太さや其位置(採光通風)などを比較的閑却された案が割合に多かつた事。

一、廊下や階段の取扱ひに洗練された案が少かつた事。

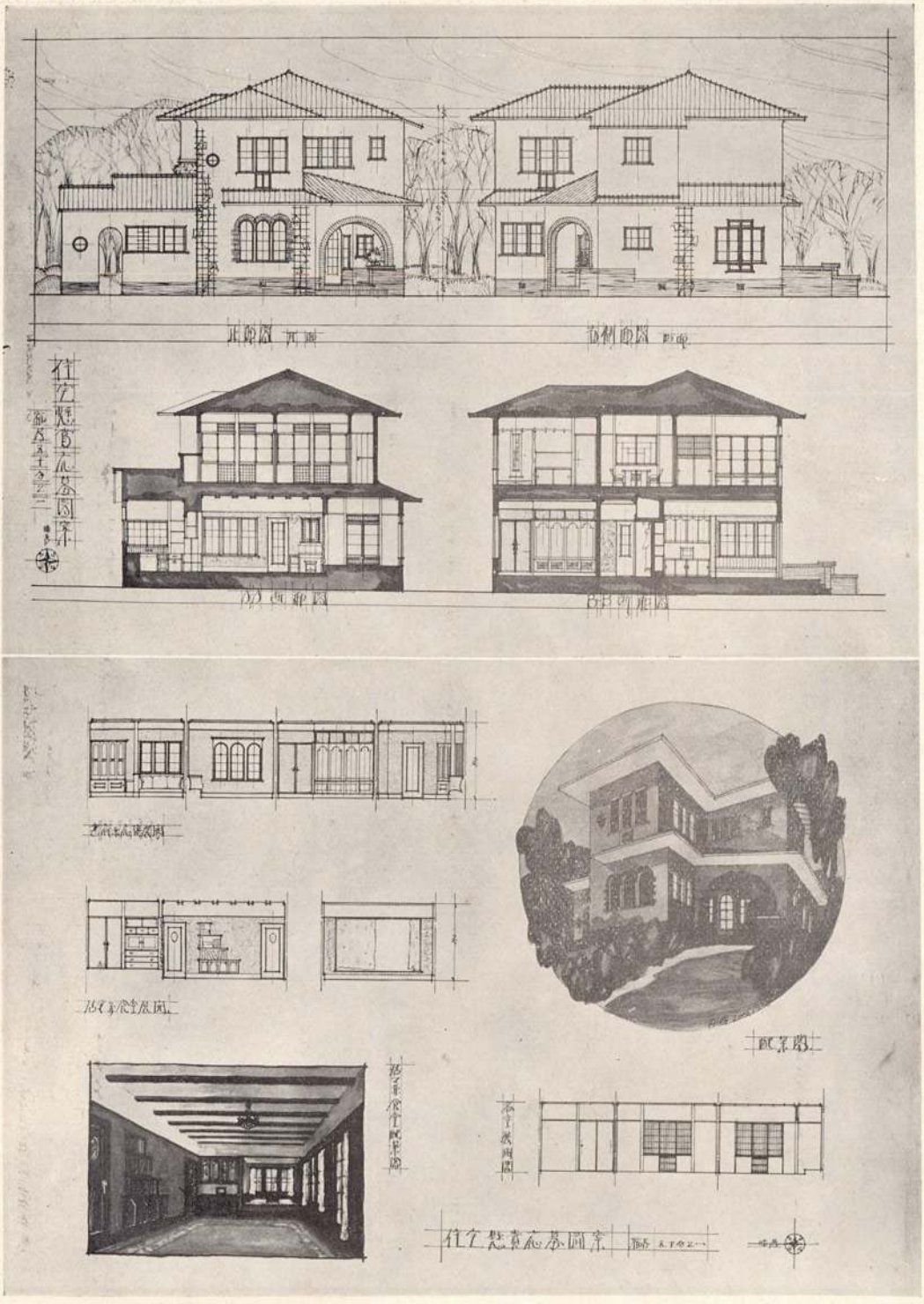
一、便所の位置や家の廣さと臺所の廣さなどの關係を等閑にされた案が多かつた事。

一、坪數の割合に接客に對する室の面積を取過ぎた案が多かつた事。

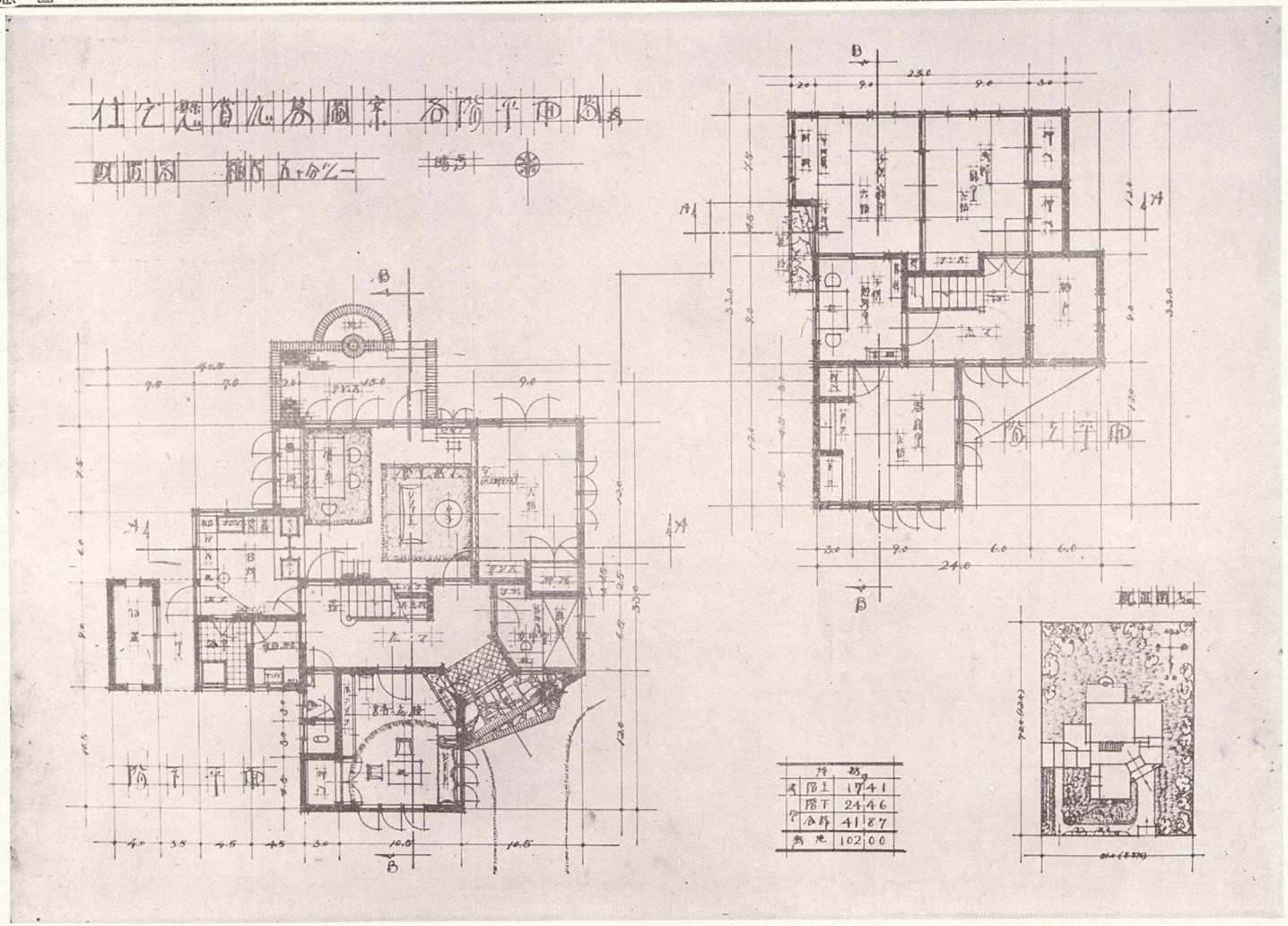
以上は應募總數百二十三通に付て之をみるに殆んど其三分の二即ち八十通に近い位共通に現はれて居る傾向であつた。

然し米印一等當選案の如きはポーチ、玄關廻りを多少批難する人が或はあるかと思ふが、プランも無理がなく採光通風共に相當の考慮を拂はれエレベーションも普通住宅としての無難の案と思つた。彦印二等當選にしても一、二階共にプランも纏つて實際的に建てんとする場合に左程に無理がない案だと思ふ。

其他河案三等當選案の如きプラン頗る大膽にして然かもシンプル化された所など敬服に値する所があつた。尙落選の作品中に多少構造上に無理があつたがプランやエレベーションに創意的の案を散見したのは愉快に思つたが選數に制限せられて當選圈内に入らなかつた事を誠に氣の毒に感じた。(妄評多謝)



大 鐵・住宅設計懸賞應募圖案（其の一）　　第一等當選者 首藤利子君

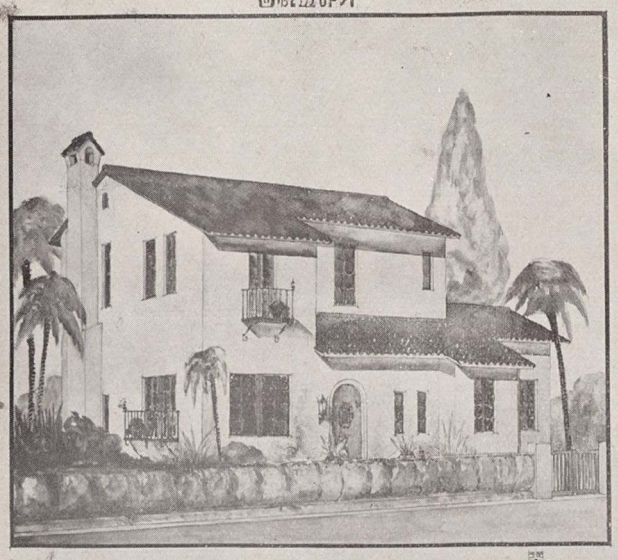


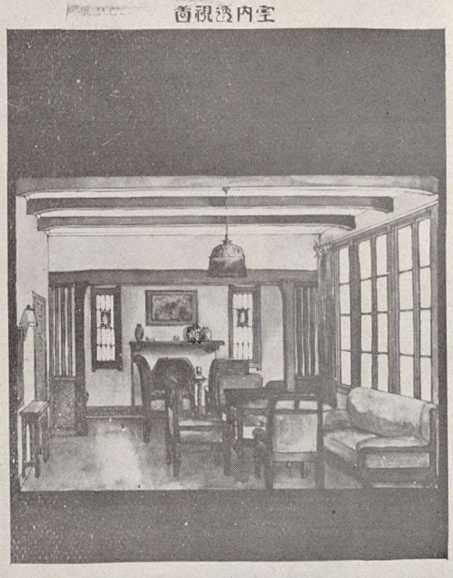
坪数	
階上	17.41
階下	24.46
合計	41.87
敷地	102.00

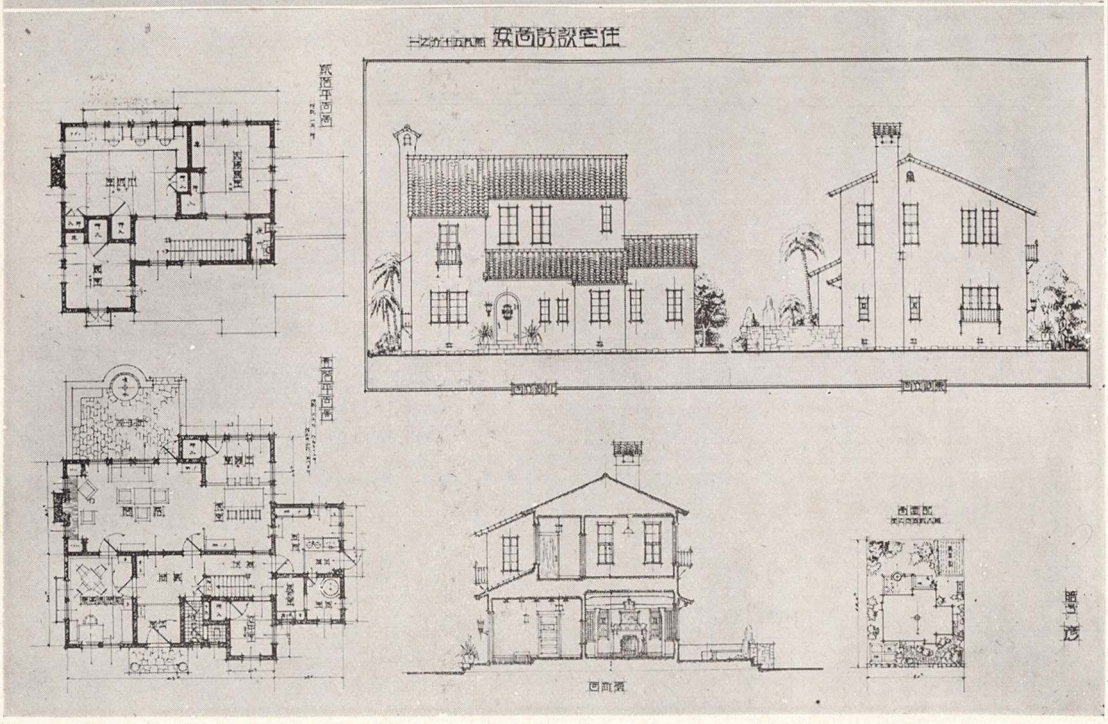
大鐵・住宅設計懸賞應募圖案（其の二）

第一等當選者　首藤利子君

住宅設計圖案



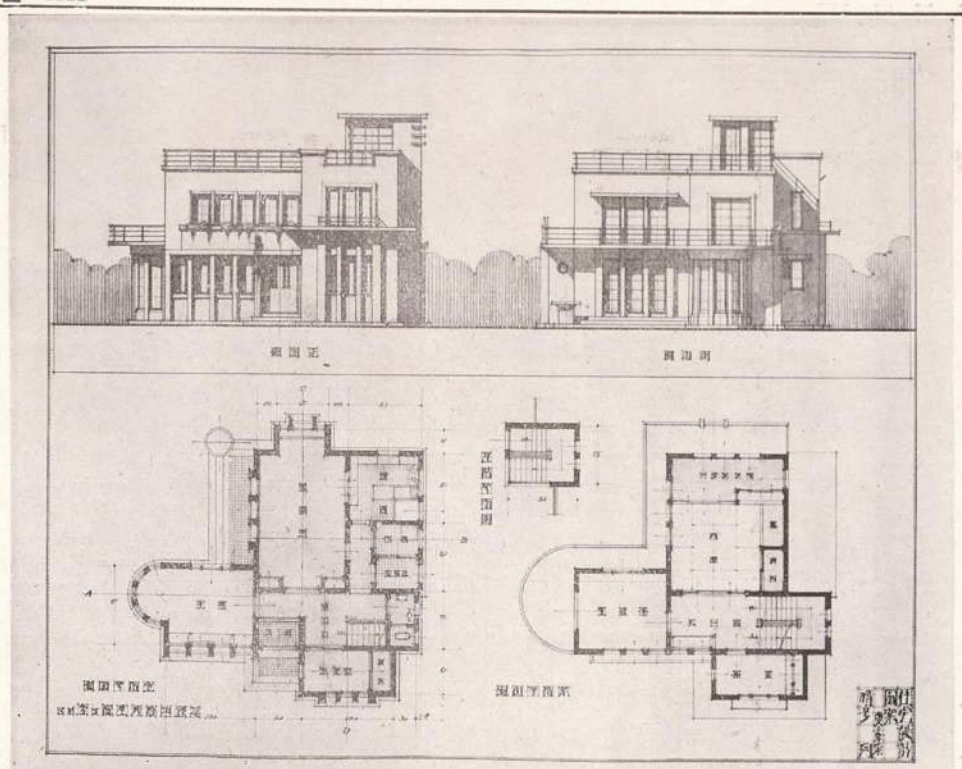


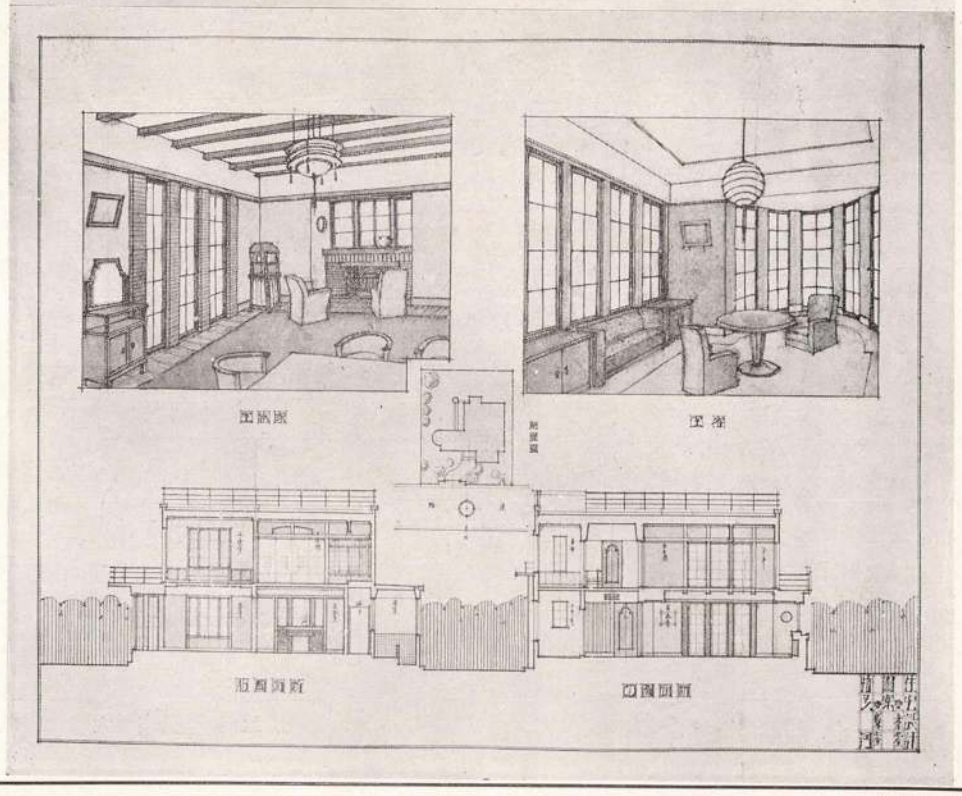


大 鐵・住宅設計懸賞應募圖案

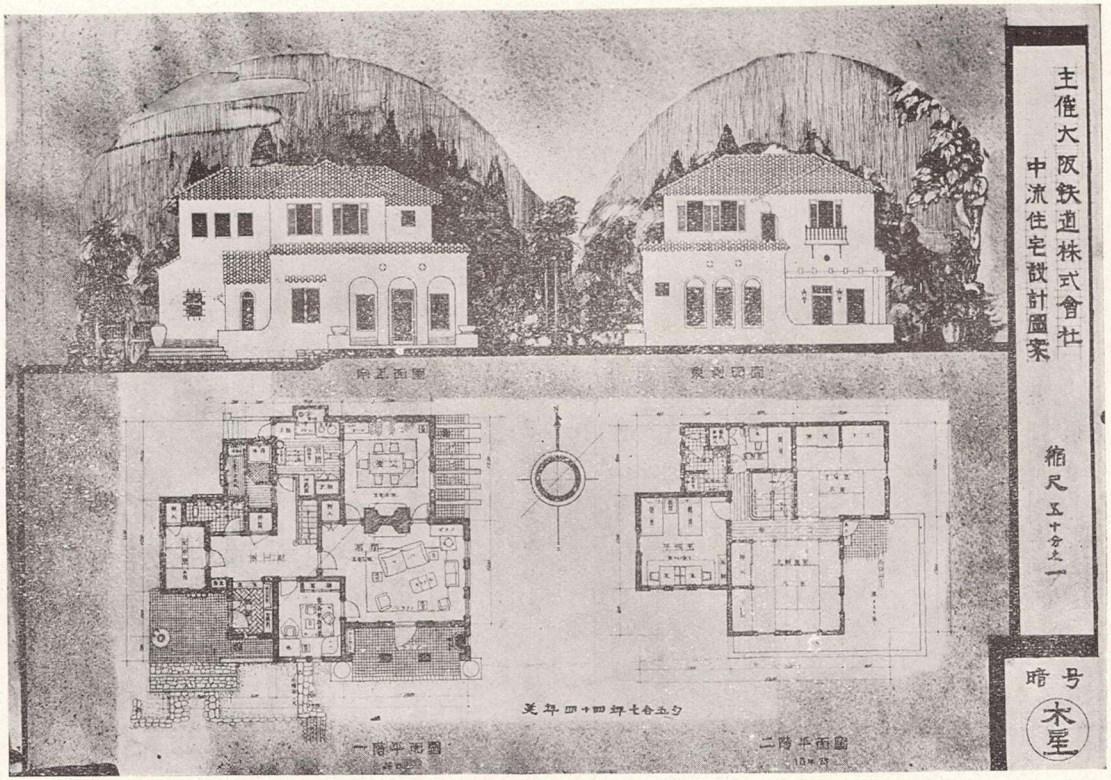
第二等當選者 大原芳雄君

大鐵・住宅設計懸賞應募圖案



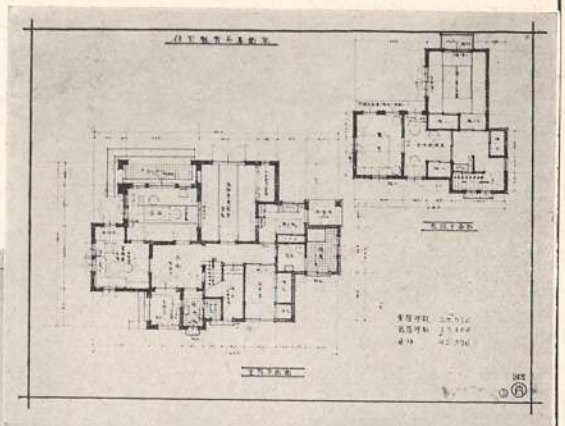


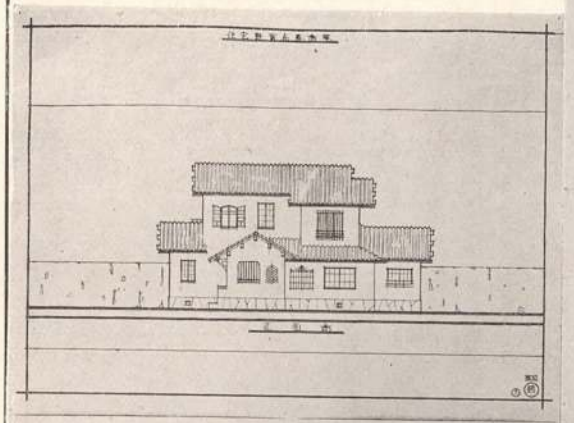
第三等第一席當選者 杉原啓一郎君

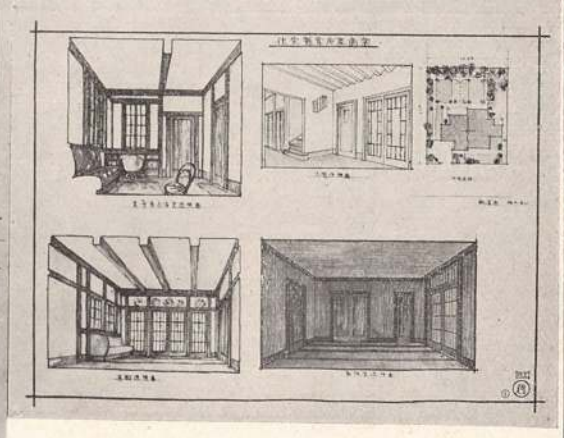


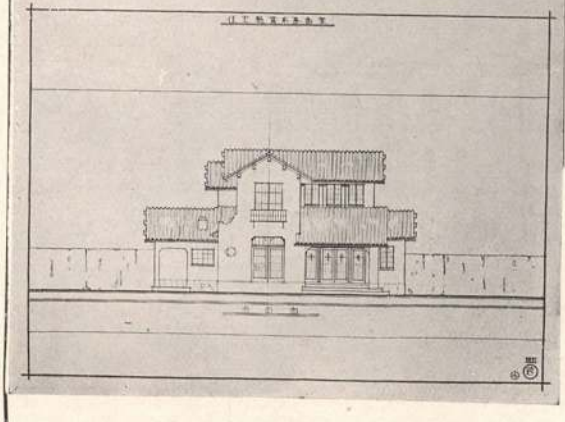
大鐵・住宅設計懸賞應募圖案

第三等第二席 當選者 遠藤利夫君









大 鐵・住宅設計懸賞應募圖案

第三等第三席

當選者 阿 部 庄 吉 君

災害と其豫防漫談

災害委員　池田宮彦

展覽會第三室は災害と其豫防と云ふ事を主眼として陳列せられてあつた。災害と云つても色々の事件があるがとりわけ最も大きいものは、地震と火事である、故に此の室はそれを主とし左記の如きものを展覽したのである。

火災と其豫防並に耐火材料
地震被害と其豫防
雷と其避雷
鐵材の腐蝕と防錆
白蟻の被害と其の驅除
防盜用錠前及厚板硝子

尙第三室陳列の內容については別項に詳細に記載せられてある。未だ此の外に展觀すべき種々のものがあるが陳列面積に制限があつて到底之れ以上收容し得ない爲め遺憾乍ら此の他のものは今回割愛したのである。

いつの昔誰が定めたか知らないが此の世の中で怖いものと云へば『地震、雷、火事、親爺』であると云ふ。親爺はモボ、モガに煩はされるかも知れないが建築物の災害には一寸緣が薄すぎる。蓋し怖いもの、中でも就中地震と火事とは人世の脅威である。誰れしも最も恐ろしいと想像し、又一度其の猛威を振ふや、大都市も一朝にして灰燼となる眞に怖るべきである。日本の火事と云へば直ぐ西洋人は笑ふ、バンブーハウスにペーパースクリーン、之れで燃えぬのが不可思議であると。誠に然りである、悲しい哉それは事實であつた。

我國に耐火建築の出來初めたのは近年の事であつて、都市の防火地區、建物の防火壁の必要を認められたのは極めて輓近の事である。而もそれを眞に叫んで居る人々は知識階級の一部の人に過ぎないのである。然らば都市に住む大衆は如何？全く他人事と思ひ又かく扱つて居る。むしろ、斯くの如き事に眞劍である人々を道樂者視するの狀況である事を悲しむのである。公衆道德心の缺如と云はうか將又ソンな事に頓着する餘裕のあまりに無さすぎる現代日本人の生活と云ほうか。何時になつたら煙草の吸殼を無暗に捨てる人の絕無になる時代が來るだらうか何時になつたら六甲の山火事が無くなるだらうかあまりに燒けすぎる六甲山ではある。

昔から江戶の名物は火事と決つて居つた。それ程江戶に火事は多かつたそして組の火消は天下に名を成した。然し大阪にも大きな火事が澤山あつた。時々全市の大半を燒いた。土木事業……運河の開鑿、新田の埋立、等あらゆる土木事業が次々に大阪に行はれて誠に立派な都市を形成したのは既に元祿時代の事であつた。然し防火と云ふ事には一般にあまり頓着せなかつたものであらうか、僅かに土藏を以て唯一の耐

火建築と考へた時代であつたから、廣場、公園土藏、築堤、石塀、土塀等を以て全市を幾つにも仕切るに云ふ防火方法に就いては全く考慮せなかつたものと想像せられる。勿論現代の都市に於ても防火地區の完成は仲々實行せられる事ではないが唯祝融氏の猛けるに委ねてあつたのは如何ふわけであつたであらうか、即ち大阪には次に記する如き大火が次から次へと處々に起つて全市を焦土と化して居る。

大阪の大火。さて今から遡つて正確な記錄を持つて居る大火災は先ず寛文六年の新町燒を以て最も古いものとしてよからう。

寛文六年(推定)	新町遊廓大火	(三六二年前)
延寶三年(推定)		(三五三年前)
享保元年	曾根崎燒	(二二二年前)
享保九年	妙智燒	(二〇四年前)
弘化三年	おちよぼ燒	(一八二年前)
寶永五年(推定)		(一八〇年前)
寶曆六年(推定)		(一七二年前)
安永三年(推定)		(一五四年前)
天明六年(推定)		(一四二年前)
寛政元年		(一三九年前)
寛政三年		(一三七年前)
寛政四年(推定)		(一三六年前)
文政十年	道頓堀大火	(一〇二年前)
天保五年	大鹽之前燒	(九四年前)
天保八年	大鹽燒	(九一年前)
天保九年(推定)		(九〇年前)
嘉永五年	南船場の大火	(七六年前)
同　五年	中船場の大火	(　同　)
同　五年	道頓堀大火	(　同　)
同　五年	冬道頓堀大火	(　同　)
同　七年	上町の大火	(七四年前)
文久三年	五幸町燒	(六五年前)
明治八年	座摩の大火	(五三年前)
同　九年	大西芝居の大火	
同十一年	新堀の丸燒	
同十三年	島之内燒	
同十四年	堀江燒	
同十七年	本町曲り燒	
同十八年	松島燒	
同二十三年	新町燒	
同四十二年	北之大火	
同四十五年	南之大火	

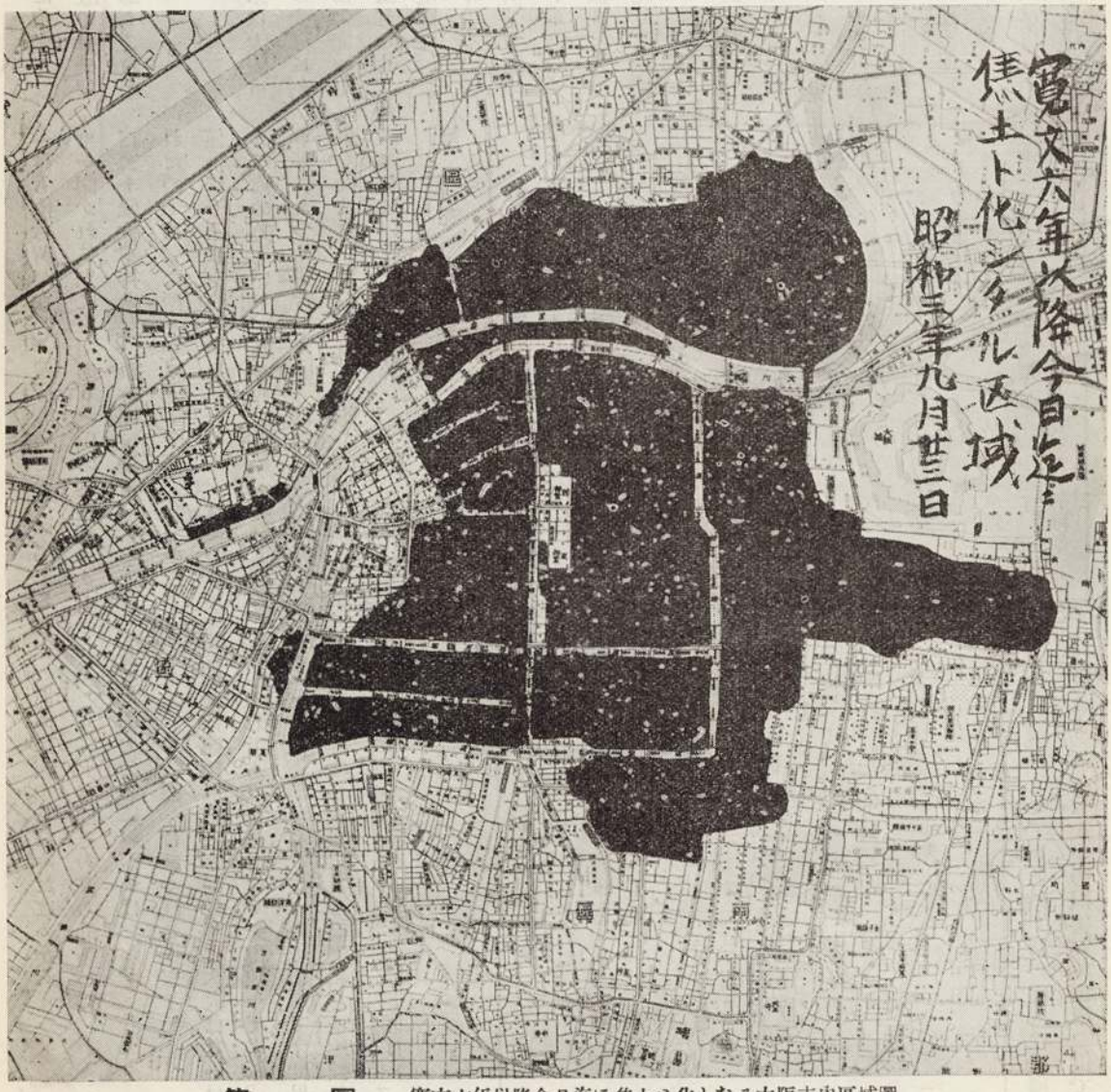
以上列記のうち其の最も大なる火災は妙智燒にして皆さんの胸裏に新たなる『南の大火』は面積に於て妙智燒の二十分之一にしか當らない。之れを以て如何に大火であつたかを知らるゝであらう、其の内容の詳細は大阪市史によれば次の通りである。

享保九年三月廿一日妙智の家に火を失し、大風に乘じ火焰忽ち東北に奔り新町にて二分し一は西横堀川に添うて北方に延燒し阿波堀川京町堀川、江戸堀川を經て船場に入り一は西横堀川を越え難波御堂の西裏を北進し、座摩社津村別院を燒き火口再び相合し淀屋橋を越えて中之島、堂島、曾根崎に至り、更に東北に延びて天滿西寺町池田町を燒き餘炎野を渉りて遠く南長柄村國分寺村邊にも及べり、然るに夜に入りて風位西に變ぜしかば船場北久寶寺町以北一面の火は東方に突進し容易に上町に移り東西兩町奉行所以下の公署邸第を燒き大阪城に至りて止り、又天滿に於けるものは風位轉換せるがため東寺町、天滿天神社、與力同心屋敷を燒き川崎に至り一躍して備前島に移り相生町に及びぬ、廿二日晴天風位暴に東北に變じ相生町に移れるものは野田町に及ばずして熄みたれ共上町の火は東横堀川に沿ひ北より南に移り島之内より道頓堀川以南に延燒し申の刻に至り火漸く鎭れり、此の火災は實に面積に於て當時の全市三分の二を灰燼とせり。

燒失町數	四百八町
家數	一萬七百六十五軒
竈數	六萬二百九十二

濱納屋　千五百四十四軒
土藏　千九十七ヶ所
公儀橋　九ヶ所
町橋　四十五ヶ所
藏屋敷　三十二ヶ所
城代　酒井忠音下屋敷
京橋口定番　松平勝次下屋敷
兩町奉行　鈴木利雄松平勘敬屋敷
寺院　百三十六ヶ寺
神社　八ヶ所
問屋米屋の米　十一萬千七百四十石餘
同麥　八千百八十石餘
大豆　一萬三千九百五十石餘
藏米　十三萬石餘
死人　二百九十三人
外に市外民家の燒失したるもの三百六十二軒

此の記錄によつて火災が如何に大きかつたかを推測する事が出來る。交通機關不完全なる當時かく大量の物資を燒いた大阪の困憊疲弊は關東の大震災にも劣らないものであつた事と想はれる。是等の記錄によつて得た大火區域を次々に市街地圖上に塗



第一圖　寛文六年以降今日迄に焦土と化したる大阪市内區域圖

つて行けば二百數十年前より今日迄に焦土となつた市の區域を知る事が出來る。大阪の中央部は殆んど一度は焦土となつて居る、即ちこれを第一圖として掲ぐ。

近年の火災統計

明治四十五年南の大火以來十數年來は大阪市に大火を見ないのである。之れは此の大火に刺激教訓せられて府市協力一致消火設備の完成を急いだ爲めであつて、消火機關の完備せる事、其の訓練の行き屆いて居る事は實に全國に冠たるものがある。加之水道、河川、塀等の水の豐富なる事と竝に耐火建築の增加と相俟つて其の後大火を見ないものであらう、然し乍ら萬一不利な條件……木造家屋の櫛比、乾天續き、失火烈風、等が重なつた場合には如何に充分な設備があつても恐らく延燒を免れ得ない事と思はれる。故に防火設備の完成と同時に他方に於て一般市民が失火を絶無にすると云ふ平常の心掛けが必要である。即ち平常市民を斯く訓練する事である。機會ある毎に火防宣傳を行ひ一般市民に失火をしてはならぬと云ふ事を肝銘せしめねばならない。茲に大阪西消防署長藤岡庄三郎氏は職掌柄とは云へ實に奇特な火災防止宣傳の先驅者にして熱心なる指導者である。氏は自らポスターを書き自ら街頭に立つて宣傳に之れ勤め一日も倦む所がない。常展覽會に第三室のある事を聞かれ眞先に來場あり、氏の自作ポスター百二十餘枚を持參せられ會場に揭出を希望せられたのであつたが不幸にして壁面に餘分少なく僅かに十三枚を飾る事を得たのみではあつたが其の書の美しい事、其の着眼點の要を得て居る事等によつて觀者絶えず、非常に効果のあつた事を疑はないものである。其面白い文句の一つ二つを拔いて見よう

あめは天からなみだはめから
　火事はそのみの油斷から
宵の火の氣にみづかけたかを
　一聲つけゆくほとゝぎす

閑話休題統計に入る、近年は大火はないけれどもそれでも火災は可なり澤山起つて居る。而して其の損害額も莫大なものであつて今世界各國の富の程度と火災による損害額とを比較して見ると次の通りである。（藤岡庄三郎氏ポスターに依る）

第一表

各國の富の程度

アメリカ	七千億圓
イギリス	三千六百億圓
フランス	二千億圓
ドイツ	千六百六十億圓
イタリー	六百億圓
日本	五百億圓

最近一ケ年の各國火災損害額

アメリカ	七億三千萬圓
日本	二億四千四百二十二萬圓（大正八年）
イギリス	四千五百五十一萬圓
フランス	四千百四十七萬圓
オランダ	一千五百萬圓
スウヰス	一千百五十八萬圓

世界中一ケ年火災損害額十五億圓を超す
大正七、八、九、十、十一、年五ケ年平均

第二表

各國民一人當富の程度

イギリス	七千九百十圓
アメリカ	六千五百八十圓
フランス	四千八百二十圓
ドイツ	二千七百二十圓
イタリー	一千六百三十圓
日本	八百九十圓

各國民一人當火災損害負擔額

アメリカ	七圓
日本	四圓十錢
イギリス	一圓
フランス	一圓
スウヰス	三十錢
オランダ	二十二錢

是等の表によつて知る如く富の程度は我國は第六位であり乍ら火災の損害程度は第二位であ

る。如何に木造家屋の國、モエル家の國とは云へあまりに損害が多すぎるではないか。是等の統計は大正十一年迄であるが若しそれ大正十二年關東の大震火災の損害を加ふるなれば如何に大きな損害となるか吾々の想像を許さないものである。

次に昭和二年迄の十年間に於ける火災に關する統計表を示せば（昭和二年大阪府消防統計に依る）

第三表

既往十年間火災度數及損害額（大阪市）

年別＼種別	出火度數 失火	放火	其他	計	燒失區別 延燒	不延燒	直消止	燒失戶數 全燒	半燒	計	燒失坪數	燒失損害額	既往十年間平均損害額
大正七年	一七八	六	四一	三二五	五五	六三	二〇七	一四三	一八四	三二七	九、八〇〇 坪	二、三四八、六六七 円	—— 円
同 八年	二八三	一	二八	三一二	六六	五四	一九二	一八〇	一九九	三七九	二、〇八三	五、四九七、八八〇	
同 九年	三〇九	一	八	三一八	五八	三八	二三二	一三七	一九五	三三二	八、五三九	六、一三二、六五九	
同 十年	三一五	四	二七	三四六	七七	三四	二五五	九三	二七	二七一	四、二〇四	一、八九九、六八五	
同十一年	三六五	一五	三六	四一六	七三	六九	二七五	二七九	二七	四四六	九、八三四	三、五四三、三七七	
同十二年	三七四	一五	二五	四一四	五七	四一	三一六	二三九	一四三	二一一	五、五二三	一、〇六九、一〇四八	
同十三年	四一九	一三	三六	四六八	七七	四一	三五〇	一六一	一六五	三一〇	八、一三四	一、四五三、六九四	
同十四年	五三四	一四	七九	六三七	一二四	七八	四三五	二一三	三一五	五三八	八、九一六	一、五七八、四九八	
昭和元年	五六一	二五	二〇〇	七八六	一三九	一〇九	五三八	三五四	三一三	六六六	一〇、九三一	一、九一四、五九一	
同 二年	五七二	二八	一四九	七四八	一二五	一三六	四八七	二一七	二一七	五三四	一四、〇八五	二、一六六、三五三	

喫煙家に御注意

火災の原因別統計表は大阪市と郡部とに分つて第四表第五表の通りである。

此の表によりて知る事は原因の明らかなもののうち煙草の吸殻が最高位を占めて居る點は吾々が考慮すべき事である。日本の喫煙家が吸殻を所かまわず捨てるのは常に見受ける事であるが喫煙家自身に取つては或は日常の茶飯事であつて、無意識に行つて居る事とは思はれるが都會に住み又都會に働く者は特に自他共に注意し合つて此の失火を防止したいものである。六甲山の山火事も多くは之れによつて起つて居るものと見られる。

郡部に於てはさすが郡部らしい統計面となつて居る事が覗はれる、即ち煙草吸殻は第三位で取灰、焚火が最高位を占めて居る。然し乍ら煙草吸殻が原因となつて居るものも第三位と云へば決して少いと云ふ事は出來ない。何れにしても喫煙家は特に御注意して頂きたいものである。

次に火元業體別を調ぶれば其の最高位は木工業（三八）であり、之れに次いで藥品商（二八）、無職（二八）、金物商（二八）、鐵工業（二六）、製材業（二六）、綿糸布業（二六）等であつて、之れを其の職業の內容に立入つて考ふれば火を用ふるもの、火を發する性質の藥品、引火性の品物を取扱ふもの即ち、綿、糸、木、等に屬する商業に多く而も其の裏面にはやはり煙草の吸殻がある樣に思はれる。然るに油類商の發火が僅かに（七）とあるは誠に少い感がある、之れは其の職業が少いのと今一つは其の職の人は自ら大いに戒しめて居る事によつて引火性の最も強いものなるに拘らず比較的發火數の少いものと思はれるのである。

都市の防火と耐火築建

大都會に於ける火災の延燒を防止せんとせば防火區の設定が必要であつて防火地區の種類には耐火建築地區公園、廣場、池等が其の主なるものである。我大阪市の都市計畫課に於ては既に甲種乙種の防火地區を設定し、其の地區には耐火建築又は準耐

火建築のみを建築する規定であつて之等の建物が大きな防火壁の代用となつて延焼を防ぐ役目を司る計畫となつて居る。然し乍ら現在の防火地區のみにては誠に不完全であつてもつと全市の各方面に渉つて幾つかの區域に仕切る必要があるものと思はれる。茲に特に注意すべき事がある。それは耐火建築とても必ずしも絶對耐火とは云へない。何故か？建物の開口、（窓、出入口等）は耐火材料スチールサツシユ、スチールドアー等を以て造られ又其の上スチールシヤター或はコンクリート扉等を附してはあるが其の建築當初完全であつても使用中には故障を生ずる事もある。其の修理が常に行き屆いて居なければ折角の耐火建築も其不完全の開口一つから

第四表

火災原因別（大阪市　昭和二年中）

原因別＼月別		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
竈用	自家	四	三	三	一	三	三	三	三	二	四	六	四	四四
竈用	営業	七	二	二	四	三	三	二	三	三	三	一	四	三三
殻突	吸草	七	七	六	五	五	二	二	五	七	二	五	九	六二
燼	煙炬	一〇	一三	六	一	九	一	六	一	一	一	一	一〇	七三
爐	煙突	五	三	五	二	六	四	二	三	一	三	二	一	三四
火	焚火	五	三	五	三	一	二	一	三	一	一	一	三	二九
鉢	取火	五	三	三	二	一	一	一	一	一	一	一	三	二三
灰	消火	三	四	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一〇
庫	石油	一	一	一	一	一	一	一	一	一	四	一	一	一一
油	揮發	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	五	一	一五
油	其他	四	四	五	五	一	一	一	一	三	一	二	一	二四
室	乾燥	六	一	一	一	一	二	二	一	二	二	一	一	二三
寸	燐蠟燈	三	一	一	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一三
燭		一	一	一	一	一	一	一	二	一	一	一	一	八三
火		五	一	一	一	二	二	二	四	二	一	一	一	一七
電	漏電	三	三	四	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一五
爐	炬氣	三	二	一	四	一	一	一	一	一	三	一	一	一三
他	其	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	七二
斯	瓦	二	二	一	一	五	一	一	二	一	二	一	一	三二
火引	セルロイド	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	九一
性	燥發	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一八
性	火發	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	五
擦	摩械	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	九
燈	油灯	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三
火	弄蚊	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	四
香	線取	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一一
熱	過鑵	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	七
熱	過ーター	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	六
火	業作冶	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一〇
爐		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	八
他	の	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	九
火	不因	三	二	三	四	三	五	三	三	二	二	一	二	三二
明		九	一一	一〇	六	一一	一〇	一一	八	五	一一	一一	七	九九
計		九二	七三	七一	六三	七一	六二	七二	六三	四六	四六	五三	七九	七四八

大阪市火災業体別（最近五年間）

業体別＼区分	半焼以上					小火					計				
	二年	三年	四年	五年	計	二年	三年	四年	五年	計	二年	三年	四年	五年	計
住宅	三二	五一	二八	一〇	一二五	六	五七	八六	六二	二四三	九	五八	八七	七二	二六八
醫師	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
金融業	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
農業	〇	六	三	九	一八	〇	一	二	一	四	〇	七	五	一〇	二二
周旋業	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
鉄工モヽ	四	九	七	一〇	三〇	〇	一	二	五	八	四	一〇	九	一五	三八
貴金属商	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
機械商	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
鉱業	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
金物商	二	八	七	一一	二八	〇	一	二	五	八	二	九	九	一六	三六
製材業	四	七	三	〇	一四	〇	一	〇	〇	一	四	八	三	〇	一五
木竹細工	二	八	一	一	一二	〇	一	〇	〇	一	二	九	一	一	一三
木材商	〇	二	〇	一	三	〇	一	〇	〇	一	〇	三	〇	一	四
建築請負業	一	一	〇	一	三	〇	一	〇	〇	一	一	二	〇	一	四
新炭業	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
綿糸布業	三	一	二	二	八	一	一	一	〇	三	四	二	三	二	一一
呉服商	三	二	一	二	八	一	一	一	〇	三	四	三	二	二	一一
裁縫業	一	一	〇	一	三	〇	〇	〇	〇	〇	一	一	〇	一	三
洋服業	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
莫大小商	〇	一	〇	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一	〇	〇	一
硝子商	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
紙類商	一	三	一	一	六	〇	一	〇	〇	一	一	四	一	一	七
書林	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
運動具商	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
陶磁器商	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
骨料品商	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
米穀商	一	三	一	二	七	〇	一	〇	〇	一	一	四	一	二	八
乾物商	〇	一	〇	一	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一	〇	一	二
毛織業	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
雑穀商	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
青物商	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
菓子商	〇	一	〇	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一	〇	〇	一
飲料商	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
煙草商	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
雑貨商	一	一	〇	一	三	〇	〇	〇	〇	〇	一	一	〇	一	三
化粧品商	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
油類商	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
薬品商	一	一	〇	一	三	〇	〇	〇	〇	〇	一	一	〇	一	三
場（ガソリンスタンド・油槽所・揚油所其他）	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
三	二	八	六	四	二〇	一	五	七	五	一八	三	一三	一三	九	三八

第六表

第五表

火災原因別（大阪府郡部　昭和二年中）

原因別＼月別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
竈用家自			一		一	四	二		一	一	二	一	一四
用業營													
殼吸草煙													
突煙													
薙炬焜													
爐													
火熒													
鉢火													
灰取													
壷消火													
油類油石													
油他の其													
室燥乾													
寸燐													
燭蠟													
火燈													
電漏電氣													
燃炬氣電													
他其													
火引「ドイロルセ」													
斯瓦													
性發燥藥品													
性火引													
擦摩械機提													
燈洋灯													
火弄													
熱過鑵汽													
火飛車關汽													
害落													
香線取蚊													
他の其													
明不因原													
火放													
計合													

火が入つて内部を全燒する事は關東の震火災によつて得た貴い經驗である。それ故に百の窓に一つの不完全もない樣に常に心掛ける事が管理者の職責である。其の他スチールサッシュに網入ガラスの窓障子は規則に於ては耐火材料とはなつて居るが之れは少し強い火に合へば忽ち網入ガラスが熱の爲めに熔け落ちて何等の役にも立たない物となる。それ故に此の窓の外側に必らずスチールシヤター（捲上鐵扉）、鐵扉、又はコンクリート扉を附して防火に備へねばならない。前面道路が非常に廣い場合、或は公園、廣場等に面する場合に於ても少くとも下部地上二階迄位は防火扉を要するものである。其の理由は、地震、火災等の變時には多數の避難民が色

第六表つゞき

色別＼原因別	竈用家自	竈用業營	煙殼吸草	煙突	炬薙	焜爐	熒火	鉢火	取灰	火消壷	油類石油	油類他の其	乾燥室	燐寸	蠟燭	燈火	電氣漏電	電氣燃炬氣	電氣他其	「ドイロルセ」引火	瓦斯	藥品爆發性	藥品引火性	機械摩擦	提燈洋灯	弄火	汽鑵過熱	汽關車飛火	落雷	蚊取線香	其他の	原因不明	放火	合計
住宅	一																																	一
會社	四																																	四
印刷所	一																																	一
其他	一																																	一
其他	三																																	三
計	九																																	九
二	八																																	八
三	二																																	二
五	五																																	五
一〇	一〇																																	一〇
一五	一五																																	一五
三	三																																	三
一〇	一〇																																	一〇
四	四																																	四
二	二																																	二
一四	一四																																	一四
一八	一八																																	一八
一四	一四																																	一四
一五	一五																																	一五
二〇	二〇																																	二〇
一五	一五																																	一五
一六	一六																																	一六
一六七	一六七																																	一六七

々の物品を持ち出し、かくの如き耐火建築の前面を唯一の避難場所として集ひ來て、多量の燃燒物品を山と積み上ぐるものであるから萬一それに火の入つた時には其の物品の燃燒火力は忽ちにしてスチールサツシュ、網入ガラスを熔解し建物内に引火せしむるに到るものである。此の例は關東の震火災に於て東京市内の耐火大建築の多數が此の如き條件の下に一と溜りもなく其の内部を燒き盡された事によつて知らるゝのである。

防火地區以外の建物に於ても防火について考慮すべきは言ふ迄もなく假令木造建築に於ても防火壁、壁の構造、隣家との間隔等に注意する事は自らの損害を少くするのみならず他人にも累を及ぼさざる場合あり、社會道德上充分考慮すべき事である。自家を救はん爲めに設けた防火壁が、發火によつて已れの家は燒いたが防火壁があつた爲め近隣への延燒を防止した例は澤山あり、都市に住み、或は都市に營む者は附近の情況に鑑み社會奉仕として防火壁を家の兩側に、或は長屋の適當な個所に設置すべきである防火壁と云ふ程の大したもので無くともよく延燒を遲からしめて其の時間に消防手の出働によつて消火し得る事がある。それ等について少しく述べて見よう。

(イ)長屋に於ける隣家との仕切壁は天井迄とせず屋根裏迄延す事　これは長家に火の入つた時は忽ち天井を燃え抜き、屋根裏を火焰が走つて僅か數分時にして長家の全長に火の廻る事がある、故に仕切壁を土壁にして屋根裏迄設けて置けばよく長家一棟中の一戸を燒くのみにして隣家に延燒する迄に相當の時間を要し消防手の活動を助け容易に消し止むる事を得るものである。之れに反し若し此の壁なき場合には何處迄屋根裏に火が廻り居るか一見判斷し難く危險にして消防手は屋上にて消火に充分の活動を爲す事が出來ないのである。

(ロ)防火壁　現行法規に於て耐火建築ならざるものは全て建坪二〇〇坪以内ごとに防火壁を以て區劃する事となつて居る。防火壁の構造は厚さ一尺以上の煉瓦造又は四寸以上の厚さを有する鐵筋コンクリート造たる事を要する。而して壁の開口は十二尺以下を制限せられ開口には防火鐵扉を附する事となつて居る。防火壁は云ふ迄もなく防火には最も必要なるものであつて單に建物を二〇〇坪以内毎に仕切るのみならず其の兩端にも防火壁を設けて他よりの類燒或は他への延燒を防ぐべきである。

唯茲に注意すべきは、防火壁の構造がかくの如く鐵筋コンクリート或は煉瓦と云ふ重量質のもの故に輕き木造建築の間に介在したる爲めに地耐力が充分ならざる地盤に於ては往々にして防火壁のみ沈下して此のために反つて建物を破壞又は損傷せしむる事がある。又地震の場合には建物の振動と防火壁の振動とが全く異る爲めに防火壁が其の周圍の木造部を破損せしむる事がある故に此の點を特に注意し設計上充分の考慮を爲すべきである。去る昭和二年三月七日奥丹後地震の餘波を受けて大阪市内に此の被害の例があつた。

(ハ)隣家との空地　民法に於て隣地との間は一尺五寸以上後退して建築すべく規定せられて居り、建築物取締規則に於ても二〇〇坪を超過し防火壁を設けざる場合には之れに代るべき空地三尺以上を存置せしむる事となつて居る。

前項の如き完全なる防火壁と僅か三尺の空地とは其の防火力に於てあまりに差があり過ぎる傾がある。僅か三尺の空地は火炎忽ち移る事は火を睹るよりも明らかである。然し乍ら此の空地は耐火力無けれ共消火を助くる點に於て此の三尺の空地にてよく消防手は其のホースの筒先を向け消火を完ふする事が出來るのである。それ故に僅か三尺の空間はよく防火の目的を達する事があるのである。勿論不充分ではあるが無いよりは遙かに有効である。

（二）防火塀

これは隣地或は其附近に危險なる建物のある場合空地のみでは不充分なる事明らかなるを以て防火塀を建て、類燒を防ぐのである。かくの如き防火塀の構造は鐵筋コンクリート造を第一とし、煉瓦造之れに亞ぐ。然し地震の場合煉瓦造は危險なるを以て煉瓦造よりもむしろ、鐵骨ラス張（又は鐵網）モルタル塗造を良しとす。鐵骨、鐵板張（浪板）或は石綿波板張等も之れに次ぐものである。此の目的の塀にはなるべく輕くして耐火力の强いものを良しとす。鐵板は不然質ではあるが赤熱し容易に變形し又其赤熱したる面より發する放射熱によつてよく附近の可然性のものに引火せしむるに至る、故に鐵板は防火塀としては良材とは云ひ難いのである。

出火と火災報知機

出火に當りてこれを自己の力のみにて消火せんとする事は極めて早く認知したる場合の他、多くは失敗に歸するものである。それ故市民は常に火災を一刻一秒たりとも速く消防署に通知すべきである。電話あるものは電話によるべく電話なきものは附近の火災報知機によるべきである。故に火災報知機の所在と其の使用法とを常に心得置く事を要する、幸ひにして今回の展

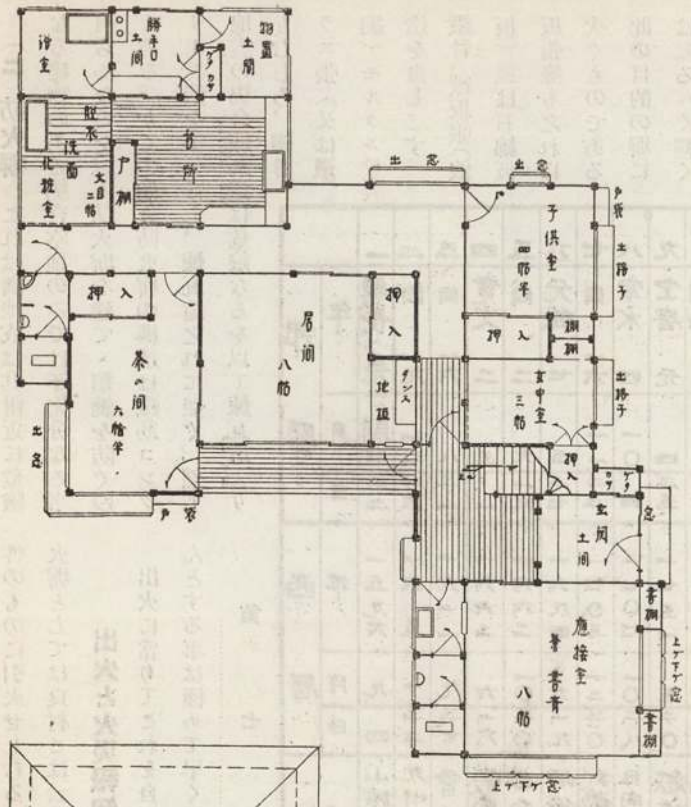
第七表

	邦暦 年	月	日	西暦 年	月	日	被害地	被害 潰滅家屋數	死者數	記事
一	慶長 元	閏七	二二	一五九六	九	四	山城 攝津 和泉		二〇〇〇	伏見城壞る
二	同 九	一二	一六	一六〇五	一二	一一	九州より房總に至る太平洋岸		五〇〇〇	大津浪あり土佐室戸最甚し
三	同 一六	八	三一	一六一一	九	二七	會津		三七〇〇	猪苗代の地二ヶ石陷り湖となる
四	寛文 二	五	一	一六六二	六	一六	畿內及近畿	五五〇〇	五〇〇	
五	同 一二	九	一九	一六七二	一〇	三〇	日向 大隅	二五〇〇	二〇	津浪あり
六	元祿 七	五	二七	一六九四	六	一九	羽後 能代	二七六〇	三九四	
七	同 一六	一一	二二	一七〇三	一二	三〇	武藏 相模 安房 上總	二〇一六二	五二三三	津浪あり
八	宝永 四	一〇	四	一七〇七	一〇	二八	日向より伊豆に至る太平洋岸	二九〇〇〇	四九〇〇	大津浪あり
九	宝暦 元	四	二五	一七五一	五	二〇	越後 高田	九一〇〇	一七〇〇	高田の大地震
一〇	明和 三	一	二八	一七六六	三	八	弘前	七五〇〇	一三三五	津浪あり
一一	寛政 四	一一	一八	一七九二	二	二〇	肥前島原 肥後	一二〇〇〇	一五〇〇〇	溫泉嶽噴火地震津浪あり
一二	文政 一一	一二	二二	一八二八	二	一八	越後長岡附近	一一七五〇	一四四三	
一三	弘化 四	三	二四	一八四四	五	三〇	信濃越後	三四〇〇〇	一二〇〇〇	善光寺大地震
一四	安政 元	六	一五	一八五四	七	九	大和 伊賀 伊勢	五〇〇〇	二四〇〇	
一五	同 元	一一	四五	一八五四	一二	二四	東海道 四國	六〇〇〇〇	三〇〇〇	大津浪あり
一六	同 二	一〇	二	一八五五	一二	一一	江戸	五〇〇〇〇	六七〇〇	津浪あり
一七	明治 二四	一〇	二八	一八九一	一〇	二八	美濃 尾張 越前 三河 近江 伊勢 攝津 河內	一四二一〇〇	七三〇〇	
一八	大正 一二	九	一	一九二三	九	一	東京 神奈川 靜岡 千葉 全潰一〇五八四七 半潰一〇八五三一	九七一一五		大地震、大火津浪
一九	大正 一四	五	二三	一九二五	五	二三	埼玉 山梨	一二二七		大地震 大火
二〇	昭和 二	三	七	一九二七	三	七	峯山町 岩瀨村 網野町	二八七九一	二九八五	地震

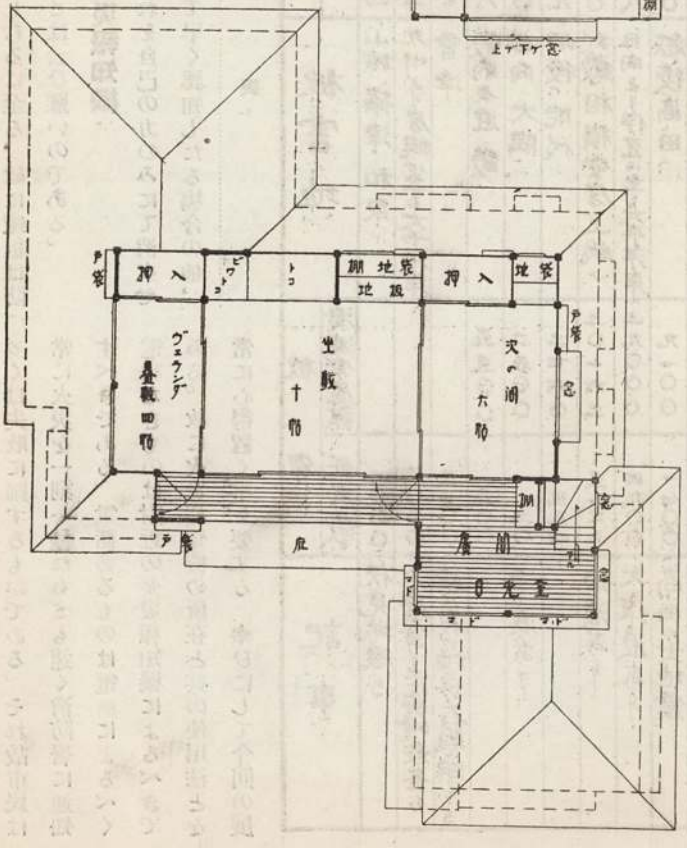
覽會に於て、大阪府消防課長土居末吉氏の御盡力によりて火災報知機の出品と其の實演に毎日消防手を派遣せられ觀覽者に其の使用法と其の機能とを知らしめた事は誠に有意義な企てであつた。茲に記して土井課長に謝意を表す。

木造耐震構造　我國に地震の多い事而も地震被害の恐ろしい事は今更述べる迄もない。而して鐵骨、鐵筋コンクリート造の建物に關する耐震構造論については多くの學者によつて論ぜられ既に其の學理の應用は盛に近年の大建築物に應用せられて居る。然るに木造建築特に吾々の日常生活に最も關係の深い住宅建築に關してはあまりに閑却せられて居る。鐵骨造、或は鐵筋コンクリート造の建物の屆出には一々其構造強度計算書を要し耐震構造の實施を確めてあるに反し木造家屋は何等の強度計算書を要せず耐震壁の設置も規定なく、或は筋違の設くべき規格もなく、それ等の代用となるべき補強鐵物の使用に關しても規定せず。從つて危險とは知りつゝも出來るだけ安く簡單に建てられつゝある家の多い事に驚くのである。殊に島屋町方面其の他の新開地に昨今建てられつゝある長屋建に於て甚だしい例を見る。四戸建續長屋に於て表は店舗である爲めに全面硝子戸を入れ隣家と

第二圖



第三圖



の境は只一本の柱あるのみで、從つて間口には五本の柱が表にあり一つの壁も方杖も勿論無い而して奥の方は矢張隣家との境に表に直角に壁があるが表と平行には、奥庭に面して採光の爲めに椽側に硝子障子を建てたのみである。故に長屋の長手の方向には殆ど壁は無い建物が出來て居る。よくもこんな構造の家が許可せられたものだとむしろ不可思議に思はれるのである。何とかこれは適當の取締を講ぜられなければ地震でもあつた場合の災害の程度が想像せられ不愉快に思はれるのである。監督の任に當らる、當局者に於せられて何とか對策を講ぜられん事を望むものである。

今、我協會の災害委員會に於てかねてより木造建築の耐震構造方法について研究し今回其の一端を展覽會に出陳したのであつた。勿論、費用の點、出陳床面積の點等に束縛せられて一部分に止まつたのは殘念であつた。次の機會を待つて追て發表する筈である。木造建築の耐震構造上注意事項として次の七則を擧げたのである。

木造建築耐震七則

一、基礎工事は堅固にし殊に盛土、埋立地等に施工する場合は特に注意せよ。

二、土臺は地面上高く据え基礎へ緊結せよ

三、屋根は輕く柱は太く床組、桁梁には燧を設けよ。

四、柱、梁の組合せは適當なる金物を使用し用材を痛めぬ樣工夫せよ。

五、壁を縱橫に多く設け筋違又は鐵筋入モルタル壁等を要所に用ひよ。

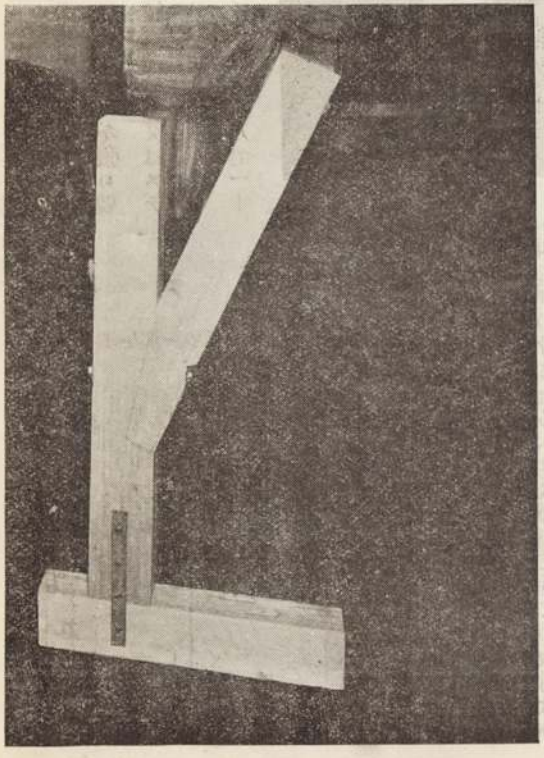
六、天井裏や床下などの通風を良くし木材の腐朽、虫害等を防げ。

七、萬事親切丁寧に。

前揭の七則は極めて大體を示したに過ぎないものであつて具體的には多くの說明を要する事は云ふ迄もない。而して本委員會に於て縮尺十分之一の模型を作り又各要所〳〵は實物模型を以て示し展覽會場に陳列したるを以て御覽になつた方も多からうと思はれるが次に其の要點を少し述べて見よう。

木造建築と云つても其の用途によつて

第四圖



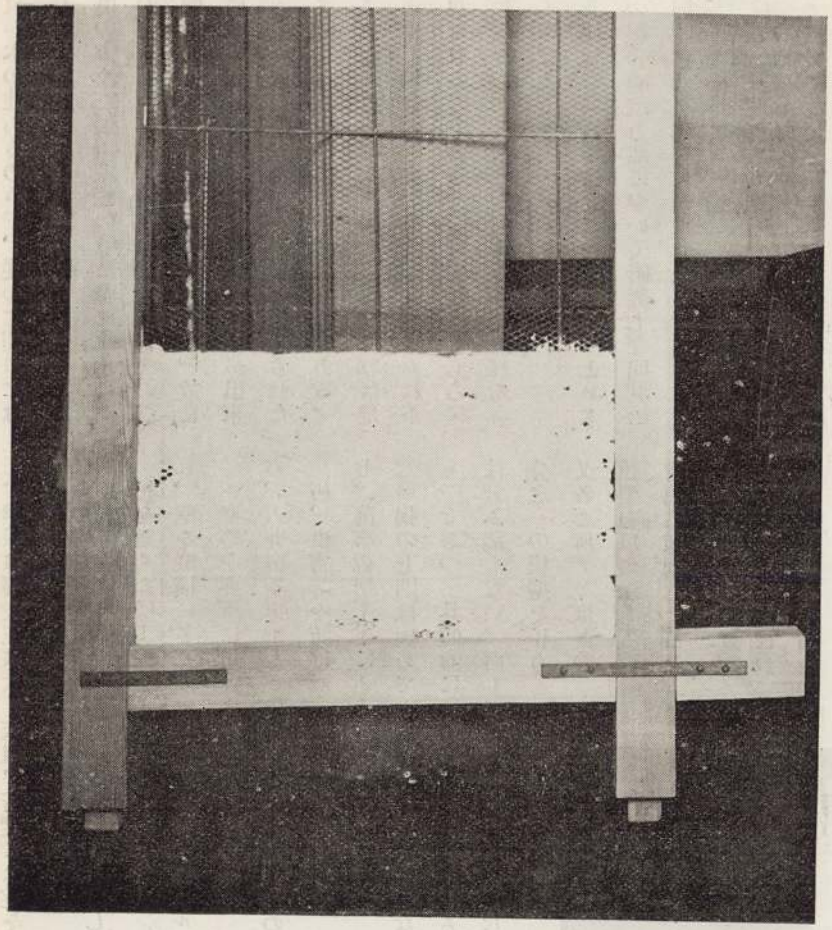
校、倉庫、工場、住宅、等各々其の構造も異り又其の耐震方法も一樣では無いそれ等について今一々述べる事は限りある紙面にては困難であるから、住宅の構造について述べて見よう。

第二圖は其の例に用ひた住宅の一階平面圖であり又第三圖は其の階上平面圖である。一般に木造建築の柱の間に筋違を入れる事が最も簡單な耐震構造である。故に建物の各所に各方向に多數の筋違ひを入れるを良しとす。(階上階下共)其の柱との取合は第四圖に實物模型を寫して示す。然し此の筋違は日本住宅の如き眞壁造の場合には何れか一方又は兩方に壁面に露出し自ら其の構造の違ふ事は知らる、通りであつて、事務所、學

て室の體裁を損ふものであるから、耐震方法として最も簡單且つ經濟的ではあるがあまり歡迎せられない。而して之れに代るべき方法として最も有効であり且つ室の體裁を少しも損ふ事のないものを案出すべきである。これには第五圖に示すモルタル壁を良しとす。本耐震壁は柱間に細き丸鐵棒、徑二分或は三分のものを以て從横一尺乃至一尺五寸間に柱の中央に骨組を設け之れに、エキスパンデットメタルラスを張り要所〳〵鐵線を以て結束し、柱當りは釘又はステーブルを以て細かく打ちつけ、これに兩面よりセメントモルタルを塗りつけ一寸二分乃至一寸五分厚さに仕上げ、之れを耐震壁とす。而して他の壁は砂壁である爲めに其の砂壁と同一の仕上塗を此のモルタル壁の表面に塗り付て普通の壁と一見少しの差なき壁と爲すのである。此の耐震壁の骨となるべき丸鐵棒と柱との取付は棒の先端を鍵の如く作りて柱に横穴を穿ち置きこれに打ち込むのであつて、其詳細は第六圖に示す。此の方法は既に應用したものであつて體裁もよく又耐震力の充分強き事を保證するのである。

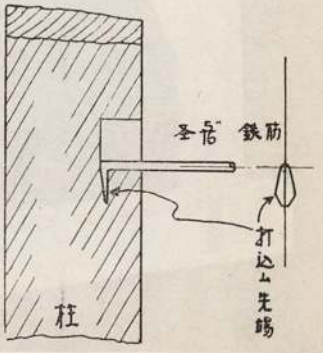
次に木造建築にあつては此の他梁と柱との取合或は胴差と柱と梁との取合、小屋梁と桁との取合等は舊來の加工方法に於ては木部を非常に深く切り刻み痛める事甚だしく各材料の全斷面積の半分以下を殘す如き仕口多く爲めに地震の横力を受けた時は直ちに仕口の部分から折損してしまふのである。故にかくの如き仕口の方法

第五圖

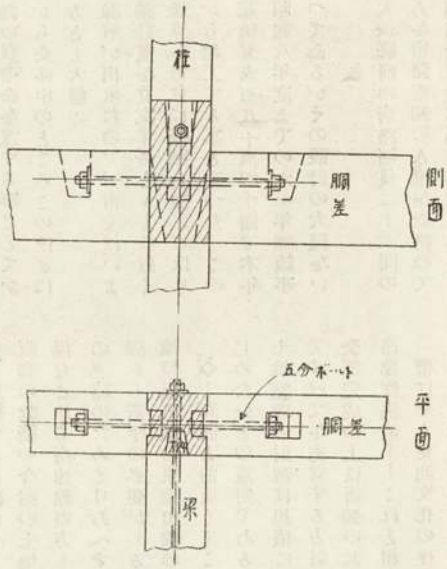


第六圖

第五圖の一部を示す

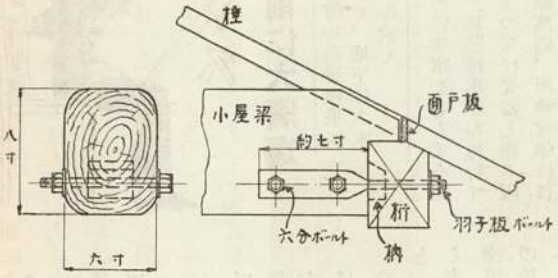


第七圖



通柱と二階梁及胴差との三方指

第八圖

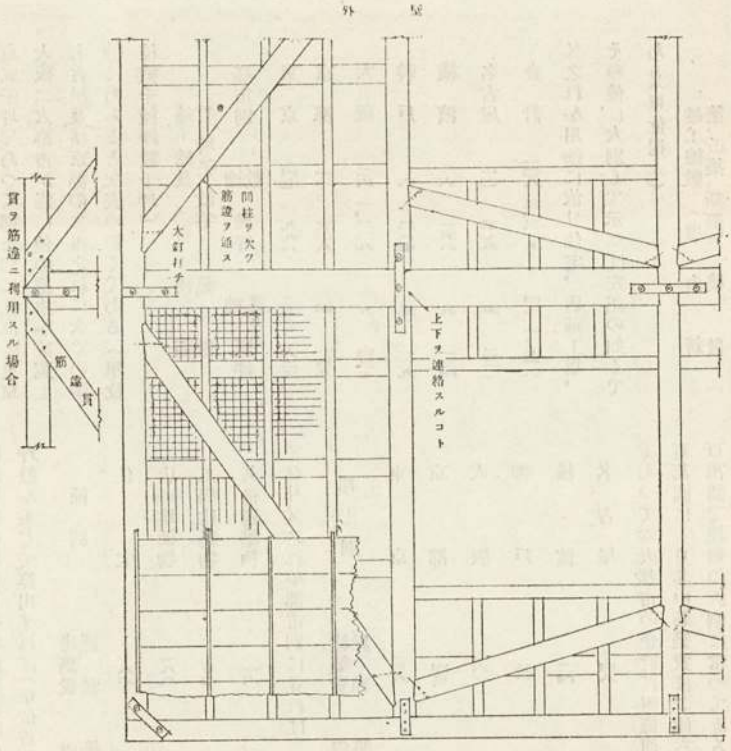


桁と小屋梁

を避け仕口によつて損ぜられる斷面積を出來得るだけ少くし、其の代り鐵物（ボールト、羽子板ボールト、短冊鐵板、鎹逆目釘等）を利用して仕口の不足を補ふ方法を採用せば非常に有効である。其れ等の仕口方法は第七圖に示す。是等の方法は要するに木材を出來るだけ原斷面に近き有効面積に使用せんとするものであつてくれ〳〵も戒むべきは仕口によつて失はるゝ無駄な面積の無い事にある。

以上を以て木造住宅耐震構造法の一端を述べたので一般的の木造耐震方法については機を得て再び本誌に述べる事とす。

第九圖





大阪驛前に大廣場

東梅田一帶を高層建築區域に指定し、地下に六本の地下道を設く

大阪市では都市計畫事業として今回大阪驛を中心に土地整理事業を施行する事となり之によつてに受益し得る阪急電鐵に百四十餘萬圓、阪神電鐵には十數萬圓の負擔金を課する事としてかれて市から交涉中のところこのほどに至り双方とも大體の

◇…諒解が出來たので、市ではいよ〳〵事業計畫を立案するといふに近く初年度豫算を市會に提案し豫定どほり本年度から起工する事となつた、この事業は總豫算九百八十萬四千圓で本年度から昭和八年度までの六ヶ年繼續事業となつてゐるがその設計の大體をいふと

現在大阪驛前の街路幅員二十六間のところを街路南側の人家を取拂つてその幅員を五十二間に擴張されこゝに驛前に六千四百坪の大廣場が實現する、そして

◇…南北線（東梅田町消防屯所のところ）から東へ廣路御堂筋線との連絡のため幅員十二間の都市計畫東梅田線を貫通しこの道路を中心に北へ三十間、南へ十五間を市が買收してこれを高層建築區域に指定する又とりひろげられた驛前廣場には阪神、阪急、大阪驛などの相互連絡のため六本の地下道を作らうといふがすなはち今回の計畫の大要である。

◇…しかし改築される大阪驛を中心として道路計畫は單にこれだけではなく市の高速鐵道線が現在大阪驛と阪急乘場の中間を走る都市計畫梅田十三線の地下をくゞつて更に御堂筋線の地下へと連絡する事になつてをり（かも大阪驛の改築や今回の土地整理事業の關係などから高速線の方もまづ大阪驛との連絡のためとりあへず地下式の梅田驛から着手の必要があるので市では土地整理事業の東梅田線の

◇…新設と前後してこれが工事をはじめたいとの意向である、なほ今回の土地整理の財源は起債によらず借入金ですべてを充當する方針でこの事業が全部完成の上は新裝の大阪驛——市の高速度鐵道——これと相待つて北大阪一帶は全く交通文化の理想化を見るであらうと市では大きな期待をつないでゐる。

六大都市の旺んな建築熱

日本勸業銀行調査＝一昨年中における六大都市の竣工建物並に之に要した建築費を擧ぐれば次の如くである。先づ竣工總數を見るに一昨年中に於ける六大都市及びその近郊に於て新築、增築、改築等の工事の竣工した各種建物總數は十五萬八千棟、其延坪三百三十萬五千坪であつて都市別に見れば東京大阪二大都市が遙に他の都市を凌駕し名古屋及び京都の三市之れに次ぐの情勢にあること次表の如くである（單位棟數千棟坪數千坪）

都市別	竣工總數（新築、增築、改築）棟數	延坪數	內新築數棟數	延坪數
東京	四七	九九八	三	六三
京都	二	三〇八	四	一六九
大阪	三六	一、二〇九	九	四三七
神戸	六	二七七	三	二九
横濱	六	一五八	五	一三四
名古屋	一〇	三五五	五	三三
合計	一〇八	三、三五五	四九	一、七六

又之れを用途に依り住宅、店舗工場、その他に大別して示せば左記の如くである（單位同上）

種別	竣工總數（增築、改築、新築）棟數	延坪數	內新築數棟數	延坪數
住宅	五六	二、四七	三三	九八三
店舗	三一	一、三三	一〇	五八
工場	一六	五九六	五	一六
其他	三	一〇四	一	四五
合計	一〇八	三、三〇五	四九	一、七六

更に前揭の竣工建築物に要した建築費總額を推定するため一昨年中に於る各種建築物の坪當り平均建築費に竣工延坪數を乘じて算出すれば（單位百萬圓）

種別	建築費總額	內新築費
住宅	一八六	一三五
店舗建築物	一八	一〇三
工場建築物	五七	一七
其他建築物	一六	八

となり又之れを都市別に見れば

都市別	建築費總額	內新築費
東京	一三八	九四
京都	四三	二五
大阪	一六一	六九
神戸	三一	一九
横濱	二四	二一
名古屋	四八	三一

であつて六大都市の合計は四億四千九百萬圓に上り其中新築費は二億六千二百萬圓で總額の六割に當つてゐる。

建築工事實施方法 (5)

大林組工務監督 渡部圭吾

三 工事器具と機械 其三 (前承)

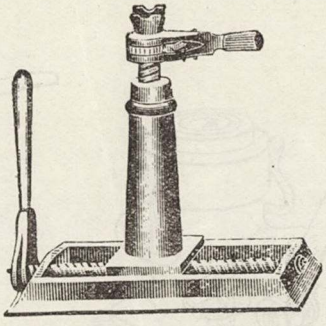
ジヤツキ Jack 手力により重量物を僅少の距離を上下せしめ、或は水平に移動せしむる器具であつて、構造上三種に分つことが出來る、即ち螺旋の働によるもの、齒輪及齒鋏の働によるもの、及び水壓力を應用せるもの等である、又工事作業上では單に上下運動をなすものと更らに水平移動をなすもの等にある。螺旋の働きによるもの、中で尤も簡單なるものは建築ジヤツキと稱するもので第一圖(イ)に示せるもので主要部分は雌螺旋を有する台と、雄螺旋を有し、之れに荷重な載せ上昇せしむべき主體の螺旋鋏と之れを働かすべき挺桿等である、普通この挺桿により九十度づゝ廻轉し螺旋の理により力を得するものであるが螺旋の摩擦は相當に大なるものであるが爲めに實際に於ける機械的利益は甚少なものである、この型を少しく改良したものは德利型ジヤツキ Bottle jacks と稱するもので、この種の中ではラツチエツトの働によりハントルの全廻轉をなさずして螺旋鋏を廻轉せしめ得るものもある、第一圖(ロ)は送りジヤツキ Travering jacks と稱するもので垂直の昇降運動をなす外に水平運動をなし得るものである、垂直水平ともに螺旋の働によるもので、汽車脫線の場合又桁架等には必要欠くべからざるものでその他工事上に於て度々必要とするものである。齒輪及齒鋏の働によるものは俗に箱ジヤツキ Rack and pinion jacks と稱するもので、柄には小齒輪を廻轉し、之れに齒み合ふ大齒輪と垂直鋏との結合により荷重を上下するもので第二圖はその構造の大體を示すものである、耐力の大小により二段又は三段の齒合となれるものもある、垂直鋏の頂上及側部の鈎には荷重を戴せ得らるゝ裝置とす、その摩擦抵抗は螺旋の場合に比し著しく少なく柄の軸には棘齒輪 Ratchet wheel を取付け柄が一廻轉する毎に齒止め Pawl にて此の齒を送り、柄の逆轉し荷重が自ら下降するを防ぐ裝置せるものである、尙ダフ會社 Duff. Mfg. Co. のトラツクジヤツキ又はボールジヤツキ等はこの種のものである。

第一圖

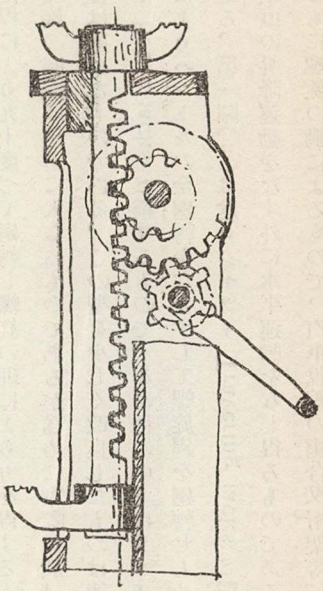
(イ)



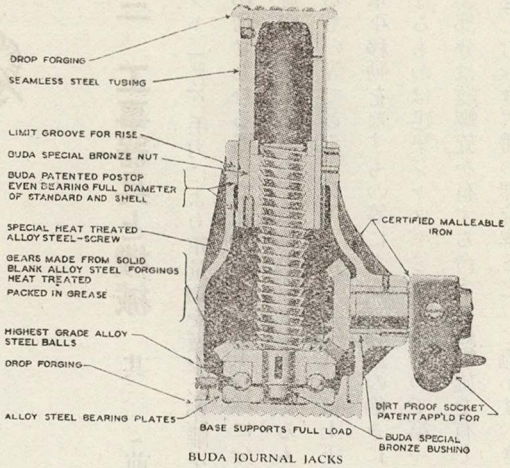
(ロ)



第二圖



第三圖

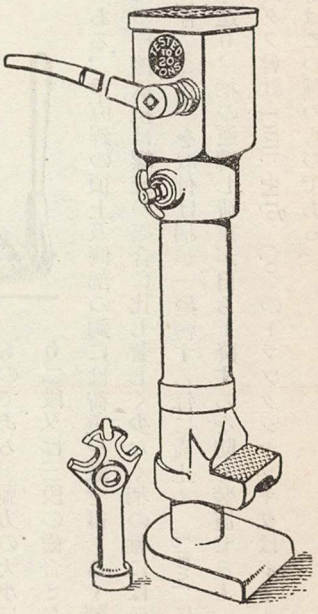


BUDA JOURNAL JACKS

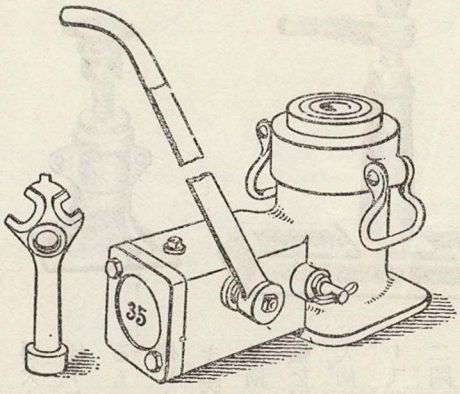
以上二種のジヤツキを混合改良せるものはブタ Buta. Mfg. Co. のジヤツキで第三圖に示せるところのものでその耐力五十噸に及ぶものもあり、その構造の大略は圖中に示せる通りである、水壓によるジヤツキはハイドロリツクシツプジヤツキ Hydraulic ship jacks と稱する造船所に於て廣く使用せらる、横型のものと竪型のものとの二種あるが、普通建築工事に使用せらるゝものは竪型のものである。

第四圖

(1)



(2)



第四圖1は竪型で2は横型のもので何れも内部の二ヶ所の水槽を具へ、一方の水槽の水を高壓手働喞筒の方法により一方の水槽内に送り込み、大なる壓力を生ぜしめて之れにより荷重を押上ぐる裝置とせるものである、その機械的効率大なる爲め尤も強力なるジヤツキとすることを得るもので普通水の代りに機械油を使用することが多い、その耐力は小なるものは十噸大なるものは五十噸位までが建築工事に使用せらるゝものである、第四圖(イ)は水壓船舶用ジヤツキで(ロ)は竪型の普通建築工事用のジヤツキである。

起重機 Derricks 起重機は建築工事上必要欠く可からざるもので、

如何なる工事でも此の名稱のものの何れかが使用せられてをらぬ場合がないと云ふて差支へない位である、故に如何なる形態のものが如何なる作業に適當であるかは常に現場に關係ある技術者は研究してをく必要のある事柄である、普通起重機は悪い製作會社で製作せられたるものにあらざる限り、相當緻密に計算せられ、又入念に製作せられてをるものであるから、その使用上の注意を辨へ指定以外の力を與へないやうにすれば大なる過失をなすことはないものである、けれどもその中で坊主丸太 Gin pole derrick 又はタワーブーム Tower boom 等は、現場に於て計畫し、强度計算をなし、直ちに之れを使用する場合があるから、現場係員は之れを計畫し、之れを檢算する方法をも辨へてをかなければならぬ、起重機は構成する材料により木製及鐵製の二種類に區別することが出來る、木製起重機は主要部分木製であるが取合部分は鑄鐵、可鍛鑄鐵、鋼鐵、鑄鋼等により構成せられてをる、この木製起重機の特長は價格が廉價であり、その重量輕いが爲めに取扱が輕便であり、然も製作が簡單であるが爲めに、急に製作せしめ手に入れることが出來る、けれども腐朽し易しく、これが爲めに往々大なる過失をなし思はざる災害を蒙ることがある、故に木製の起重機を使用する場合には入念にその欠點を檢査せねばならぬ、特に木材と鐵物との取合は腐朽し易しい所であり、又その欠點を見逃し易しい部分であるから、特にこの點を記憶し檢査せねばならぬ、又新たに製作せしむる場合には、取付鐵物特に鑄鐵、可鍛鑄鐵、鑄鋼等は信用ある製造所に於て製作せしむることが肝要である、木材は欠點少なく激動に耐へ得るものを選ばなければならぬ、取合の鐵物は木材と同等以上の强度を有することは勿論であるが、その上これが取付けらるるが爲めに余計な內力の起らぬやうに設計せられねばならぬ、即取付鐵物の爲めに木材に偏心荷重を起さしめたり、或は木材を裂く傾向を起さしむることがないやうな設計でなければならぬ、

鐵製起重機は全部鐵製で最近は之れを使用するもの非常に多くなりつつある傾向である、鐵製起重機は木製に比してその容量の大なるものを製作することが出來、その上保存方法にもよるが、その生命が木製のものに比して著しく長い、故に購入價格高價なるも保存方法宜しきを得れば却つて木製のものよりも經濟的である、特に容量七噸以上のものは鐵製にすることが望ましい、

坊主丸太 Gin-pole-derrick 各種の建方に當りて多くの場合尤も有効にして、その費用を要することの少なき點に於ては、他に比を見ざるところのものである、簡單なる兩側柱建にして輕き小屋組を載するに止まる鐵骨工事にありては一本の坊主丸太ことウインチを要するのみで恰も他に必要なるものなく、上手に之れを取扱ふ時には却て他の起重機に勝るところがある、もし經驗少なく研究足らずして他の起重機を現場に送る時は却てこの使用を拒絶せられ坊主丸太を請求せらるることがある、吾が國に於ては坊主丸太としては檜丸太、米國松の押角等が使用せられ稀には鐵製のものを使用せらるることがある、

坊主丸太は普通索具を取付くる外何等加工を加へないが大なるものは下端に土台を堅固に取付け、軌條、角材、厚板上を引亙らし移動し易しからしめるのである、外國にありては大なるものはゴンドラカー Gondola car の上に乘せ、小なるものはダッチマン Dutch-man と稱する形態のものとし成る可く迅速なる移動をなす事を計つてをる。

坊主丸太の强度計算は、兩端着ひ端なる長柱として考へ、柱軸に沿

ふて偏心荷重を受け更らに曲能率を受くるものとして計算せらるゝのである、坊主丸太の破壊さるべき點は中央部であるからその荷重のとり方も柱軸に沿ふ荷重としては引揚んとする荷物及索具の重量全部控綱の重量の半分及び坊主丸太の半分等である、曲能率となるべき荷重は風壓と坊主丸太の傾斜せる場合に起る坊主丸太自身の重量等である即ち坊主丸太の傾斜度をθとし、坊主丸太長一尺當りの風壓をw''とし坊主丸太長一尺當りの重量をw'とすれば風壓によりて起る曲能率M'及歪δ'は次の如くである。

$$M' = \frac{w'l^2}{8}\cos\theta \qquad (1)$$

$$\delta' = \frac{5}{384}\frac{W'l^3}{EI}\cos\theta \qquad (2)$$

W'＝總體の風壓

坊主丸太の重量と傾斜度による曲能率M''及歪δ''は次の通りである。

$$M'' = \frac{w''l^2}{8}\sin\theta \qquad (3)$$

$$\delta'' = \frac{5}{384}\frac{W''l^3}{EI}\sin\theta \qquad (4)$$

W''＝坊主丸太の總重量

之れによりて見るに風壓による曲能率と歪は傾斜度が大なれば大なる程減少し、坊主丸太自身の重量による曲能率と歪は傾斜度の大なるに從つて益々大なることになる。

坊主丸太と於ても柱軸に沿ふ荷重と曲能率とを受くるものなるを以て單位應力は次の如くに表はすのである。

$$f = f' + f'' = \frac{P}{A} + \frac{M}{s} \qquad (5)$$

P＝柱軸に沿ふ荷重 $L+D$, Lは引揚げらる可き荷物 Dは死荷重即ち坊主丸太の半分の重量控綱、索具等の重量

M＝最大曲能率

δ＝斷面係數

この最大曲能率は偏心度Eを以て柱の一端に働く推力は坊主丸太の正面に當り『マイナス』の曲能率を起し、中央部にありてはその値は$P\times\frac{e}{2}$である。けれども長柱として推力が加はる爲めに更らに歪を起すものである。即ち

$$M = Py_0 \quad y_0 = \frac{e}{2}\sec\frac{\pi}{2}\sqrt{\frac{P}{P_e}} \qquad (6)$$

P_e＝オイラー氏の Idiai collapsing load

但し兩端非ひ端柱の場合$= \frac{\pi^2 EI}{l^2}$ (7)

E＝彈性係數

l＝坊主丸太の長、ピン間の長、時

尙最大曲能率を得る爲めには風壓によに曲能率は荷重によるものと同一方向に働き、自重による曲能率は反對に働くものと見做すを普通適當なりと考るので第五式は次の通に書き改めるこゝが出來る。

$$f = f' + f'' = \frac{P}{A} + \frac{Py_0 + M'\cos\theta - M''\sin\theta}{S} \qquad (8)$$

この式の中のy_0は偏心荷重により偏心度$y_0 = \frac{e}{2}\sec\frac{\pi}{2}\sqrt{\frac{P}{P_e}}$の外に風壓による偏心度$\delta''$と傾斜柱なるが爲めに自重によりて起る偏心度$\delta'$をも合計さるべきものである、即$y_0$は次の如くに書き表はすことが出來るのである。

$$y_0 = \left(\frac{e}{2} + \delta'\cos\theta\right)\sec\frac{\pi}{2}\sqrt{\frac{P}{P_e}} - \delta''\sin\theta \qquad (9)$$

以上により必要なる諸式を說明したが次に例によりて說明するに今四十噸を引揚ぐ可き百七十五尺の鐵製組立坊主丸太の檢算をなさん、四隅に $6''\times6''\times\frac{1}{2}''$ 矩鐵を用ひ之れを『レースングバー』によりて組立てられ中央部に於てその巾七十二吋なりとせば上記の荷重に對して何程の安全率ありや、中央斷面の斷面積二次率等は次に表示す。

斷面積	二乘	斷面積×巾の二乘	I 吋^4	I_c(吋^4)	I(吋^3)	r	$\frac{l}{r}$
23″	1.117,9″	27.092	79.6	27.172	754.8	34.4	159

ションソン氏長柱の最極強度に關する公式は兩端番ひにして $\frac{l}{r}$ 159なる場合には

$$P=52.500-220\frac{l}{r}$$

故に

$$P=52.500-220\times61=39.080\text{瓲}/\square''$$

オイラー氏アイデアルコラプスングロードは

$$\frac{\pi^2EI}{l^2}=\frac{9.86\times29.000.000\times27.172}{4.410.000}=1.762.000\text{瓲}$$

$$L=40\text{呎}=80.000\text{瓲}$$

$$D=10\text{呎}=20.000\text{瓲}$$

$$+D=100.000\text{瓲}$$

$$\sqrt{\frac{P}{P_e}}=\sqrt{\frac{100.000}{1.762.0000}}=0.238$$

$$0.238\frac{\pi}{2}=21°.25'\qquad\sec 21°.25'=1.0742$$

鐵製坊主丸太長さ一尺に對する重量は約二百十六封度であり長さ一吋につきては約十八封度である、今坊主丸太が頂端に於て十尺傾斜するとすればその角度は三度一七で

$$\sin\theta=.0572\qquad\cos\theta=0.99836$$

である、依りて自重による曲能率と歪は

$$M'=\frac{18.\times4.410.000}{8}\text{in}\theta=\frac{18.\times4.410.000\times0.0572}{8}$$

$$=568.000\ \text{in}\cdot\text{瓲}$$

$$\delta''=\frac{5}{384}\frac{W''l'^3}{EI}=0.013\times\frac{37.800\times9.261.000.000}{29.000.000\times27.172}\times0.0572=5.7''$$

風壓に對する曲能率及歪は垂直面一平方尺に對し十五封度とし長さ一吋に對して W' は十一封度となる、故に

$$M'=\frac{11.\times4.410.000}{8}\cos\theta=6.063.800\times0.998=6.050.000\text{瓲}$$

$$\delta'=\frac{5}{384}\frac{W'l'^3}{EI}\cos=0.013\times\frac{23.100\times9.261.000.000}{29.000.000\times27.172}\times0.998$$

$$=3.51$$

今坊主丸太の頂端に於て荷重線と二十四吋偏心せりとせば中央に於ては $\frac{e}{2}=12''$ である、故に

$$y_o=\left(\frac{e}{2}+\delta'\right)\sec\frac{\pi}{2}\sqrt{\frac{P}{P_e}}-\delta''$$

$$=(12.+3.51)1.0742-0.33=16.66-0.33$$

$$=16.33$$

$$f=f'+f''=\frac{P}{A}+\frac{Py_o+M'-M''}{S}$$

$$=\frac{100.000}{23}+\frac{100.000\times16.33+6.050.000-568.000}{754.8}$$

$$=4.348+9.426=13.774\ \text{瓲}/\square''$$

故に前述の單位最極強度に比すれば安全率が二、八なることを知ることが出來る。

$$F\text{(安全率)}=\frac{39.080}{13.774}=2.8$$

以上(ヾルテン氏の steel election より)

役員會

○常務會

昭和三年七月二十日自後五時至同六時

出席者

片岡君　野村君　横濱君　坪井君
和田君　八木君　本間君　木村君

決議事項

一、住宅設計圖案懸賞募集後援に關する件

大阪鐵道株式會社より首題の件に付依頼あり後援の事に決す

二、展覽會出品物貸與の件

是又大鐵よりの依頼にして協會の權利あるもの及搬入搬出に要する費用大鐵負擔の條件にて貸與のことに決す

三、住宅懸賞圖案審査委員會設置の件

首題の委員會設置に決し左の諸君に同會委員を委囑することに決す

日高胖君　古宇田實君
小笠原鋼君　樋口辰太郎君

四、第三部（資料）委員會委員辭退及補缺依囑の件

辭退委員

渡部圭吾君
片山萬治君

補缺委員

阪井米吉君

瀧邦一君

五、會員入退會の件

○常務會

昭和三年八月二十七日自後五時半至同九時

出席者

片岡君　宗君　池田君　松本君
横濱君　坪井君　和田君　吉井君
本間君　木村君　德政君

報告

一、定款改正調査委員會報告の件

池田委員長報告

二、七月分會計報告

決議事項

一、終身會員原忠隆名義變更の件

法人名大倉土木株式會社大阪出張所に名義變更のことに決す

二、臨時雇採用の件

三、書記辭職の件

四、定款改正案審議の件

五、會員退會の件

○常務會

昭和三年九月十三日自後五時半至同八時半

出席者

片岡君　野村君　池田君　横濱君
坪井君　岡部君　八木君　本間君

報告

一、八月分會計報告

岡部主計より報告

決議事項

一、定款改正案審議の件

前回より續行にて審議したるも決定に到らず評議員の懇談會を開き評議員の定款改正案に對する意見を聽聞することに決す

二、會員退會の件

○常務會

昭和三年九月二十二日自後四時半至同六時

出席者

片岡君　宗君　野村君　横濱君
坪井君　八木君　本間君　木村君

決議事項

一、職工講習會開催の件

例年の通大阪市、建築業協會關西支部及本會の主催にて開かれる首題の件は本年も開催に決し其一切は第二部委員會に委任のことに決す

二、九月例會の件

大阪陪審法廷見學のことに決す

三、木造住宅耐震模型及同圖面寄贈の件

四、石川縣主催建築に關する展覽會開催に對し出品の件

五、神戸高工開校記念祭に對し出品の件

六、會員入退會の件

委員會

○第一部委員會總會

昭和三年七月二十四日自後五時半至同九時

出席者

第一部委員會

池田君　今林君　第一分科
小川君　林君　北垣君　第二分科
非原君　竹中君　古橋君　佐藤君　第三分科
古塚君　阪井君　第四分科
高田君　田中君

○第二部委員會

昭和三年七月十八日自後五時半至同八時半

出席者

池田谷君　松本君　小西君　姫野君

○第二部委員會

昭和三年九月二十二日自正後至二時

出席者

池田谷君　姫野君　酒井君

○職工講習會に關し聯合協議會

昭和三月二十五日自後三時至同六時

出席者

大阪市役所側

小山市視學

建築業協會關西支部側

池田組　競中工務店　鴻池組

本會側

池田谷君　姫野君

○第三部委員會總會

昭和三年十月一日自後六時至同八時半

出席者

第三部委員會

松室君　第一分科

大澤君　谷口君　橋本君　熊取谷君
森島君　中村君　高田君
第二分科
大阪陶器株式會社　福澤君
第三分科
須川君　森本君
第四分科
下浦君
第五分科
日米板硝子株式會社
第六分科
阪井君　須賀君
第七分科
谷　君　長野君
第八分科
呼子君

○第四部委員會

昭和三年八月九日自後五時半至同九時
出席者
光安君　中島君　池田君　黒田君

○第四部委員會

昭和三年八月廿一日自後五時半至同九時
出席者
光安君　中島君　池田君　黒田君
增田君　鐵路君　谷田君

會合

○九月例會

昭和三年九月二十九日自後一時至三時
見學場所　大阪陪審法廷
出席者
池田君外五〇名
記事
一、大阪區裁判所判事山田卯三郎氏より「陪審法に就て」の演題のもとに時餘に亘る講演ありて後新築成れる陪審法廷に到りて見學す

新入會者

△會　員
竹中嘉市君
矢野義夫君
△普　贊
岡　武敏君
右田善三君
安川梅太郎君

退會者

△會　員
前田武正君　谷義三郎君
木村多晉君　青田忠時君
丸山正吉君　左谷米三郎君
管田登美雄君　久保玄次郎君
△普　贊
高木　登君　中西長次君
松本武夫君　丹羽良君
宮崎玉喜君

歸朝

會員中尾保君洋行中の處九月五日無事歸朝、また終贊拜山福重郎君も土木建築教育方面視察の後この程歸朝の由

住所不明者

左記所在不明に付現住所御承知の御方は本會事務所まで御通知を乞ふ
會員　寶田信太郎君
普贊　東　與惣次君

轉勤轉居

△會　員
伊東宗太郎君　尼崎市宮町四七
竹谷德治郎君　大津市下北國町三六ノ二
福永　收三君　横濱市中區北方町二五八
佐々木久次郎君東成區貝脇町一四阪倉方
矢部芳夫君　東京市日本橋區箔屋町三
中村方
谷川跨次郎君　和歌山縣海草郡四箇鄉村
松島京阪電鐵和歌山變電所建築場内大林組和歌山出張所
淺井新一君　臺北市乃木町一ノ一陸軍官舍
井上新二君　兵庫縣武庫郡御影町御影字掛田一二〇五ノ一
須藤眞金君　東京市下谷區櫻木町一八
小林麟太郎君　新潟市沼垂町中街道四九
一四農林省倉庫建築場大林組新潟出張所
永瀨狂三君　京都市上京區田中大堰町三二
飯田賢次君　西區西長堀北通一ノ一五
大阪實業協會々舘飯田工務店
宮本長治君　兵庫縣武庫郡六甲村高羽縣公舍番外一號
龜井幸一郎君　東成區今市町九八七
杜　貞雄君　北區新川崎町造幣局工事場大林組出張所
石津三吉君　港區八幡屋元町八ノ一四
津田鑒君　三脇方
藤井庄作君　東京市牛込區早稻田南町一〇
金澤實直君　南區北炭屋町七藤井工務所
池田宮彦君　此花區上福島北一ノ五
置塘章君　府下岡町幸通二丁目
石津三吉君　兵庫縣御影町上ノ山一六
六三建築事務所神戸市榮町通二丁目山口ビル
△普贊
樋渡純良君　天王寺公園市立美術館建設場内大林組茶臼山出張所
酒井捷治君　東區大手前町日本赤十字社大阪支部建築場大林組出張所
小島榮二君　東京市麹町區大手前農林省農務局經理課
齋藤小三郎君　京都市下京區萬壽寺通新町修德小學校新築場大林組出張所内
阪本佳明君　東成區森小路町一四一
工藤壽雄君　北區絹笠町大江ビル内
川面萬吉君　東京市四谷區永住町三
今井國一君　東京市外品川町北品川二四八山縣方
△特贊
角尾篤彥君　住吉區阿倍野町一四九

寄贈雜誌

電氣評論　毎號　其　社
都　人　毎號　其　社
學士會月報　毎號　學　士　會
建築世界　毎號　其　社
朝鮮と建築　毎號　朝鮮建築會
セメント界　隻　毎號　日本ポートランドセメント同業會
住　宅　毎號　住宅改良會
建築雜誌　毎號　建築學會
工　政　毎號　其　會
經濟資料　毎號　東亞經濟調査局
土木建築　毎號　其　社
建築新潮　毎號　洪　洋　社
大阪工業俱樂部　毎號　其　部
通俗衞生　毎號　大阪府衞生會
帝國鐵道協會報　毎號　其　會
工業評論　毎號　其　社
電氣學會雜誌　毎號　其　會
鐵道軌道經營資料　毎號　鐵道同志會
趣味ノ園藝　毎號　關西園藝會
土木建築之日本　毎號　其　社
工業ト社會　毎號　東京工業會
工　業　毎號　大阪工業會
滿州建築協會雜誌　毎號　其　協　會
庭園と風景　毎號　日本庭園協會
圖書室月報　毎號　東京市政調査會
大阪工業俱樂部　毎號　其　部
エンヂニヤリング　毎號　其　社
工業要錄　毎號　其發行所
名古屋工業會々報　毎號　其　會
大　大　阪　毎號　大阪都市協會
都市問題　毎號　東京市政調査會
新建築　毎號　其　社
京都の實業　毎號　京都商工會議所
都市創作　毎號　其　會
木材彙報　毎號　大阪木材協會
建築學研究　毎號　其　會
大阪土木建築業組合報　毎號　其組合
木材新聞　毎號　關西木材商報社
工業新聞　毎號　其　社
日本建材新聞　毎號　其　社
日本建築士　毎號　其　會
東洋建材時報　毎號　其　社
朝鮮鐵道協會會誌　毎號　其　協　會
住　毎號　其研究社
超科學　毎號　大阪綱島工業會
建築業協會々報　毎號　其　協　會
建築畫報　毎號　其　社
土木建築工事畫報　毎號　其　社
工業之大日本　毎號　其　社
動力之節約　毎號　工場能率增進研究會

同　會
同　主計
同　編輯
同
同
常務評議員　坪井誠一
常務評議員　和田貞治郎
常務評議員　岡部顯則
常務評議員　吉井長七
常務評議員　浦　英之助
常務評議員　本間乙彦
常務評議員　波江悌夫
常務評議員　八木幸次郎
常務評議員　木村寛一
評議員　池田谷久吉
評議員　大原芳知
評議員　小笠原鋤
評議員　大澤幸平
評議員　大野直平
評議員　渡部圭告
幹事評議員　谷民藏
評議員　高田利一郎
評議員　竹内綠
評議員　中島智喜
評議員　村上徹一
評議員　野呂長四郎
評議員　能村知二
評議員　久保田肇雄
評議員　熊澤榮太郎
評議員　松室重光
評議員　前田文二郎
評議員　小西一良
評議員　古宇田實
評議員　酒井勇三郎
評議員　境　正一
評議員　佐藤彰美
評議員　阪井米吉
評議員　光安梶之助
評議員　樋口辰太郎
評議員　須川廉太郎

役員

會長　理事　評議員　片岡安
副會長　理事　評議員　宗兵藏
副會長　理事　評議員　野村一郎
監事　評議員　池田實
監事　評議員　松本禹象
主記　常務　評議員　横濱勉

本誌定價表

冊數	定價	郵稅
一冊	七拾五錢	貳錢
十二冊	九圓	貳拾四錢

昭和三年九月廿九日印刷（毎月壹回）
昭和三年十月一日發行（一日發行）

兵庫縣武庫郡本山村字北畑
發行兼編輯人　鷹田夏治郎
印刷人
大阪市東區內淡路町一丁目七番地
印刷所　大阪活版所

大阪市西區土佐堀通一ノ一
大同ビルヂング
發行所　社團法人日本建築協會
電話土四二六五番
振替口座大阪三九七五番

大阪市西區京町堀羽子板橋北
特約販賣店　柳々堂書店
電話土佐堀二四四〇番
振替口座二二〇八四番

御購讀の向は本會直接又は特約店へ
振替又は爲替にて前金御拂込被下度
候

國産

アスファルト

陸屋根防水用 ブローン
電氣絶縁用 アスフルト

地下室防水用
道路鋪裝用 アスファルト

御参考上
カタログ進呈

日本石油株式會社

大阪市西区江戸堀通三丁目〇

東京本社 下関 小樽

建築事務所案内

（次第不同）

池田建築事務所

所長

建築士 工學士 池田實

所＝大阪市西區西道頓堀住友ビル
電話櫻川1144・3724
宅＝大阪市住吉區上住吉町174

建築設計竝監督

大阪建築所

大阪市北區中之島七丁目十七番地
河野ビルデング
電話土佐堀（特長）二二八〇番
六一〇三番

バチエロアー・オフ・サイエンス
カリホルニヤ州公認建築士
建築士 伊藤文四郎
建築士 熊澤榮太郎

大阪市西區土佐堀通一丁目
大同生命ビルデイング第八階

橋本建築事務所

建築士 工學士 橋本勉

電話土佐堀九三八番

大阪市北區曾根崎中二丁目
第一曾根崎ビルデイング第四十一號

建築設計監督 小笠原建築事務所

電話北二一五五、二一五六番

建築士 小笠原鉚（アキラ）

住所 大阪市此花區酉島町北濱住宅二一〇號
電話 土佐堀三二〇四番

建築事務所案内

（次第不同）

大阪市西區靱南通二丁目
ユタカビルデイング三階K室

岡部建築事務所

建築士　岡部顯則（アキノリ）

電話土佐堀五三二三番

大阪市北區中之島宗是町一〇
中之島ビルデイング

和田建築事務所

建築士　和田貞治郎

電話土佐堀七三二三番

東京市丸ノ内郵船ビルヂング六階
電話丸ノ内23二九八一番
大阪市北區堂島大毎ビルヂング五階
電話北四〇六四番

片岡石本建築事務所

工學博士　片岡安
工學士　石本喜久治

大阪市東區高麗橋三丁目二八
千代田生命保險建物三階
電話本局二九六四番

横河工務所

工學博士　横河民輔
工學士　松井貴太郎
田中綱

建築事務所案内

（次第不同）

大阪市東區北濱四丁目五〇
電話本局三一三一番

宗建築事務所

建築士 工學士 宗 兵藏
建築士 須川廉太郎
工學士 大倉三郎

大阪市西區本田町通リ一丁目四九ノ七
住友銀行川口ビルヂング四階十六號室
電話長西三四三三番

國枝工務所

工學士 國枝博

大阪市東區高麗橋筋二丁目
高麗橋野村ビルヂング六階

安井建築事務所

電話本局二〇七二番

建築士 工學士 安井武雄

建築事務所案内

（次第不同）

鐵筋コンクリート建築

設計監督　計算

大阪市東區瓦町山口ビルヂング

増田建築事務所

工學士　増田　清

電話本局 {2673 / 3176}

東京市本郷區本郷三丁目八番地

建築土木設計監督

眞水工務所

電話小石川三九六三番

建築士工學士　眞水英夫

工學士　野田六次

大阪市北區眞砂町四十一番地

眞水三橋建築事務所

電話北二〇四一番

早大工學士　松下由藏

太田正之

神戸市下山手通六丁目七六

電話元町二六七一番

設樂建築事務所

建築士　設樂貞雄

工學士　設樂貞三

支配人　木村梅次郎



大阪窯業セメント株式會社本店

大阪市北區堂島濱通二丁目十四番地

電北（長一一一〇　一一一三）

出張所

東京市神田區表猿樂町

電神田（一一四〇〇三　二一五四〇一六）

京都市二條驛前

電西陣三四六五

名古屋市中區老松町

電東四六九

大阪窯業セメント株式會社工場

大阪市港區南恩加島町一番地

電櫻川（一一七七　二六〇九）

西原式 汚水淨化裝置

專賣特許 第四二五九二號 新案特許 第四三二一號 第六三五四號 第六四二三號 第六一三〇七二號

國產優良品

パイロット衛生器具

弊所が本邦に於ける斯業の先驅者として大小數百ケ所に施工したる多年の經驗と研究の結果漸次改良を加へたもので構造の堅牢、工費の低廉、成績の良好、地積を要する尠なきこと等あらゆる特色を具備せるものであります。

洗面器、手洗器、流し類、和洋大小便器、浴槽等各種、



CW 50 — A

（御申越次第カタログ進呈）

我國にて始めて發賣せる組合せ衛生器具にて『持ち送り』『木捻』の類に至るまで全部取揃へ一組になつて居りますが金具類はすべて

合資會社ヤンソン製作所

また陶器類は

東洋陶器株式會社

の特製品で兩々相まつて外國製に劣らぬ優良品を皆樣に御奬め致します、續々御愛用のほど願ひ上げます。

本店 東京

西原衛生工業所 大阪市北區中之島五丁目三十番地

電話 土佐堀 三七一七・八一五番

京都市下京區萬壽寺通不明門東入

京都出張店 電話下一三四五番

營業所 名古屋

建築請負業者案内

（次第不同）

池田勘藏

大阪市北區曾根崎新地
三丁目拾三番
電話 局北一一五七番

大阪市東區農人橋二丁目十二番地
合名會社 **大阪橋本組**
代表者 橋本政吉
電話 東一五八〇番 長東一五八一番 東一七五三番

龍岡縣小倉市大阪町十丁目百廿二番地
九州支店
電話 長四三〇番

東京市日本橋區本石町四丁目一番地
大阪橋本組東京支店
電話 日本橋(24)三四六〇番 三四六一番

大阪市東區北濱一丁目野村ビル六階
大倉土木株式會社
大阪出張所
電話 自本二七一〇番 至本二七一三番

建築請負業者案内

（次第不同）

ペンキ塗請負業

龜谷開作

大阪市北區鶴之町三十六番地
電話北六五四五番

足代（假設）
材料損料
鳶方（手傳）
工事負請業

中新

中川辰藏

大阪市北區曾根崎上一丁目
電話北一五三番
東京市神田區猿樂町
東京出張所 貳丁目壹番地
電話神田（25）三〇五番

合名會社 **竹中工務店**

本店 大阪區堂島、堂ビル 北長八一〇
支店 東京市丸ノ內郵船ビル 丸ノ內（23）長一二五〇
神戸市熊內町六丁目 貯合 八〇六
名古屋市西區幅原町二丁目 長一八四二
京都市坊城通三條下ル 中 二三八六
橫濱市花咲町十一丁目 一八八九
（兵庫町總營（三））

製作所 大阪市港區南境川町 西長 八〇四
東京市深川區西平井町 大手二〇四六

上西組

上西磯之丞

大阪市東區內本町一丁目一八
電話長東一八八番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社

佐伯組

本店　大阪市港區市岡町夕凪橋畔
電話特長西一〇九〇番

出張所

福岡市外馬出上町　電話長二一四二番
大分市南新地　電話長三七〇番
熊本市相撲町　電話長三九四番
小倉市中島町　電話長六一〇〇番
宮崎市宮田町　電話長四〇六番
東京市京橋區木挽町九丁目三地

諸石材販賣彫刻請負業

幷ニ

一手販賣（黃龍石（人造石用）石粉各種
　　高島產鑄色（人造石用）石粉各種
　　黃龍石材各種）

通名石佐事

熊取谷熊次郎

本店　大阪市東區材木町七九
電話長東一六二六番

出張所　東京市下谷區上根岸四九
電話下谷一三二九番

白陽工務店

藤田辰三

大阪市北區曾根崎上三丁目三〇番地

電話北一五六二
一五六三

久保田組

久保田種吉

大阪市東區神崎町五〇
電話東長三一八七番
三八五三番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社 **松村組**

大阪市東區大手通一丁目二十六番地
電話東（長）二一七二番 二一七三番 二一七五番

東京本社
東京市丸ノ内仲十四號館十二號
電話丸の内（代表）二五五一番 二五五二番 二五五三番 二五五四番

藤木工務店

藤木正一

大阪市西區小林町七十五番地
電話曻櫻川一五五八番

合資會社 **清水組大阪支店**

大阪市西區土佐堀二丁目二番地
電話曻土佐堀（六六六六番 六六七番

（本店）東京
（支店）横濱、名古屋、京都、博多、京城、大連

特許ＯＲＣ式
鐵筋混凝土煙突水槽工事設計施工

合名會社 **大阪鐵筋混凝土工務所**

大阪市港區小林町一六三
電話櫻川曻一〇八六・二六二二

神戸出張所　電兵庫一四六九
名古屋出張所　電南局一五九八

建築請負業者案内

（次第不同）

鑿井工事請負業

日本鑿泉合資會社

大阪出張所　大阪市北區曾根崎町太平ビルヂング
電話北三七七八番

本社　東京市丸ノ内中通三號
電話丸ノ内（二三）長一八六三番

名古屋代理店　名古屋市東區東新町萬歲生命ビルヂング四三號
電話東一四七一番

大阪市西區土佐堀通三丁目三四

合資會社 **錢高組**

電話土佐堀（長三四一七）（三四一八）

東京市京橋區木挽町四丁目四

東京支店
電話銀座（四二九二番）（長四二九三番）（長二三四七番）

名古屋市中區新榮町三丁目二九

名古屋出張所
電話東三五一八番

横濱市高島町六丁目一二

横濱出張所
電話本局三〇七六番

大阪市東區京橋三丁目七十五番地

株式會社 **大林組**

支店　東京、横濱、名古屋、小倉
營業所　京都、神戸、
工作所　大阪、東京、

大阪市東區横堀四丁目四十三番地
電話本町八三四（本店）
櫻川一六七（工場）

石川屋

岡本工務店

岡本武藏
岡本新次郎
山中茂一

建築請負業者案内

有山組

大阪府東淀川區十三東之町
電話 自宅用 北二〇五〇
事務所用 北三〇五一

大理石
鐵平石
萬成磨
工事及設計請負

大阪市此花區吉野町二丁目一六
合資會社 **山田大理石製作所**
電話土佐堀四三四二番
長尾新太郎
池上喜三信

御用ノ節ハ電話ニテ御一報次第御伺仕可候

使用、輕便、簡易工事節約多大金
銀塗箔ゴールド、エナメル從來の
エナメル金銀ト異ナリ**箔張同樣**出
來、且延ビヨキ爲メ、**價格安價**驚
ク**外ナシ**是非御試用ヲ乞フ。
用途電線ヲ塗レバ金屬ガ表面ニ張
付ラルル故電力ガ少シモ失セズ且
ツ**防水腐蝕**トナリ**猶美麗**ノ點モア
ル實ニ經濟品ナリ**鐵骨、暖房管、**
其他裝飾用トシテ各色物モアル。
（御申越次第說明書送附）

商入出輸直造製料塗
吉和一郎商店
大阪市東區博勞町五丁目一三
番電話 堀江六六七九 番 九二〇四 壕船
登錄濟內地受信ピクトリイ海外受信VICTORY
電略（ヨ）又（ヲ）取引銀行 加島南支店

淺沼組

本店 奈良縣郡山町字今井 電郡山二五番
工作所 奈良縣郡山町字高田 電郡山二四一番
大阪支店 大阪市東成區東小橋町六六ノ一四 電南二七九〇番
大阪出張所 大阪市港區鶴町四丁目一八二 電櫻川二九〇七番
製材部 大阪市港區小林町一九五番地 電櫻川二四五六番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社 **鴻池組**

本店 大阪市西淀川區傳法町北三丁目弋
電話土佐堀（長二六二・四二一七）二六三・四二一八）番

支店 東京市京橋區三十間堀三丁目三
電話銀座（長一九九〇番）一九九一番

製材工作場 大阪市港區池島町二丁目五五
電話西七六八・長一五二三番

鐵骨橋梁鐵塔
建築金物請負

合資會社 **駒井喜商店鐵工部**

大阪市港區泉尾町七二番地
電話櫻川（六五八）二八八六番

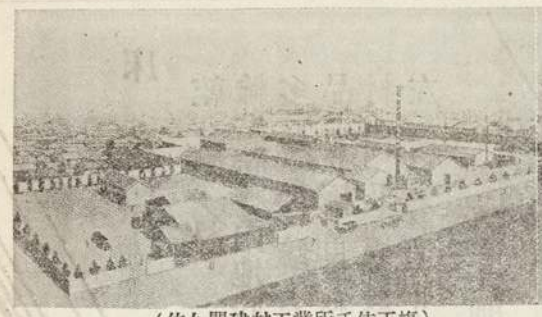
安藤組大阪出張所

大阪市北區堂島濱通
一丁目八五番地
電話長北四八四番

森本建築社

大阪市南區高津三番丁三番地
電話（長）戎二八一〇番

東京支店
東京市芝區白金三光町二五番地
電話高輪八一六七番



（佐久間建材工業所千住工場）



（佐久間建材工業所高田工場）

佐久間式マルエス印便利瓦

製造法式　特許第七四四七七號
製造法式　特許第七五六二七號

陸屋根地下室防水材料

佐久間式マルエス印

- コンパウンド
- パーマネントルーフイング
- 疊下用紙
- 建築用紙
- C印フエルト
- フエルト
- ルーフイング

國産として優秀なる

御用命

三菱地所部殿
東京府殿
東京市殿
大藏省殿
鐵道省殿
文部省殿
陸軍省殿
警視廳殿



久原鑛業株式會社殿
藤田鑛業株式會社殿
帝國ホテル殿
藤倉電線株式會社殿
富士製紙株式會社殿
慶應大學殿
南滿州鐵道株式會社殿

清水組殿
大林組殿
大倉組殿
藤田組殿
安藤組殿
高橋組殿
戸田組殿
本組殿
竹中工務所殿
藤木組殿

（其他土木建築界各方面）

佐久間建材工業所

所主　佐久間榮吉

東京府千住町三ノ三七〇番地
營業所　電淺草五〇〇六番
千住工場　電千住四〇二番
東京府高田町八〇四番地
高田工場　電淺草一二五六番

東京工業試験所報告

（見本カタログは御申込み次第贈呈）

品名	抗張力 縦	抗張力 横	水壓力 氣壓	屈曲試驗 丸棒直徑	屈曲試驗 廻轉度	屈曲試驗 龜裂	試驗時期
佐久間式マルエス印中號ルーフイング	70·5 瓩	42.9 瓩	1.4	0·5 瓲	180°	生ゼス	大正十四年早二月二十六日
某舶來一流(4)プライルーフイング	53.7 瓩	21.8 瓩	1.2	1.3 瓲	180°	生ゼリ	同　上
佐久間式マルエス印中號ルーフイング	74.4 瓩	55.9 瓩	1.7	0.5 瓲	180°	生ゼス	大正十五年二月十日
某舶來一流(4)プライルーフイング	80.3 瓩	39.3 瓩	1.2	1.0 瓲	180°	生ゼリ	同　上

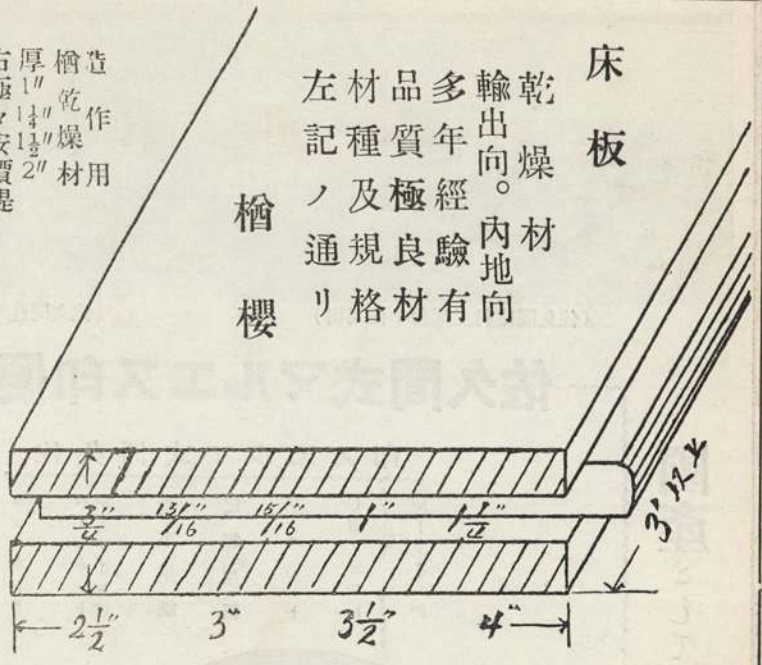
床板

乾燥材輸出向。內地向多年經驗有品質極良材材種及規格左記ノ通リ

楢　櫻

造作用　楢乾燥材　厚1″ 1¼″ 1½″ 2″

右極々安價提供是非當店へ御引合願上候



福原工場大阪販賣店

港區泉尾梅ノ町四丁目
電話櫻川一六七番

福原床板製造工場

小樽市入舟町二丁目三十四番地
電話二七三、一二三
振口小樽二五六七

大理石工事請負

合資會社

矢橋大理石商店

本店　岐阜縣不破郡赤阪町　電話五

出張所　東京市麴町區八重洲町一丁目丸ノ內十號館五號　電話丸ノ內四六三九番

大阪市東區北濱四丁目二十二番地　電話本局㊁五三一九

京城府光化門通一九〇

榮進社ノ

スチールサッシュ　捲上防火戸

各種鐵戸　昇降機　手動類



合資會社

榮進社

營業所　東京市京橋區南紺屋町十二番地
實業ビルデング三階
電話京橋(56)一、〇六三番
二、二二九番

出張所　橫濱市山下町一八四　岩井ビル
電話本局(2)二、七一四番
神戸市平野下祇園町二三一番地
電話元町二、七〇九番

第一工場　東京府日暮里町日暮里三八番地
電話下谷(83)長一、〇二七番

第二工場　東京府日暮里町大字谷中本二五六番地

製品販賣　工事請負

東洋コンクリート合資會社

安價　鐵筋コンクリート土管
ブロック
電纜埋設用トラフ
其他各種製品應御注文

迅速　鐵筋コンクリート煙突
一般土木建築工事
特殊ブロック建築
ブロック塀

カタログ進呈

大阪市西淀川區海老江町
（阪神電車・淀川停留所脇）
電話土佐堀二八三四番

建築衛生設備設計施工

營業種目

▼水道▲公私水道、ポンプ、屋外給水裝置。
▼防火▲防火栓裝置、スプリンクラーシステム、消防用器具、サイヤーミンスコンネクシヨン、ミニマツクス消火器。
▼衛生▲洋和風浴室、洗面場、臺所、便所、下水道、汚水淨化裝置、塵埃處理裝置。
▼暖房▲蒸汽暖房裝置、溫水暖房裝置、熱氣暖房裝置。
▼換氣▲自然換氣、機械換氣、冷風換氣、空氣洗滌裝置。
▼冷藏▲リフリゼレーター。
▼眞空式掃除裝置▲セントラル、バキユーム、クリーニングシステム。
▼右設計工事請負及同機械器具材料製造並ニ輸入販賣

米國スタンダード衛生器具製造會社
米國スローンバルブ製造會社日本總代理店
米國シカゴポンプ製造會社

米國スペンサークリーナー會社
米國ベージボイラー製造會社日本總代理店
獨國ミニマツクス消火器會社

〔創業明治三十四年〕

宮內省御用達

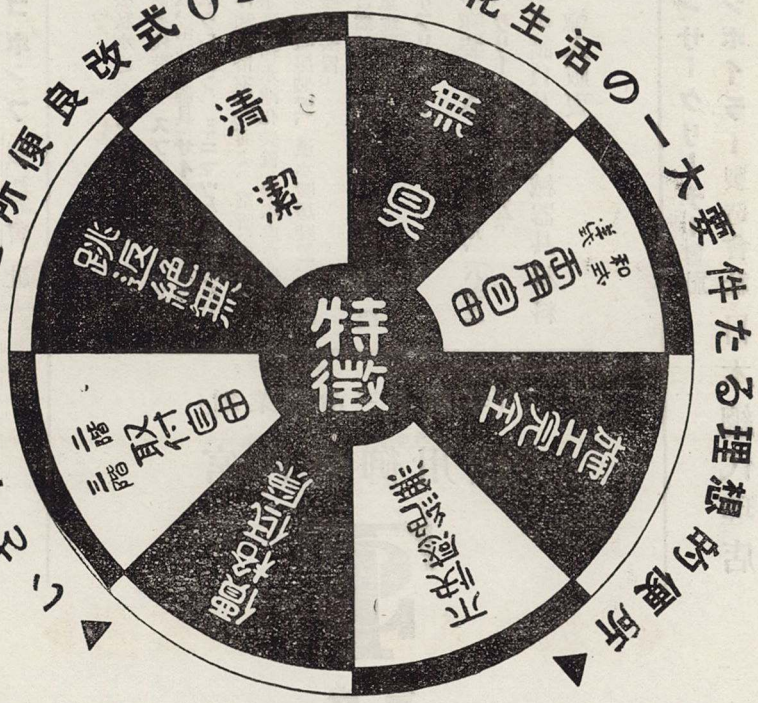
株式會社 須賀商會

大阪東區高麗橋五丁目
電話本局（一一八九三番 一一八九四番 一一八九五番）

支店
東京
名古屋
京都

支店
住吉
神戸
博多

改良 特許 便所



設備費　金七拾五圓（大便所ノミ）
　　金九拾五圓（大小便所共設ノ場合）

大阪市東區高麗橋五丁目
株式會社　須賀商會内

OS商會

電話本局　三四五九九八八一　番

◀工施ニ並賣販▶

耐火リノリウム
セメントプロツク
ドロマイト
㊥プラスター
特許ストンプロツク
特許ポーラスライ
マグネシヤセメント

葛生石灰株式會社發賣
㊥プラスター關西一手販賣元
大阪耐火リノリウム工業合資會社
大阪市西區薩摩堀南ノ町一番地
電話新町四三五九番

カタログ進呈

◀特許坂本式硝子屋根裝置▶

諸官衙・工場・倉庫・撮影所・病院・溫室等・屋根及ビ一般建築物天窓ニ廣ク御利用ヲ乞フ

坂本商會大阪出張所

大阪市西區薩摩堀南ノ町一番地

電話新町四三五九番

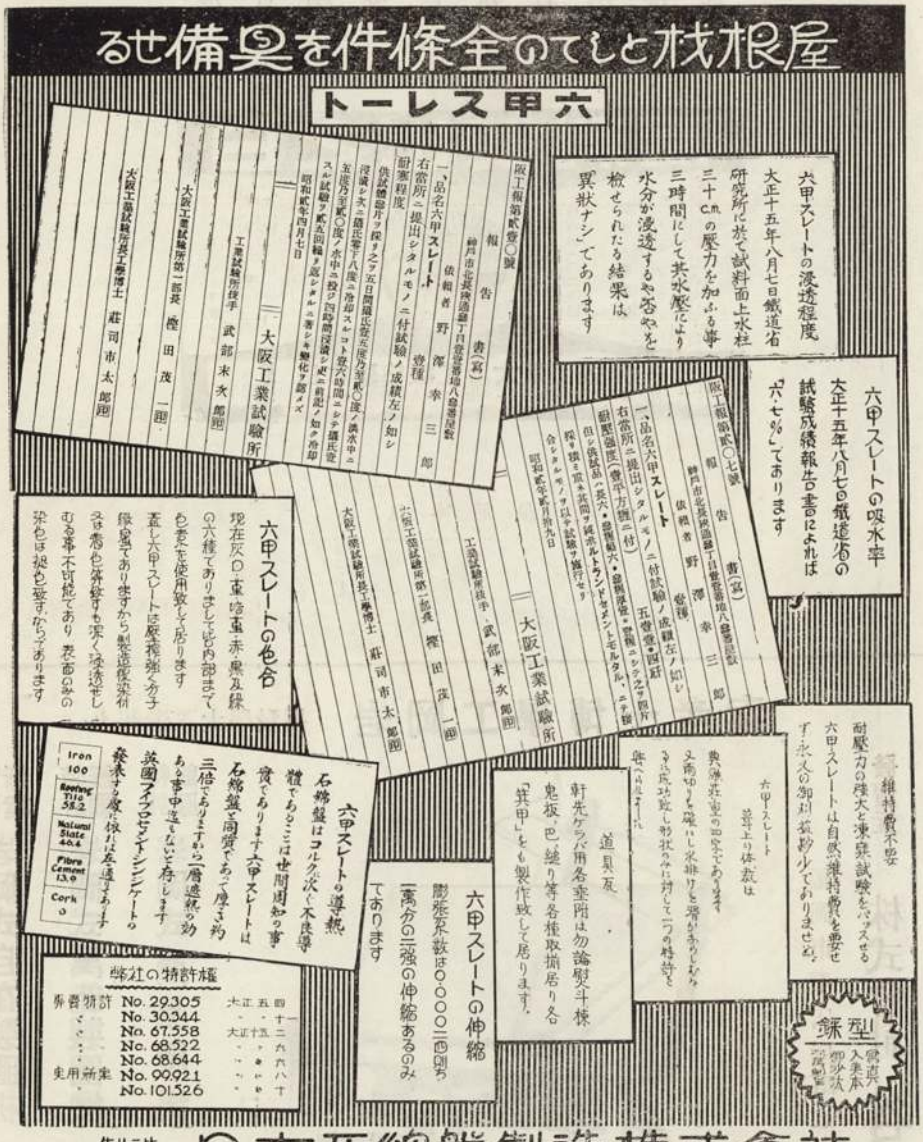


各省諸官衙指定工場

内外エレベーター株式会社

エレベーター
コンベアー
ホイスト
リフト
一般輸送機械
設計製作販売

東京電話神田(25)六〇七三番
東京営業所神田区旭町
神田長本局(25)七〇七三・一七七一番
神戸市下沢通二丁目


屋根材と共に全ての条件を具備せる
六甲スレート
六甲スレートの浸透程度
大正十五年八月七日鐵道省研究所に於て試料面上水柱三十cmの壓力を加ふる事三時間にして其水壓により水分が浸透するや否やを檢せられたる結果は異狀ナシであります
六甲スレートの吸水率
大正十五年八月七日鐵道省の試驗成績報告書によれば「六・七%」であります
大阪工業試驗所
六甲スレートの色合
現在灰・赤煉瓦・赤黒及綠の六種でありまして何れの内部までも変色を使用致して居ります
茲に六甲スレートは風雨に強く分子組織強靭でありますから製造後次第に其色は濃色に光澤を發し來り殊に雨に濕ふ時は益々濃厚となります
六甲スレートの導熱
石綿盤はコルク次ぐ不良導體であることは世間周知の事實であります六甲スレートは石綿盤と同質であるが厚さ約三倍でありますから一層遮熱の効ある事申迄もないと存じます
英國アイラロセントシンゲートの發表せる處に依れば五通りあります
Iron 100
Rooftop Tile 38.2
Natural Slate 46.6
Fibre Cement 13.0
Cork 0
六甲スレートの伸縮
膨張係數は〇・〇〇〇二四位にて一萬分の三強の伸縮あるのみであります
道具一反
軒先ケラバ用各垂附は勿論射矢斗棟鬼板巴縋り等各種取揃居り各「其甲」とも製作致して居ります
維持費不要
耐壓力の強大と凍氣試驗をパスせる六甲スレートは自然維持費を要せず永久の御利益勝少でありません
六甲スレート
並等上物表は
典雅荘重の四字であります
又雨切りも確かし氷掛りも滑かありしかも氏功致し物狀のに對して二つの特色を
錄型
弊社の特許權
弊社特許 No. 29305 大正五年四十一
No. 30344 大正十五年十二
No. 67558 六
No. 68522 八
No. 68644 十
実用新案 No. 99921
No. 101526
製造 日本石綿盤製造株式會社
発売 野澤幸三郎商店
神戸 元長狹三TEL 番6230 3831
東京 丸内 丸ノ内3670
大阪 綿業會所 大江ビル内 北5994
福岡 鍛冶屋町三六 1945
振替 大阪415 東京 口座開設
昭和ビル内

優良國產屋根材の權威



見本進呈

岩岡工學博士考案

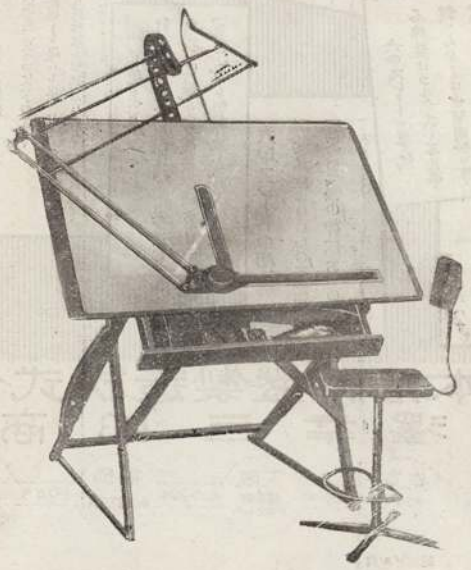
九州帝國大學教授

實用新案 岩岡式自在製圖机 高低傾斜調整自在

特許既願 岩岡式萬能製圖機 用法擴大

特許既願 岩岡式簡易腰掛 高低自在

【型錄送呈】



保健第一 能率增進

發賣元

株式會社 谷商店

福岡市下店屋町一五

（電話一九〇六特長一四四四番）

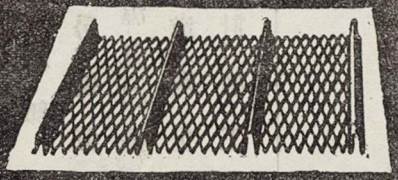
Nippon
DIAMOND RIB LATH.

呈進本見書明説

僕も日本ダイヤモンドリブラスを使用する事に合流した

輸入品駆逐
國産の權威

御存じですか？

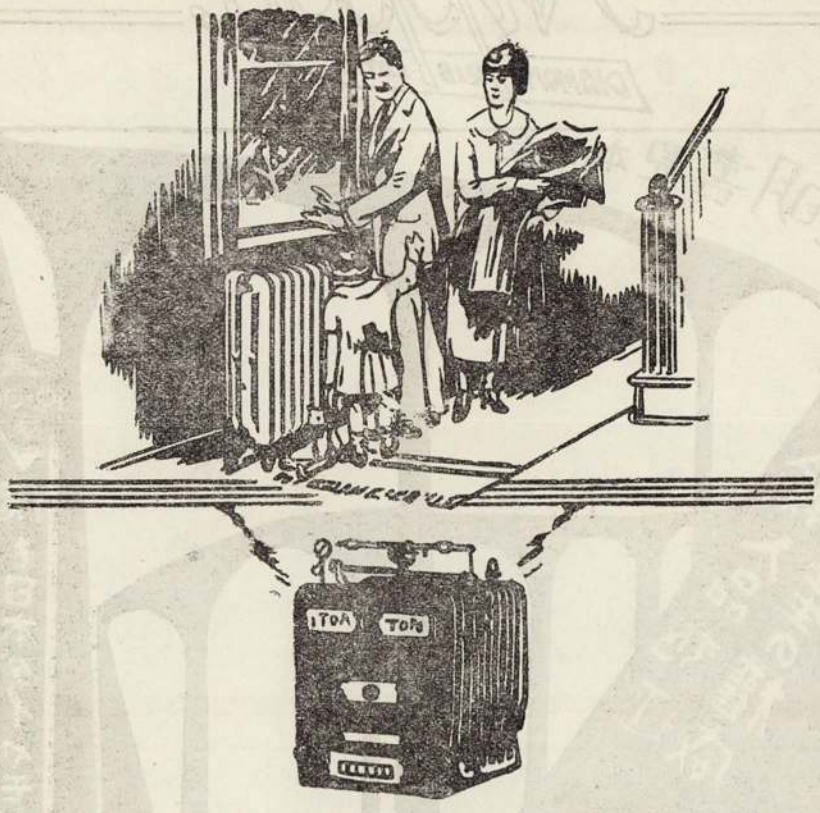


日本
ダイヤモンドリブラス

元造製
日進製作所

全國一手販賣店
東京市日本橋區元四日市町二
共貿易株式會社
電話日本橋二四八六・二四八七
三九九一番

大阪市北區中之島六丁目
關西代理店 奥村重兵衛商店
電話工匠堀 四六一番



營業內案

煖房部
煖房、換氣
溫濕氣調整
水道、衛生
設計、施工

製作部
各種放熱器
工作用高級機械
汽罐、鑄鐵品
コンベヤー、リフト、ケーブルカー

合資會社
東亞鐵工所
大阪市此花區西九條濱通一〇
電話土佐堀(一一)三七番
(三)九六七番

合資會社
東亞鐵工所東京出張所
東京市麹町區丸ノ内ビル八七五
電話丸ノ内(23)一七九六番

玲瓏社

ステインドグラス
模細工
プリヅム
各種色硝子

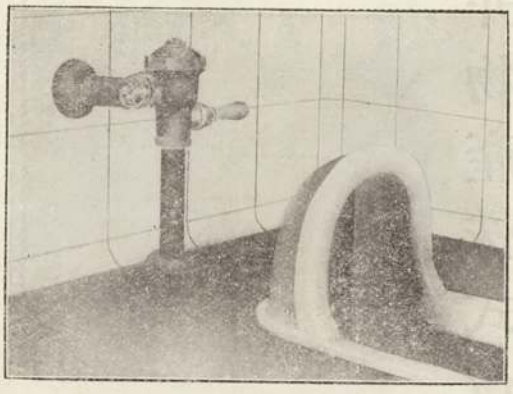
大阪市天王寺區南河堀町
電話 天王寺 七九四

東京澁谷青山南町七ノ二
電話 青山 一八八〇

耶太眞内木
耶三彌崎三
太太邦瀨廣

辦滌洗所便洗水

ヨネ.フラッシュ.バルブ



東京帝國大學營繕課御指定
東京•大阪•京都市役所御認可

製造發賣元 米本商店

大阪市天王寺區四幸町三丁目二番地
電話 櫻川三八八〇

重なる納入先

東京帝國大學　京町堀ビルデング
正金銀行東京支店　太平ビルデング
日本大學　大阪市電氣局
大阪ビルデング　大軌電鐵會社
船場ビルデング　新京阪電鐵會社

大阪造幣局　大寶小學校
灘萬食料品店　八幡屋劇場
三越呉服店別館　兵庫縣立女學校
大阪府知事官舍　名古屋共濟ビル
大阪商船紅丸　京都明治ビル
芦原小學校　滿鐵病院

最も進歩せる使い易いプラスター

スタッコ、マンヂュリヤ

主なる特長

一、布海苔を要せず、其儘水にて練り塗工す
一、硬度適當なれば音響を反射せず
一、輕くして剝落、龜裂の憂なし
一、純白美麗、顏料にて着色任意、褪色せず
一、施行後水洗ひしても表面を損傷せず
一、價格低廉、御試用を乞ふ

耐火床張リグノイド
工場床張リグコッタ
美術床張マグコルク床
防火防水壁ロックスタッコ
水硬性防火防水壁リソイド
水硬性防音內壁エラスコ
マグネシアセメント

型錄進呈

一手販賣店元 三井物産株式會社

製造元 南滿鑛業株式會社
大阪市港區北境川町二丁目三十五番地

大阪出張所
電話長西三四八九番



淺野理化學工業所製

アサノソリヂットタイル
アサノソリヂット安全壁
アサノソリヂットスタイル
アサノリノリユーム鋪床料

ユニオンアスファルト
小倉アスファルト
內外各種ルーフ井ングー
大連ドロマイト
大明式スカイライト
米國ミシシッピ會社製ガラス一切
網入波形グラス
米國GF會社各種ラス
セロテックス
內外各種ペンキ
其他橋梁材料並ニ請負
（型錄進呈）

一手販賣元

淺野物產株式會社大阪支店

建築材料部

●防火宣傳●

阿部式スティールサッシュ製作
阿部式スティールドーアー製作
自働捲上防火シヤッター製作

鐵骨建築及附屬金物一式
鐵塔橋梁其他構造物一式
エレベーターリフテイング一式
鐵扉、鐵柵類一式

A 合資會社 **阿部鐵工所**

大阪市西淀川區浦江上二丁目五九
電話土佐堀（長一八一四番 三一一八番 三〇〇八四番）
振替口座大阪四八〇〇五一番
受信略電（オウサカアヘテツ）

飛行機印



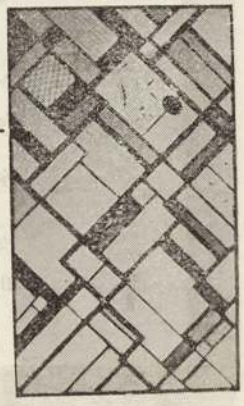
アスファルトフエルト
便利瓦
アスファルト各種
電氣絶縁材料

大阪市此花區大開町三丁目九番地

梶田豊治

電話長土佐堀五六〇一番

ステインドグラス
グラスモザイク



VENUS STUDIO

大阪市東區谷町二丁目五　電東四二二〇

出張所　東京　　代理店　京城

ベニス工房

日本的耐久的スレート屋根



淺野スレート
日本石綿盤
朝日スレート
金剛スレート

品質堅牢
体裁優美

日本スレート販賣株式會社大阪支店

大阪市西區江戸堀南通一丁目廿一番地
電話土佐堀㊦3468番・3469番
本社 東京市京橋區三十間堀三丁目
電話銀座㊦684・841(專用)1860・1861・1862番(接續)
支店 横濱市常盤町5丁目81番地電話本長者町(3)5207番
門司市東本町四丁目 電話㊦548番
出張所 名古屋・仙臺・京城

陸屋根地下室用防水布

専賣特許
富士印 クロースルーフ井ング



本品は純麻織物を主要材料とし無酸乾燥性天然アスファルトを應用し強度伸度滲透壓に於て同種品中最高の記錄を有する合理的にして最も進歩せる

クロースルーフ井ング製造所

工場 大阪住吉
大阪市東區平野町四丁目五八 電話本局五四〇七番

!! 除風器界の權威 !!

！學理と實際に基き製作したる最新式除風吸揚器！

保健！衛生！ 田中式除風吸揚器
（新案特許第一一四四八六號）
實用新案 （第一一四四八六號）



田中式ベンチレーター

營業科目

- ◉和洋式建築金物
- ◉ブロンズ眞鍮製建具裝飾金具
- ◉窓金手摺鐵柵鐵扉類
- ◉釘針金平浪板諸材料
- ◉鋼鐵自働防火シャッター

＝製作＝請負＝直輸入＝

ユニオン印
建築金物 **製作發賣元**

合名會社 **西孫南店 建築金物部**

電話北二八五〇番

大阪市北區南森町五四番地
南森町交叉點二筋南ノ辻西入天神小橋筋

直輸出入部 大阪市南區順慶町二丁目 一九六・一九七番 電話船三〇二九番

家具と室内裝飾

笹岡家具裝飾店

弊店は 眞面目がモットー
皆樣方の使用人

營業所 大阪市西淀川區海老町
工場 一四八五番地
電話土佐堀 二九六九番
福 フタロク 祿
振替口座大阪七九七三三番

S.S 品ルイタル

品質優良
技術精巧

各種タイル製造販賣

品川白煉瓦株式會社大阪支店

タイル販賣所

大阪市西區靱北通一丁目二六
電話土佐堀七一一番

便所之改善

専賣特許第三二七九八號

大正便所

特長

臭氣、蛆、蠅の發生
跳返、盜難の憂　絕對皆無
現在汲取式の理想的便所

専賣特許第三六七一五號

株式會社 城口研究所大阪支店

城口式汚水自然淨化裝置

水洗便所必須清潔、完全、簡易の下水に放流裝置

一般給水衛生工事

大阪市北區曾根崎中壹丁目五十七番地

電話北 特長 二一一八番 一九五六番

本店　東京市神田區千代田町十八番地　電話神田 特長 二五二三番 二五二二番

出張所　名古屋市西區本町三丁目五番地　電話東 二三七〇番
　京都市大和大路前佛光町　電話下 四七二四番
　神戸市三宮町一丁目百七十番地　電話三宮 一六九八番
　横濱市常盤町五丁目八十一番地
　廣島市竹屋町百三十五番地　電話 二八〇八番

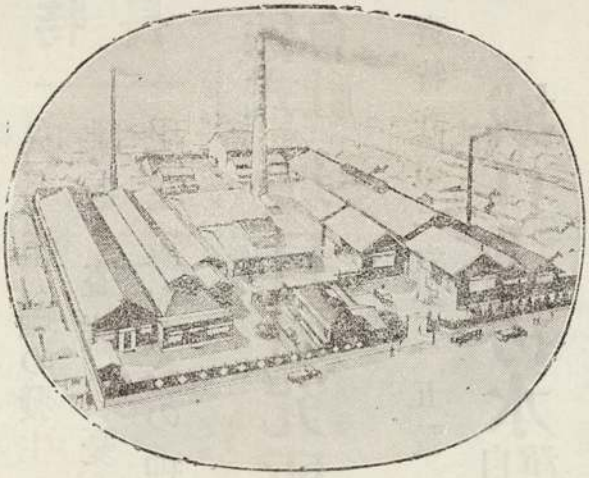
辨

登録商標

柄

誇るべき弊社製品の特長

成分含有量の的確　分子微細にして一定不變
色澤鮮麗にして純新　大量製産にして安價提供



用途

塗料用　製紙用
ペイント用　リノリユーム用
染色用　燐寸用
陶磁器用　ゴム製造配合用
漆器用　電線被覆用
建築用　印刷インキ用
皮革用　印刷製版用
防水布用　スレート用

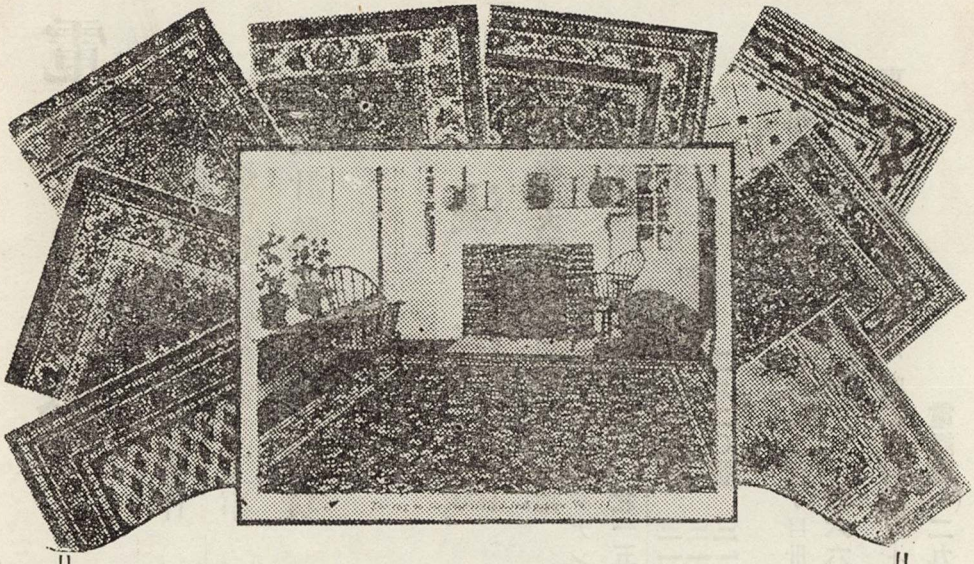
製品種目

富士印	金鳳印	白鳳印	朱雀印	金鵄印	丹頂印	四十鳥印	隼印	鴫印	椋鳥印	鵙印

（見本進呈）

發賣元　合資會社　大平工業所
大阪市西成區長橋通四丁目
電話櫻川二六三八番
振替大阪六三九二五番
發信略號（オヒラ）又ハ（オ）

代理店　藤澤友吉商店
大阪市東區道修町二丁目
支店　東京市日本橋區本町
支店　京城府西小門町四二



大小色々

模様色合各種

山中支那緞通

寸法並ニ模様
特別御註文ニ應ズ

大阪市東區高麗橋一丁目

山中商會

電力ト電燈

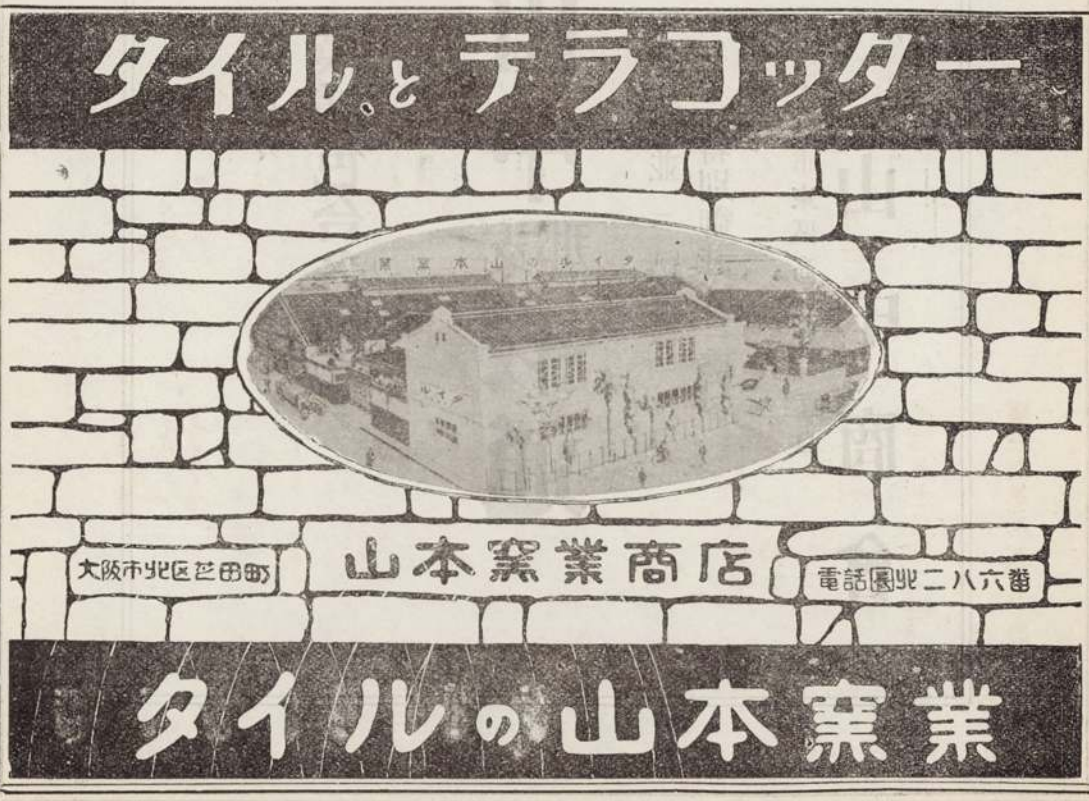
美術裝飾電燈器具製作
電燈電熱避雷針電話工事
設計監督工事請負

淺海商店

營業所　大阪市北區絹笠町九番地
　　大江ビルヂング三階
　　電話直通　北一五七六番
　　交換北一一一五番　三一九六番
　　二六二〇番　三一九五番
　　三一九七番

工事部　大阪市北區曾根崎上三丁目卅六番地
　　北六六四二番

東京支店　東京市芝區田村町七番地
　　電話芝(43)二九七〇番



新案

平安瓦發賣元

瓦

佐村木勝吉

品目
各國屋根瓦
各種色瓦
北國瓦
日本洋瓦

營業
土管各種
壺、便器類
葺上及販賣
淺野煙突

大阪市東區材木町十五番地
（入ヘ北詰東橋寺寶久）
電話東三六一〇番

檜實剝繼手付

櫻 床板

同上羽目板

同上本寄木

特許第六六〇八九號
伊丹式バーケットリー（簡易寄木）
特許第六五八九一號
伊丹式フローリングブロック
（コンクリート床板上直接張込床材）
三菱合資會社營業課製
南洋產セラヤ材天井板
青森特產檜材根太土臺其他

大阪 伊丹商店

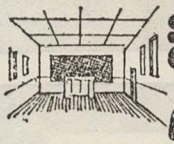
大阪營業所
大阪市西區靭中通一丁目二〇番地（市電信濃橋停留場北へ一丁東側）
電話長土佐堀二四一七番

名古屋營業所
名古屋市西區南外堀町四丁目一番地
電話長本局四五九六番



淺野波形板

母屋が木質でも鐵骨でも
野地板がなくも勾配が緩
くも取付られる
天下無敵の屋根材



淺野壁板

強靱の石綿セメント製ゆ
ゑ下見・内壁・天井・間仕
切壁等に用ひて
比類なき最適品



淺野煙突

燒けない・錆びない・
腐らない・火の用心
に
淺野煙突

社會式株トースレス野淺

東京市	大阪市	市司門	名古屋市	札幌市
三十間堀三丁目 京橋 1860 1861 銀座 1562	北區吉野根綿新地三丁目 6081 電話北 5082	自水綿 門司市 1228 電話 1931	三町目鍛冶屋町南區 中區中1097	北三條東四丁目ノ一 長598 電話特

建築ノ耐久ト美觀ハ屋根材料ノ撰定

KS式陸屋根地下室防水工事
太陽印アスファルトルーフキング
マルソイドルーフキング
テキサスルーフキング
各種アスファルトフエルト
耐酸性アスファルト工事
セメント防水劑マノール

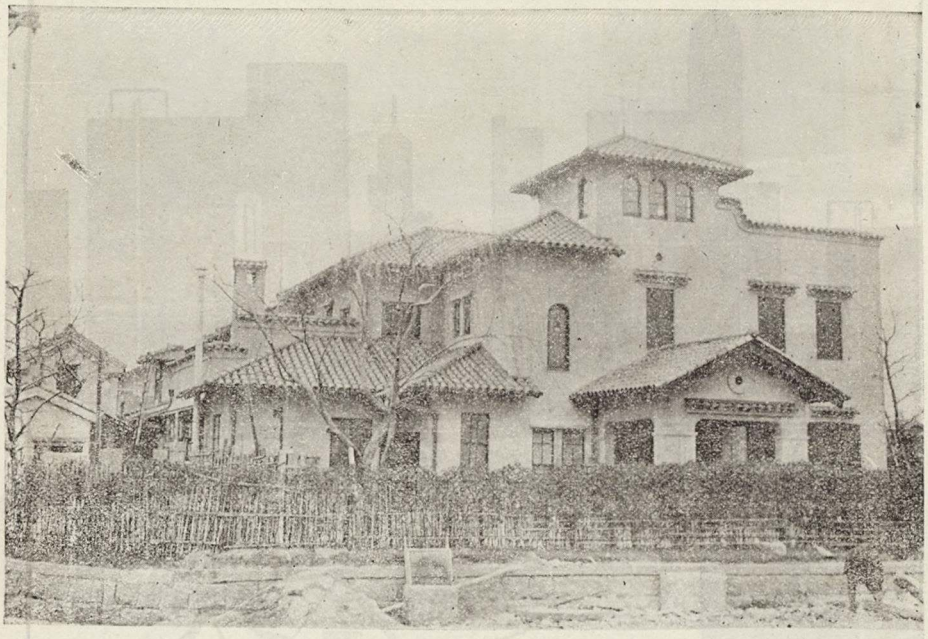
見本型錄呈上

本店 大阪市西區江戸堀南通五丁目
電話土佐堀(二)二一六六番
七一五四番

木下謹三商店

支店 東京市日本橋區濱町三丁目三番地
電話浪花二二五二番

石綿スレート(石綿盤)
天然スレート(石盤葺)
獨逸式セメント瓦
エキスパンデットメタルラス
淺野波形スレート
其他各種建築材料
販賣並ニ工事請負



佛蘭西式洋瓦

◎綠色洋瓦　◎黑褐色洋瓦
◎赤色洋瓦　◎各種日本瓦

各種洋瓦の製造販賣
屋根工事の請負

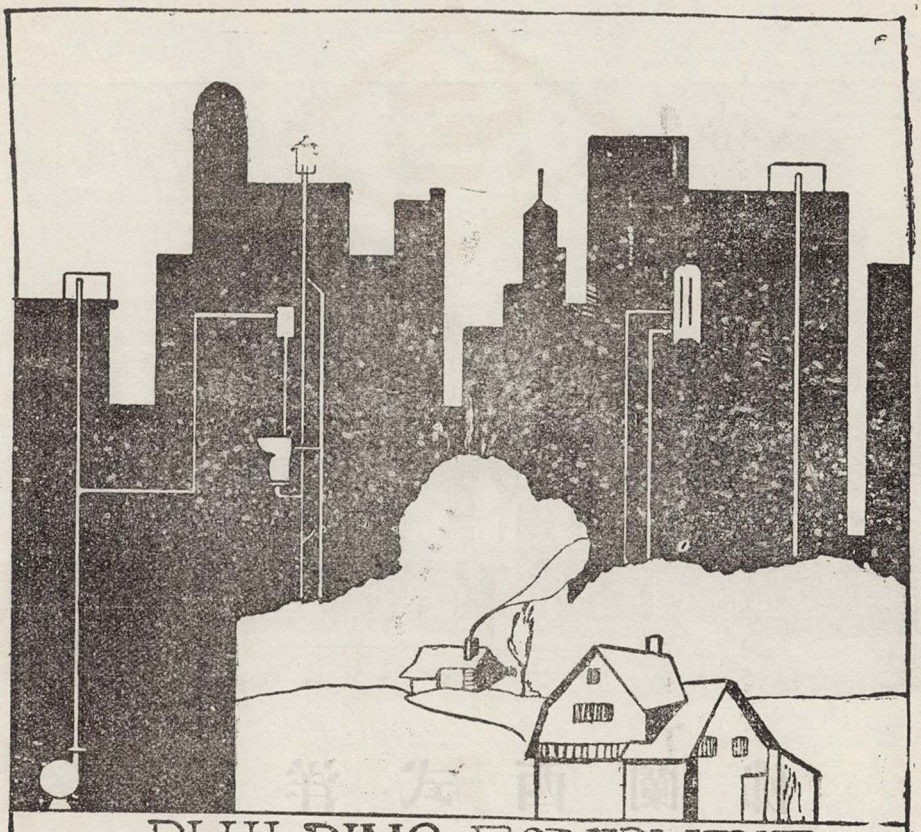
十大特長

實質堅牢　形態合理
色彩優美　重量最輕
葺土無用　凍害絕無
葺方簡易　吸水殆無
製品統一　雪止不要

セメント製瓦にあらず
申込次第カタログ進呈

日本洋瓦株式會社 大阪出張所

大阪市北區曾根崎中二丁目
第一曾根崎ビルヂング内
電話北(二一一五五)一五六番



BUILDING EQUIPMENT.

都市水道
衞生給水
煖房換氣
防火裝置
特許汚水處理
病院設備

桐田商會

大阪市北區木幡町八二
電話北二七五一番

東京市芝區田村町十五
電話青山五三七五番

TRADE MARK

高級藥掛タイル
專門工場

名古屋市東區中市場町三丁目

㊎ 佐治タイル合資會社

電話長 東 二三四〇番

工場電話 東 三四一二番



塗裝工事請負
計設ニ並
材料販賣

松本商店

店主 松本壽美

大阪市北區宗是町十番地中島ビルヂング内
電話土佐堀二三九一・二一一五・三五〇九番

Certain-teed

サーテンティード



優等

アスファルト防水材料

ルーフィングの主なる御使用先

丸之内ビヂング	上野松坂屋本館
日本郵船ビルヂング	アメリカンスクール
有樂館	東京女子大學
東京帝國大學	三菱地所部
東北帝國大學	三菱鑛業會社
早稻田大學講座	久原鑛業會社
三越吳服店	横濱ユーナイテッドクラブ
横濱スタンダード會社	
横濱ライヂングサン會社	
清水組	
大林組	
竹中工務店	
安藤組	
大倉土木會社	

サーテンティード物産會社は米國に於けるルーフィング及リノリユームの最大製造會社にして國內十七個所に工場を有し其製品は各都市代表的建築物の指定材料として需要の日に熾なる本社の右に出るものなし蓋し其製品の實質サーテン（確實）ディード（保證）の會名に反かざる所以なりと知らる。



日本總代理店

合資會社 **デゥエット商會**

東京麹町區內幸町一丁目大阪ビル
電話銀座一〇八一番

横濱市中區山手町百十二番A
電話本局七四四番

大阪市東區今橋一丁目帝國ビル
電話本局三七四四番

耐震耐火

金属天井

サドシマ メタルシーリング

御希望により亞鉛引平板。銅板。亞鉛板にても御用命に應じます。
尚又特殊御希望模様製作にも御相談に預ります。

營業品目

金属天井板
亞鉛引平板
亞鉛引浪板
亞鉛引鐵線
鐵力板
洋釘
泪目浪板
薄鐵板
セラー釘

型錄贈呈

金屬天井板）製造發賣元
羽目浪板）
大阪市南區安堂寺橋通〃三丁目
佐渡島西店
金屬天井部
電話船場 九二二番 九三二番
薩摩堀倉庫用新町九五七番
振替口座大阪三二七三八番

製産高東洋一

優秀タイル窯元

DK

淡陶株式會社

本社　兵庫縣三原郡北阿萬村　電話本社一〇

福良工場　同縣三原郡福良町　電話福良一九

大阪支店　大阪市西區阿波座中通一丁目　電話（新町局四五二）（新町二四八三）

東京支店　東京市日本橋區濱町二丁目　電話長浪花六三〇五

営業科目

鋼鐵製家具類
フヲルディングゲート
スカイライトバア
鋼鐵製防火扉
スチールシヤツター
スチールドア
スチールサツシユ

大和サッシュ株式會社

本社　東京市外品川袖ケ崎四九三番地
電話渋谷高輪 二一〇八番

大阪出張所　大阪市東成區東小橋町十四番地
電話 南 二三三一番

テラコッタ　伊賀窯業株式會社 関西一手販賣

當社製作販賣
アーユス石
スチールドア
スチールサッシ
ステインドグラス
復興

政正合資會社

本社　大阪市西淀川區大仁町九十二番地
電話土佐堀一九四九番　振替大阪四五六七六
名古屋出張所　名古屋市中區新柳町六丁目住友ビルヂング
電話（代表）本局六〇六〇番

營業品目

鋼製組立家屋
鐵骨鐵筋
鋼製窓枠
鋼製扉
メタルラス及附屬品
道路鋪裝諸鋼材
鐵骨及コンクリート用塗用
其他

本社　神奈川縣川崎市田島町
工場　神奈川縣川崎市田島町
東京支店　東京市丸の内三菱廿一號館
横濱支店　横濱市太田町二丁目十五ビルディング

大阪市西區土佐堀通一丁目
大同生命ビルディング

日本トラスコン鋼材株式會社

電話土佐堀一七七六・三一〇三番

名古屋支店　名古屋市東區東新町萬歳ビルディング
神戸支店　神戸市榮町通二丁目山口ビルディング
廣島支店　廣島市紙屋町藝備ビルディング
福岡支店　福岡市博多上呉服町太平ビルディング

建築銅鐵物

鋼鐵製建具各種
鋼鐵製捲揚鐵扉
金庫及書庫鐵扉
雜作仕上鐵物各種
青銅製裝飾金物各種
建具用金物各種
設計、施工、請負

加工材料一般

柴田建鐵工材所

營業所　東京市日本橋區北島町一丁目一番地
電話茅場町(66)一〇八八番

工場　東京市外寺島一九九七番地
一九九八番地
曳船驛前

御挨拶

弊所は元ソリデチット工業所として製品は日本化學産業會社より三井物産會社に一手販賣を托し居候處今回都合により前社と解約し淺野物産株式會社に直接一手販賣を托し同時に製品の改善を期し價格を低廉に一般御需用家の御滿足を得申度舊に倍し御引立御愛用之程希上候　敬白

尚所名を淺野化學工業所と改稱仕候

國産ソリデチット應用 建築材料の出現

「型錄進呈」

アサノソリデチットタイル（一名アサノ、タイル）
陶器ノ追從シ得ザル色彩ト雅味ヲ有シ頗ル堅牢ニシテ而モ價格低廉ナリ
用途、室内及外裝用

アサノソリデチット安全壁（一名アサノ、安全壁）
日本壁及西洋壁ノ上塗料トシテ吸水尠ク頗ル强靱、色彩自由ナリ
用途、外裝及室内水場用

アサノソリデチットスタイン（一名アサノ、スタイン）
外裝用トシテ獨逸「リシン」ニ比シ吸水絕無體裁佳良、價格亦極メテ低廉ナリ

アサノリユーム（舊名ヒノデリユーム）**鋪床料**
床張用トシテ「リノリユーム」ニ比シ低廉、品質在來品ト異ナリ絕體ニ龜裂無ク且ツ濕分ヲ生ゼズ
用途應接室廊下及一般床敷用

「特約販賣店募集」

内外一手販賣元

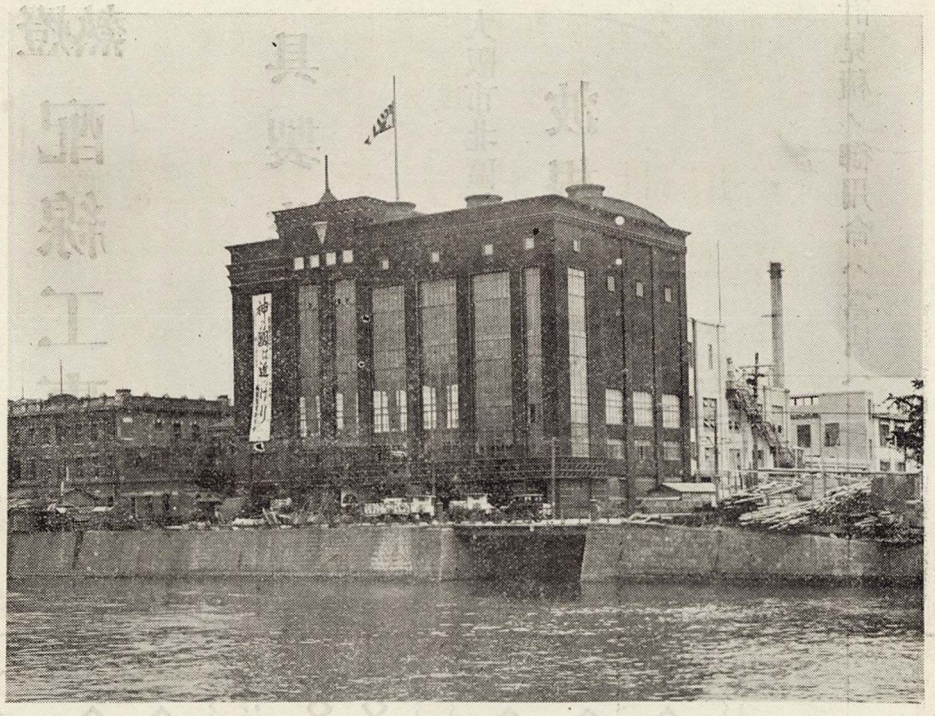
淺野物産株式會社

製造元

淺野理化學工業所

大阪市港區三先町四丁目五〇番
電話西長四〇六一番

大阪朝日會館御採用の江東サッシ



江東サッシ

東京・龜戸

電話墨田3138番

電電
熱燈 配線工事

器具製作請負

大阪市北區相生町一〇一番地

波根田電氣商會

電話東一六九五番

（設計見積ノ御用命ハ當店ヘ）

◇江東サッシ
窓開閉用
◇オペレーター
◇シャッター

大理石代用
◇オパキサイト
S.T.型ワイヤ硝子
◇S.T.型プリズム硝子
◇メタルラス

◇コルク板及粒
◇防熱防冷裝置一式
◇マグスタッコ床塗

田中昌司商店

大阪市西區江戸堀南通四丁目
電話土佐堀〔一八〇五番
〔四八七三番



耐久硬度を増す　　施工極めて簡單

龜裂褪色の憂なし　　價額亦頗る低廉

感じよき色と肌

合資 建材社 會社

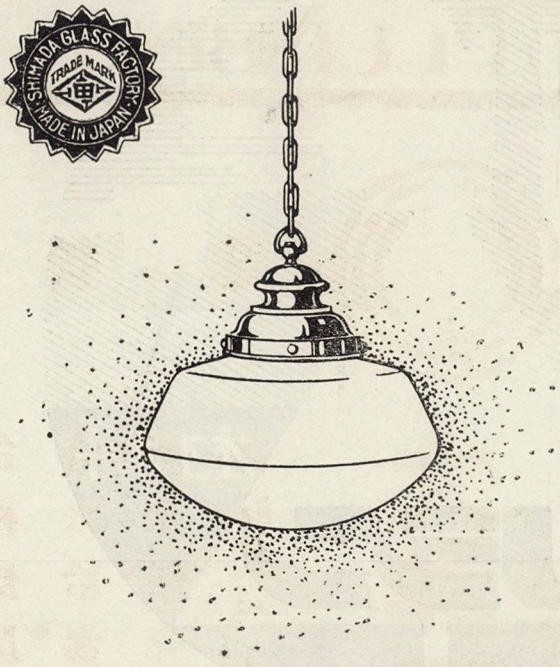
本　社　東京市日本橋區檜物町十五　電話日本橋(24) 3501-3502-3503

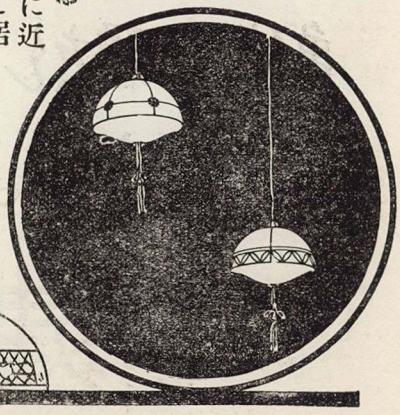
出張所　大阪市西區江戸堀上通壱の弐五(江戸堀ビル内) 電話 土佐堀 2786

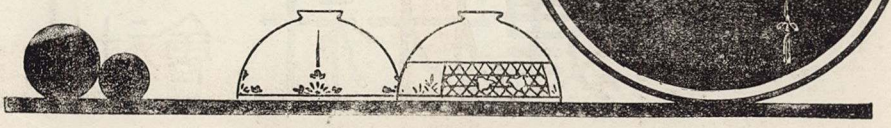
多大の研究と犠牲とを拂ひ新しく生れた

シマダのセレストガラス（晝光色硝子）

本照明用硝子は電灯等に依る通常の人工光線に相等含んでゐます短紫外線の大部分を硝子に吸收し硝子を通過致します光は太陽光線に近き性質を有して居ります故に**セレストガラス**（晝光色硝子）と命名し衛生的であり且つ眠に好感を與ふるのみならず色の辯別に最も好都合でありまして實に理想的照明用硝子で御座います







株式會社島田硝子製造所

大阪市内販賣所
大阪市東區南本町二丁目

名古屋販賣所
名古屋市東區朝日町二丁目

東京支店
東京市京橋區銀座二丁目

HEATING. VENTILATION AND PLUMBING.



大和工業株式會社

營業科目

各種煖房裝置　換氣裝置
給水給湯裝置　衛生工事
汚水淨化裝置　蒸氣諸裝置
宮崎式ペーチカ

溫濕度調整裝置　冷房裝置
製氷及び冷藏裝置　除塵裝置
空氣輸送裝置　眞空掃除裝置
以上の設計、監督、工事請負竝ニ材料販賣

本社　大阪北區曾根崎上四丁目三三番地　電話北一〇七八・六二九一番　略受語電（オサカダワイ）
支店　東京市京橋區南傳馬町三丁目五（第一相互館二〇八）　電話京橋三二三七番　略受語電（トウケイダイワ）

電燈と電力
照明器具
水道と暖房
機械と汽罐
設計製作
据付諸工事

TRADE MARK

合資會社 ナキナ商店

大阪東区平橋貳丁目一三地
代表社員 小川繁太郎
電話本局一三八九
五九二二番
振替大阪二〇六一一番

特約 インターナショナル石油發動機
おのくち式A1型渦巻ポンプ
深井戸用各種ポンプ・ベリル
クライング・ヴァーグ・ネット・チール

汎建製「シヤツター」の特長

二、力、時間其他の節約。 沼島式完全「バランス」は扉が降りる時軸心に起る力を捲胴内に装備した螺條撥條に貯へ置き、捲上げる際充分に是れを利用する裝置であります。毎朝汗水たらして、少なからぬ時間を費して捲上げた「シヤツター」を、其夕べ閉めるとき態々調速機や「ブレーキ」などで、勿體なくも折角の潜勢力を無用な熱に變へて放散させて、其れで濟ましてゐるとは、何と可笑な話ではありませぬか。沼島式完全「バランス」「シヤツター」は特許平衡裝置により、此の馬鹿々々しい無駄を省き又其機構の簡單と特に吟味した精良な撥條とは、永年に亘り、故障を起しませぬから、修理の費用と面倒とを除きます。

此裝置を大きな扉に使へば電動機の必要はなく一日數分だけの運轉に一ケ所一個の電動機を付ける無駄も見なくて濟みます。

大阪市此花區恩貴島北之町十一番地（電話土佐堀四〇二〇番）

合名會社 **汎建製作所**

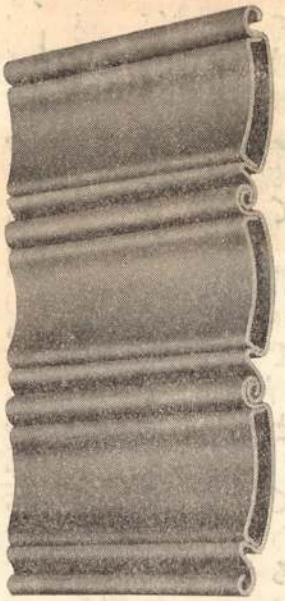
代理店 三井物産株式會社

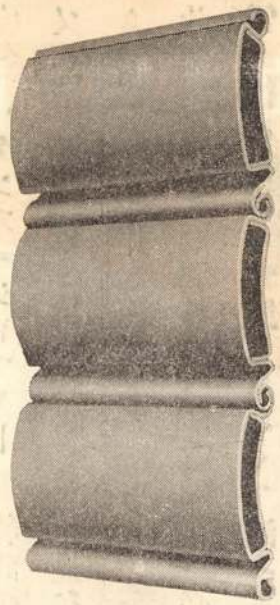
SUDZKI'S PAT. **HOLLOW SHUTTER** PAT. AP'L'D TO THE U.S.A.

米國特許出願
日特
英許

鈴木式ホロー・シヤター

（最新式シヤッター）





ホロー式の特徴

1 ホロー式は權威ある火熱注水試驗の結果驚の傳導の遲いのか著しい特徴であつた。

2 ホロー式は高尚優美、堅牢無比、强盜、暴漢をして意氣銷沈せしむ。

3 ホロー式を DREADNOUGHT SHUTTER と英國人は評した。

4 ホロー式は卷徑が少さく素直に繰れて下る。

5 講鐵は特許鈴木式二重底レールを附屬せしむ。

6 錆止ペンキは浸漬式を用ゆ。

7 機械は精巧、函蓋は、美麗周圍と調和す。

ホロー式取付實例

◉取付場所及時日

◉名古屋市御器所町
南消防署

◉昭和貳年參月廿五日

1 ホローシヤター三號型鎖引

2 巾 二十二尺 高十二尺出來上り寸法

3 シヤター重量二百貫、シヤフト壹百貫 合計三百貫

4 錆止ペンキ浸漬式を用ゆ

5 上下時間 輕く手繰て廿秒

◉取付けの結果◉

丈夫で、輕くて、工合のよいので皆な感歎してゐる

大正十五年英國政府へ特許出願中の處昭和二年二月十七日第二六五八七三號を以て特許々可せらる

建築金物商會

東京 巢鴨町宮下一五四五—一五五五

支店 京都市東山通月見町二